

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名：原子炉冷却系統施設
原子炉格納施設
系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
主配管（常設）

要領書番号：原規規収第1610072号2-06

令和元年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第321号(平成28年10月7日)
関原発第435号(平成30年3月20日)
関原発第47号(平成30年4月20日)
関原発第203号(平成30年7月4日)
関原発第260号(平成30年8月20日)
関原発第416号(平成30年12月5日)
関原発第505号(平成31年2月1日)
関原発第513号(平成31年2月6日)
関原発第4号(平成31年4月4日)
関原発第69号(2019年5月16日)
関原発第116号(2019年6月24日)
関原発第205号(2019年8月23日)
- 4 検査期日 自 令和元年10月18日
至 令和元年10月18日
- 5 検査場所 関西電力株式会社 高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第2号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
原子炉格納施設
圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)
主配管(常設) 一式
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり

8 検査結果 検査結果一覧表のとおり

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 耐圧検査、漏えい検査記録
- 7 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|----------------|---|--|------|
| 令和元年 10月18日 | 高橋 和宏  | ボイラー・タービン 主任技術者  | なし |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |

検査結果一覧表

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） 主配管（常設）

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け 状態を確認する検査 | 耐圧検査、 漏えい検査 | 備 考 |
|------|----------------|----------------|----------------|-----------------------|----------------|-----|
| 検査日 | 令和元年 10月18日 | 令和元年 10月18日 | 令和元年 10月18日 | 令和元年 10月18日 | 令和元年 10月18日 | |
| 結果 | 良 | 良 | 良 | 良 | 良 | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | | | | | | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | | | | | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|----------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 10月18日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | 令和元年 10月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 令和元年 10月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和四年 10月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和四年 10月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 10月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 10月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和元年 10月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 10月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 10月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 10月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 10月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

耐圧検査、漏えい検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 10月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 10月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ 記録確認 | 令和元年 10月18日 | 良 | |
| | 立会/ 記録確認 | 年 月 日 | | |
| | 立会/ 記録確認 | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

原子炉格納施設

圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）

主配管（常設）：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|----------|----------------|------|------|
| 燃料取替用水タンク ～ 弁 (2MOV-6400A、B) | SUS304TP | 令和元年 10月18日 | 良 | 記録確認 |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0202

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容値を満足すること。

| 検査対象 | 外径 (mm) | | | 厚さ (mm) | | | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 | |
|------------------------------------|---------------------|-------------------|-----|---------------------|-------------------|-------------------|----------------|------|------|-------|
| | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 ^{※3} | | | | |
| 燃料取替用水タンク ～ 弁 (2MOV-6400A、B) | | | / | | | / | 令和元年 10月18日 | 良 | 記録確認 | |
| | 管継手 | 355.6 | | 352.4～359.6 | 11.1 | | | | | 9.7以上 |
| | | 355.6 | | 352.4～359.6 | 11.1 | | | | | 9.7以上 |
| | 216.3 | 214.7～218.7 | 8.2 | 7.1以上 | | | | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0202

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

原子炉格納施設

圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）

主配管（常設）：一式

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|----------------|------|------------|
| 燃料取替用水タンク ～ 弁 (2MOV-6400A、B) | 令和元年 10月18日 | 良 | 目視 記録確認 |

備考

記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号。

高浜発電所第2号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

原子炉格納施設

圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）

主配管（常設）：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|----------------|------|------------|
| 燃料取替用水タンク ～ 弁 (2MOV-6400A、B) | 令和元年 10月18日 | 良 | 目視 記録確認 |

備考

記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号。

高浜発電所第2号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）

主配管（常設）：一式

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。
・著しい漏えいがないこと。

| 検査対象 | 最高使用 圧力 (MPa) | 耐圧検査 規定圧力 (MPa) | 耐圧検査 時圧力 (MPa) | 規定 保持時間 (分) | 検査時 保持時間 (分) | 漏えい 検査時圧力 (MPa) | 水圧、気圧 区分 | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査 方法 |
|------------------------------------|---------------------|-----------------------|----------------------|-------------------|--------------------|-----------------------|-------------|----------------|----------|------------|
| 燃料取替用水タンク ～ 弁 (2MOV-6400A、B) | 0 | 0 ^{*1} | / | 10 | 11 | / | 水圧 | 令和7年 10月18日 | 良 | 目視 記録確認 |

備考：

※1：静水頭圧（燃料取替用水タンクのオーバーフローレベルからの水頭圧）とする。

・~~記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。~~

・~~※2 適合性確認検査成績書の識別番号~~

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日: 令和元年 10月18日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|-------|------|------|------|---------------|----|
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

工事計画本文

(以下、「工事計画本文」は申請者の情報を基に作成したものである。)

原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 主配管 (常設)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | |
|---------------------|---------------------|-------------------|---------------|-----------------|------------------|---------------------|---------------------|-------------------|---------------|-----------------|------------------|--------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | |
| 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 | (注1) 0 | (注2) 95 | (注3) 355.6 | (注3, 4) 11.1 | SUS27TP | 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 | 変更なし | 変更なし | 変更なし | | | 対象外 |
| | | | | | | | | | (注3) 355.6 | (注3, 4) 11.1 | (注3) SUS304TP | 検査対象 1 |
| | | | (注3) 216.3 | (注3, 4) 8.2 | (注6) SUS304TP | | | | 検査対象 1 | | | |
| | | | 変更なし | | | | | | | 対象外 | | |

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取替用水タンク～弁 (2-6400A、B)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。

(注5) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) 及びその他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) のうち消火設備と兼用

- (注6) 重大事故等時に使用
- (注7) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注8) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁 (2-8926)」と記載
- (注10) 計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27TP」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁 (2-8926) ～弁 (2-LCV-115B、D)」と記載
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプ～弁 (2-8811A、B)」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の「原子炉格納容器」の「原子炉格納容器本体」による。
- (注15) 重大事故等時における使用時の値
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8811A、B) ～弁 (2-8812A、B)」と記載
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁 (2-8958)」と記載
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁 (2-8958) ～弁 (2-8809A、B)」と記載
- (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ入口母管～弁 (2-5400)」と記載
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口集合母管～弁 (2-8803A、B) および弁 (2-8816) (2-FE943取付部を除く)」と記載
- (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口集合母管～弁 (2-8815) 及び弁 (2-8814) (2-FE940取付部を除く)」と記載
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8815) ～分岐点」と記載
- (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (2-8942A、B、C)」と記載
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁 (2-8942A、B、C) ～余除去クーラ出口合流点」と記載
- (注25) エルボを示す。
- (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「2-FE943および2-FE940取付部 (レジャーサ4×3～レジャーサ4×3)」と記載
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8803A、B) ～レジャーサ (6×3)」と記載
- (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (6×3) ～ほう酸注入タンク」と記載
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ほう酸注入タンク出口レジャーサ (6×3) ～弁 (2-8801A、B)」と記載
- (注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8801A、B) ～分岐点」と記載
- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (2-8944A、B、C)」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8944A、B、C) ～主冷却材管ループ低温側注入ライン合流点」と記載
- (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 9.5」と記載
- (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 9.5 / - / (最小) 9.5」と記載
- (注35) 公称値は既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8816) ～分岐点」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (2-8937A、B、C)」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8814) ～分岐点」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (2-8939A、B、C)」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8937C) 及び弁 (2-8939C) ～弁 (2-8940C)」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 9.5 / (最小) 9.5 / (最小) 9.5」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁 (2-8937A、B) 及び逆止弁 (2-8939A、B) ～余熱除去クーラ出口合流点」と記載
- (注43) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8973A、B、C) ～弁 (2-8945A、B、C)」と記載
- (注44) 余熱除去設備と兼用
- (注45) 余熱除去設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去クーラ出口ラインと非常用炉心冷却設備との取合点～弁 (2-8818A、B) 及び弁 (2-8819)」と記載
- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8818A、B) ～逆止弁 (2-8971A、B) を経てコールドレグループB注入ラインへの分岐点」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「コールドレグループB注入ラインへの分岐点～逆止弁 (2-8973A、B、C)」と記載
- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8819) ～分岐点」と記載
- (注50) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (2-8935A、B)」と記載
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8935A、B) ～弁 (2-8940A、B)」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「アキュムレータA、B、C～弁 (2-8808A、B、C)」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8808A、B、C) ～逆止弁 (2-8948A、B、C)」と記載
- (注54) 本設備は既存の設備である。
- (注55) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用
- (注56) 蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用

工事計画添付図面の抜粋

(以下は申請者の情報を基に作成したものである。)

1. 許容範囲の根拠

(1) 主配管

| 名 称 | | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 根拠 |
|-------------------------------------|----------|---------------|---------|------------|
| 非常用炉心 冷却設備 その他 原子炉 注水設備 | 管継手 (注1) | 8B 14B | | JIS B 2312 |

出典：日本工業規格 JIS B 2312 「配管用鋼製突合せ溶接式管継手」

(注1) T継手



| | |
|--|----------|
| 工事計画認可申請 | 第3-2-28図 |
| 高浜発電所第2号機 | |
| 原子炉冷却系統施設の系統図 (非常用炉心冷却設備その他 原子炉注水設備)(16/18) (重大事故等対処設備) | |
| 関西電力株式会社 | |

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名 : 原子炉冷却系統施設

系統名 : 原子炉補機冷却設備
ろ過装置

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 2-07

令和2年 8月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第321号(平成28年10月7日)
関原発第435号(平成30年3月20日)
関原発第47号(平成30年4月20日)
関原発第203号(平成30年7月4日)
関原発第260号(平成30年8月20日)
関原発第416号(平成30年12月5日)
(以下、別紙1参照)
- 4 検査期日 自 平成30年7月30日
至 令和2年8月25日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
みすず精工株式会社 信州工場
長野県小諸市大字滋野甲
~~株式会社北海鉄工所 岸和田工場~~
~~大阪府岸和田市臨海町~~
- 6 検査範囲 高浜発電所第2号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
原子炉補機冷却設備
ろ過装置
海水ストレーナ 4個
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり

3 検査申請

使用前検査申請番号

関原発第505号(平成31年 2月 1日)
関原発第513号(平成31年 2月 6日)
関原発第 4号(平成31年 4月 4日)
関原発第 69号(2019年 5月16日)
関原発第116号(2019年 6月24日)
関原発第205号(2019年 8月23日)
関原発第511号(2020年 1月31日)
関原発第543号(2020年 2月26日)
関原発第618号(2020年 3月24日)
関原発第 23号(2020年 4月 7日)

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 耐圧検査、漏えい検査記録
- 7 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|--|---|--|------|
| 平成30年 7月 ³⁰ / ₃₁ 日 | 原 田 智  水 戸 侑哉  | ボイラー・タービン 主任技術者  | なし |
| 平成30年 12月 ¹² / ₁₃ 日 | 中 田 聡  前原隆文  | ボイラー・タービン 主任技術者  | なし |
| 令和2年 2月4日 | 増 本 豊  | ボイラー・タービン 主任技術者  | なし |

△

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|---------------|---|--|------|
| 令和2年 8月25日 | 平沢 淳  | ボイラー-タービン 主任技術者  | なし |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |

5

検査結果一覧表

系統名：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け 状態を確認する 検査 | 耐圧検査、 漏えい検査 | 備 考 |
|------|----------------|-----------------|--------------------|---------------------------|-----------------|-----|
| 検査日 | 平成30年 7月30日 | 平成30年 7月30日 | 平成30年 7月31日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | 良 | 良 | 良 | | | |
| 検査日 | 年 月 日 | 平成30年 12月12日 | 平成30年 12月12/13日 | 年 月 日 | 平成30年 12月13日 | |
| 結果 | | 良 | 良 | | 良 | |
| 検査日 | 年 月 日 | 令和2年 2月4日 | 令和2年 2月4日 | 令和2年 2月4日 | 年 月 日 | |
| 結果 | | 良 | 良 | 良 | | |

26
 記載・記入の場所 訂正
 令和2年8月25日

検査結果一覧表

系統名：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け 状態を確認する 検査 | 耐圧検査、 漏えい検査 | 備考 |
|------|----------|----------|--------------------|---------------------------|----------------|----|
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 令和 2 年 8 月 25 日 | 令和 2 年 8 月 25 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | | | 良 | 良 | | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | | | | | | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | | | | | | |

67 記録簿記入済 令和2年8月25日

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|--------------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年 12月12,13日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。 | 記録確認 | 平成30年 12月12,13日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|---------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 令和2年 2月4日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 令和2年 8月25日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。 | 記録確認 | 令和2年 2月4日 | 良 | |
| | | 令和2年 8月25日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 令和2年 2月4日 | 良 | |
| | | 令和2年 8月25日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年 7月30日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成30年 7月30日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|-----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年 7月30日 | 良 | |
| | | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成30年 7月30日 | 良 | |
| | | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 平成30年 7月30日 | 良 | |
| | | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|--------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和2年 2月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和2年 2月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和2年 2月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|-----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年 7月31日 | 良 | |
| | | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | | 令和2年 2月4日 | 良 | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成30年 7月31日 | 良 | |
| | | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | | 令和2年 2月4日 | 良 | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|---------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和2年 8月25日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和2年 8月25日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|---------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和2年 2月4日 | 良 | |
| | | 令和2年 8月25日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和2年 2月4日 | 良 | |
| | | 令和2年 8月25日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

耐圧検査、漏えい検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------------|-----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年 12月13日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成30年 12月13日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 平成30年 12月13日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ 記録確認 | 平成30年 12月13日 | 良 | |
| | 立会/ 記録確認 | 年 月 日 | | |
| | 立会/ 記録確認 | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所~~
 みすず精工株式会社 信州工場
~~株式会社北海鉄工所 岸和田工場~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-------------|------------|--------|----------------|------|------|
| A a 海水ストレーナ | 胴板 | SGV480 | 平成30年 7月30日 | 良 | 記録確認 |
| | 鏡板 | SGV480 | 平成30年 7月30日 | 良 | |
| | ふた フランジ | SGV480 | 平成30年 7月30日 | 良 | |
| | 胴 フランジ | SGV450 | 平成30年 7月30日 | 良 | |
| A b 海水ストレーナ | 胴板 | SGV480 | 平成30年 7月30日 | 良 | 記録確認 |
| | 鏡板 | SGV480 | 平成30年 7月30日 | 良 | |
| | ふた フランジ | SGV480 | 平成30年 7月30日 | 良 | |
| | 胴 フランジ | SGV450 | 平成30年 7月30日 | 良 | |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所
 みすず精工株式会社 信州工場
~~株式会社北海鉄工所 岸和田工場~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-------------|------------|--------|----------------|------|
| B a 海水ストレーナ | 胴板 | SGV480 | 平成30年 7月30日 | 良 |
| | 鏡板 | SGV480 | 平成30年 7月30日 | 良 |
| | ふた フランジ | SGV480 | 平成30年 7月30日 | 良 |
| | 胴 フランジ | SGV450 | 平成30年 7月30日 | 良 |
| B b 海水ストレーナ | 胴板 | SGV480 | 平成30年 7月30日 | 良 |
| | 鏡板 | SGV480 | 平成30年 7月30日 | 良 |
| | ふた フランジ | SGV480 | 平成30年 7月30日 | 良 |
| | 胴 フランジ | SGV450 | 平成30年 7月30日 | 良 |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所、みすず精工株式会社 信州工場、~~株式会社北海鉄工所 岸和田工場~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 | |
|-------------|------------------------|--------------------------|---------------------------|-------------|----------------|----------------|------|---|
| A a 海水ストレーナ | 胴内径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | | 年 月 日 | | 記録確認 | |
| | 胴板厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | | 年 月 日 | | | |
| | 鏡板厚さ | 19 (22 ^{※1}) | 19.0~23.25 | | 年 月 日 | | | |
| | 鏡板の形状に係る寸法 | 鏡板の内面における 長径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | | 年 月 日 | | |
| | | 鏡板の内面における 短径の2分の1 | 400 ^{※1} | 390~420 | 410 | 平成30年 7月30日 | | 良 |
| | ふたフランジ厚さ | 123 (125 ^{※1}) | 123~127.5 | 126.1~126.1 | 平成30年 7月30日 | 良 | | |
| | 入口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | | 年 月 日 | | | |
| 入口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | | 年 月 日 | | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

61

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所~~、みすず精工株式会社 信州工場、~~株式会社北海鉄工所 岸和田工場~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 | |
|-------------|------------|--------------------------|---------------------------|-------------|-----------------|-----------------|------|---|
| A a 海水ストレーナ | 胴内径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | 1,594~1,607 | 平成30年 12月12日 | 良 | 記録確認 | |
| | 胴板厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 22.3~22.5 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |
| | 鏡板厚さ | 19 (22 ^{※1}) | 19.0~23.25 | 21.6~21.9 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |
| | 鏡板の形状に係る寸法 | 鏡板の内面における 長径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | 1,598~1,598 | 平成30年 12月12日 | | 良 |
| | | 鏡板の内面における 短径の2分の1 | 400 ^{※1} | 390~420 | | 年 月 日 | | |
| | ふたフランジ厚さ | 123 (125 ^{※1}) | 123~127.5 | | 年 月 日 | | | |
| | 入口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | 911.0~913.3 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |
| | 入口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 22.5~22.6 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所~~ みすず精工株式会社 信州工場

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|-------------|---------|--------------------------|---------------------------|-------------|-----------------|----------|------|
| A a 海水ストレーナ | 出口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | 911.1~914.0 | 平成30年 12月12日 | 良 | 記録確認 |
| | 出口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 22.4~22.6 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | ドレン管台外径 | 267.4 ^{※1} | 265.2608~ 269.5392 | 266.7~267.0 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | ドレン管台厚さ | 7.6 (9.3 ^{※1}) | 7.6375~10.4625 | 8.5~9.0 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | 胴フランジ厚さ | 117 (119 ^{※1}) | 117~120.5 | 118.1~120.0 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | 高さ | 2,708 ^{※1} | 2,690~2,735 | | 年 月 日 | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所、~~女子精工株式会社 信州工場~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|-------------|--------------|---------------------------|-----------------------|-------------|--------------|------|
| A a 海水ストレーナ | 出口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | 年 月 日 | / | 記録確認 |
| | 出口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 年 月 日 | | |
| | ドレン管台外径 | 267.4 ^{※1} | 265.2608~ 269.5392 | 年 月 日 | | |
| | ドレン管台厚さ | 7.6 (9.3 ^{※1}) | 7.6375~10.4625 | 年 月 日 | | |
| | 胴フランジ厚さ | 117 (119 ^{※1}) | 117~120.5 | 年 月 日 | | |
| | 高さ | 2,708 ^{※1} | 2,690~2,735 | 2723 ~ 272X | 令和2年 2月4日 | 良 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所~~、みすず精工株式会社 信州工場、~~株式会社北海鉄工所 岸和田工場~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 | |
|-------------|------------------------|--------------------------|---------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------|-------------|
| A b 海水ストレーナ | 胴内径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | | 年 月 日 | | 記録確認 | |
| | 胴板厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | | 年 月 日 | | | |
| | 鏡板厚さ | 19 (22 ^{※1}) | 19.0~23.25 | | 年 月 日 | | | |
| | 鏡板の形状に係る寸法 | 鏡板の内面における 長径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | | 年 月 日 | | |
| | | 鏡板の内面における 短径の2分の1 | 400 ^{※1} | 390~420 | 408 | 平成30年 7月30日 | | 良 |
| | ふたフランジ厚さ | 123 (125 ^{※1}) | 123~127.5 | 125.8~126.0 | 平成30年 7月30日 | 良 | | |
| | 入口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | | 年 月 日 | | | |
| 入口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | | 年 月 日 | | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録(※3)による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

23

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所~~、みすず精工株式会社 信州工場、~~株式会社北海鉄工所 岸和田工場~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 | |
|-------------|------------|--------------------------|---------------------------|-------------|-----------------|-----------------|------|---|
| A b 海水ストレーナ | 胴内径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | 1,597~1,605 | 平成30年 12月12日 | 良 | 記録確認 | |
| | 胴板厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 22.4~22.6 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |
| | 鏡板厚さ | 19 (22 ^{※1}) | 19.0~23.25 | 21.8~21.9 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |
| | 鏡板の形状に係る寸法 | 鏡板の内面における 長径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | 1,598~1,598 | 平成30年 12月12日 | | 良 |
| | | 鏡板の内面における 短径の2分の1 | 400 ^{※1} | 390~420 | | 年 月 日 | | |
| | ふたフランジ厚さ | 123 (125 ^{※1}) | 123~127.5 | | 年 月 日 | | | |
| | 入口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | 910.1~913.7 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |
| | 入口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 22.4~22.6 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

24

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所~~ みすず精工株式会社 信州工場

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 | |
|-------------|--------------|---------------------------|-----------------------|-------------|-----------------|------|------|
| A b 海水ストレーナ | 出口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | 911.0~913.4 | 平成30年 12月12日 | 良 | 記録確認 |
| | 出口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 22.4~22.5 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | ドレン管台外径 | 267.4 ^{※1} | 265.2608~ 269.5392 | 266.8~267.2 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | ドレン管台厚さ | 7.6 (9.3 ^{※1}) | 7.6375~10.4625 | 8.6~9.0 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | 胴フランジ厚さ | 117 (119 ^{※1}) | 117~120.5 | 118.9~120.2 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | 高さ | 2,708 ^{※1} | 2,690~2,735 | | 年 月 日 | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

25

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所、~~みずぎ精工株式会社 信州工場~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|-------------|--------------|---------------------------|-----------------------|---------------------------|----------|------|
| A b 海水ストレーナ | 出口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | 年 月 日 | / | 記録確認 |
| | 出口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 年 月 日 | | |
| | ドレン管台外径 | 267.4 ^{※1} | 265.2608~ 269.5392 | 年 月 日 | | |
| | ドレン管台厚さ | 7.6 (9.3 ^{※1}) | 7.6375~10.4625 | 年 月 日 | | |
| | 胴フランジ厚さ | 117 (119 ^{※1}) | 117~120.5 | 年 月 日 | | |
| | 高さ | 2,708 ^{※1} | 2,690~2,735 | 2717~2718 令和2年 2月 日 | 良 | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：TZ-1-1901

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所~~、みすず精工株式会社 信州工場、~~株式会社北海鉄工所~~ 岸和田工場

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 | |
|-------------|------------------------|--------------------------|---------------------------|-------------|----------------|----------------|------|---|
| B a 海水ストレーナ | 胴内径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | | 年 月 日 | | 記録確認 | |
| | 胴板厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | | 年 月 日 | | | |
| | 鏡板厚さ | 19 (22 ^{※1}) | 19.0~23.25 | | 年 月 日 | | | |
| | 鏡板の形状に係る寸法 | 鏡板の内面における 長径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | | 年 月 日 | | |
| | | 鏡板の内面における 短径の2分の1 | 400 ^{※1} | 390~420 | 409 | 平成30年 7月30日 | | 良 |
| | ふたフランジ厚さ | 123 (125 ^{※1}) | 123~127.5 | 125.8~126.0 | 平成30年 7月30日 | 良 | | |
| | 入口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | | 年 月 日 | | | |
| 入口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | | 年 月 日 | | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

27

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所、みすず精工株式会社 信州工場、株式会社北海鉄工所~~ 岸和田工場

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 | |
|-------------|------------|--------------------------|---------------------------|-------------|-----------------|-----------------|------|---|
| B a 海水ストレーナ | 胴内径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | 1,594~1,603 | 平成30年 12月12日 | 良 | 記録確認 | |
| | 胴板厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 22.3~22.6 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |
| | 鏡板厚さ | 19 (22 ^{※1}) | 19.0~23.25 | 21.9~22.1 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |
| | 鏡板の形状に係る寸法 | 鏡板の内面における 長径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | 1,597~1,598 | 平成30年 12月12日 | | 良 |
| | | 鏡板の内面における 短径の2分の1 | 400 ^{※1} | 390~420 | | 年 月 日 | | |
| | ふたフランジ厚さ | 123 (125 ^{※1}) | 123~127.5 | | 年 月 日 | | | |
| | 入口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | 910.7~913.6 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |
| | 入口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 22.5~22.5 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所、みすず精工株式会社 信州工場

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|-------------|---------|--------------------------|---------------------------|-------------|-----------------|----------|------|
| B a 海水ストレーナ | 出口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | 911.2~913.3 | 平成30年 12月12日 | 良 | 記録確認 |
| | 出口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 22.3~22.4 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | ドレン管台外径 | 267.4 ^{※1} | 265.2608~ 269.5392 | 266.6~267.7 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | ドレン管台厚さ | 7.6 (9.3 ^{※1}) | 7.6375~10.4625 | 8.9~9.4 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | 胴フランジ厚さ | 117 (119 ^{※1}) | 117~120.5 | 118.0~119.7 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | 高さ | 2,708 ^{※1} | 2,690~2,735 | | 年 月 日 | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

29

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所、~~みずぎ精工株式会社 信州工場~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-------------|--------------|---------------------------|-----------------------|-----------|--------------|------|
| B a 海水ストレーナ | 出口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | 年 月 日 | / | 記録確認 |
| | 出口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 年 月 日 | | |
| | ドレン管台外径 | 267.4 ^{※1} | 265.2608~ 269.5392 | 年 月 日 | | |
| | ドレン管台厚さ | 7.6 (9.3 ^{※1}) | 7.6375~10.4625 | 年 月 日 | | |
| | 胴フランジ厚さ | 117 (119 ^{※1}) | 117~120.5 | 年 月 日 | | |
| | 高さ | 2,708 ^{※1} | 2,690~2,735 | 2718~2719 | 令和2年 2月 日 | 良 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：TZ-1-1901

30

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所~~、みすず精工株式会社 信州工場、~~株式会社北海鉄工所 岸和田工場~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 | |
|-------------|------------------------|--------------------------|---------------------------|-------------|----------------|----------------|------|---|
| B b 海水ストレーナ | 胴内径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | | 年 月 日 | | 記録確認 | |
| | 胴板厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | | 年 月 日 | | | |
| | 鏡板厚さ | 19 (22 ^{※1}) | 19.0~23.25 | | 年 月 日 | | | |
| | 鏡板の形状に係る寸法 | 鏡板の内面における 長径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | | 年 月 日 | | |
| | | 鏡板の内面における 短径の2分の1 | 400 ^{※1} | 390~420 | 409 | 平成30年 7月30日 | | 良 |
| | ふたフランジ厚さ | 123 (125 ^{※1}) | 123~127.5 | 125.8~126.0 | 平成30年 7月30日 | 良 | | |
| | 入口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | | 年 月 日 | | | |
| 入口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | | 年 月 日 | | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所、みすず精工株式会社 信州工場、株式会社北海鉄王所~~ 岸和田工場

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 | |
|-------------|------------------------|--------------------------|---------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|------|---|
| B b 海水ストレーナ | 胴内径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | 1,594~1,603 | 平成30年 12月12日 | 良 | 記録確認 | |
| | 胴板厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 22.3~22.5 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |
| | 鏡板厚さ | 19 (22 ^{※1}) | 19.0~23.25 | 21.8~22.1 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |
| | 鏡板の形状に係る寸法 | 鏡板の内面における 長径 | 1,600 ^{※1} | 1,592~1,608 | 1,600~1,602 | 平成30年 12月12日 | | 良 |
| | | 鏡板の内面における 短径の2分の1 | 400 ^{※1} | 390~420 | | 年 月 日 | | |
| | ふたフランジ厚さ | 123 (125 ^{※1}) | 123~127.5 | | 年 月 日 | | | |
| | 入口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | 911.0~913.2 | 平成30年 12月12日 | 良 | | |
| 入口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 22.4~22.5 | 平成30年 12月12日 | 良 | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所~~ みすず精工株式会社 信州工場

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 | |
|-------------|--------------|---------------------------|-----------------------|---------------|-----------------|------|------|
| B b 海水ストレーナ | 出口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | 911.7 ~ 913.6 | 平成30年 12月12日 | 良 | 記録確認 |
| | 出口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 22.3 ~ 22.4 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | ドレン管台外径 | 267.4 ^{※1} | 265.2608~ 269.5392 | 266.8 ~ 267.6 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | ドレン管台厚さ | 7.6 (9.3 ^{※1}) | 7.6375~10.4625 | 8.9 ~ 9.2 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | 胴フランジ厚さ | 117 (119 ^{※1}) | 117~120.5 | 118.0 ~ 119.9 | 平成30年 12月12日 | 良 | |
| | 高さ | 2,708 ^{※1} | 2,690~2,735 | | 年 月 日 | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

33

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所、~~オオダマ精工株式会社 信州工場~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|-------------|--------------|---------------------------|-----------------------|-----------|--------------|------|
| B b 海水ストレーナ | 出口管台外径 | 914.4 ^{※1} | 909.828~918.972 | 年 月 日 | / | 記録確認 |
| | 出口管台厚さ | 20 (22 ^{※1}) | 20.0~23.25 | 年 月 日 | | |
| | ドレン管台外径 | 267.4 ^{※1} | 265.2608~ 269.5392 | 年 月 日 | | |
| | ドレン管台厚さ | 7.6 (9.3 ^{※1}) | 7.6375~10.4625 | 年 月 日 | | |
| | 胴フランジ厚さ | 117 (119 ^{※1}) | 117~120.5 | 年 月 日 | | |
| | 高さ | 2,708 ^{※1} | 2,690~2,735 | 2719~2720 | 令和2年 2月7日 | 良 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

34

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所
 みすず精工株式会社 信州工場
 株式会社北海鉄工所 岸和田工場

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|----------------|----------------|------|-------------|
| A a 海水ストレーナ ※1 | 平成30年 7月31日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| A b 海水ストレーナ ※1 | 平成30年 7月31日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B a 海水ストレーナ ※2 | 平成30年 7月31日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B b 海水ストレーナ ※2 | 平成30年 7月31日 | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考

- ・塗装及び内面ライニング施工前の状態で確認。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

※1：鏡板について確認

※2：胴フランジを除く範囲について確認

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

みすず精工株式会社 信州工場

~~株式会社北海鉄工所 岸和田工場~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|----------------|----------------|------|-----------------------|
| A a 海水ストレーナ ※1 | 平成30年 7月31日 | 良 | 目視 記録確認 |
| A b 海水ストレーナ ※1 | 平成30年 7月31日 | 良 | 目視 記録確認 |
| B a 海水ストレーナ | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| B b 海水ストレーナ | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |

備考

・塗装及び内面ライニング施工前の状態で確認。

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

~~※：適合性確認検査成績書の識別番号~~

※1：鏡板及び胴フランジを除く範囲について確認。

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所~~
 みすず精工株式会社 信州工場
~~株式会社北海鉄工所 岸和田工場~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|----------------|-----------------|------|-------------|
| A a 海水ストレーナ ※1 | 平成30年 12月13日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| A b 海水ストレーナ ※1 | 平成30年 12月12日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B a 海水ストレーナ ※1 | 平成30年 12月12日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B b 海水ストレーナ ※1 | 平成30年 12月12日 | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考

- ・塗装及び内面ライニング施工前の状態で確認。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

※1：胴フランジについて確認

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-------------|--------------|------|-------------|
| A a 海水ストレーナ | 令和2年 2月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| A b 海水ストレーナ | 令和2年 2月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B a 海水ストレーナ | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| B b 海水ストレーナ | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |

備考

- ・組立て及び据付け状態で確認。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：~~適合性確認検査成績書の識別番号~~

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-------------|---------------|------|-------------|
| A a 海水ストレーナ | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| A b 海水ストレーナ | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| B a 海水ストレーナ | 令和2年 8月25日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B b 海水ストレーナ | 令和2年 8月25日 | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考

- ・組立て及び据付け状態で確認。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号： T2-1-1901

高浜発電所第2号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-------------|--------------|------|-------------|
| A a 海水ストレーナ | 令和2年 2月×日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| A b 海水ストレーナ | 令和2年 2月×日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B a 海水ストレーナ | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| B b 海水ストレーナ | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |

備考

- ・フランジ部の施工状態の確認については、申請者の品質記録（※）による。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

高浜発電所第2号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-------------|---------------|------|-------------|
| A a 海水ストレーナ | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| A b 海水ストレーナ | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| B a 海水ストレーナ | 令和2年 8月25日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B b 海水ストレーナ | 令和2年 8月25日 | 良 | 目視/ 記録確認 |

備 考

- ・フランジ部の施工状態の確認については、申請者の品質記録（※）による。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号： T2-1-1901

高浜発電所第2号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所~~、みすず精工株式会社 信州工場

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ろ過装置 海水ストレーナ

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。・著しい漏えいがないこと。

| 検査対象 | 最高使用圧力 (MPa) | 耐圧検査 規定圧力 (MPa) | 耐圧検査時 圧力 (MPa) | 保持時間 (min) | 漏えい検査時 圧力 (MPa) | 水圧、気 圧 区分 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-------------|-------------------|-----------------------|----------------------|---------------|-----------------------|-----------------|-----------------|------|-------------|
| A a 海水ストレーナ | 1.2 ^{*1} | 1.2 | 1.24 | 12 | 1.24 | 水圧 | 平成30年 12月13日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| A b 海水ストレーナ | 1.2 ^{*1} | 1.2 | 1.23 | 14 | 1.23 | 水圧 | 平成30年 12月13日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B a 海水ストレーナ | 0.7 | 1.05 | 1.08 | 12 | 1.08 | 水圧 | 平成30年 12月13日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B b 海水ストレーナ | 0.7 | 1.05 | 1.08 | 12 | 1.08 | 水圧 | 平成30年 12月13日 | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考

※1：重大事故等時における使用時の値

・記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。

※2：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1901

42

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：平成30年12月13日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|---------------|-------|------|------|------|---------------|----|
| 耐圧検査 漏えい検査 | 圧力計 | | | | 2018年7月2日 | |
| 耐圧検査 漏えい検査 | 圧力計 | | | | 2019年1月31日 | |
| 耐圧検査 漏えい検査 | 圧力計 | | | | 2018年7月2日 | |
| | | | | | 2019年1月31日 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名 : 原子炉冷却系統施設

系統名 : 原子炉補機冷却設備
主配管 (常設)

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 2-08

令和元年 12 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第321号(平成28年10月7日)
関原発第435号(平成30年3月20日)
関原発第47号(平成30年4月20日)
関原発第203号(平成30年7月4日)
関原発第260号(平成30年8月20日)
関原発第416号(平成30年12月5日)
関原発第505号(平成31年2月1日)
関原発第513号(平成31年2月6日)
- 以下別紙に参照
- 4 検査期日 自 平成31年2月27日
至 令和元年12月4日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第2号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
原子炉補機冷却設備
主配管(常設)
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 9 添付資料 使用前検査記録

3 検査申請

使用前検査申請番号

関原発第 4号(平成31年 4月 4日)

関原発第 69号(2019年 5月16日)

関原発第116号(2019年 6月24日)

関原発第205号(2019年 8月23日)

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 耐圧検査、漏えい検査記録
- 7 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|----------------|----------------|--|------|
| 平成31年 2月27日 | 田中 孝行 平川 圭司 | ボイラー・タービン 主任技術者  | なし |
| 令和元年 12月4日 | 高橋 和宏 | ボイラー・タービン 主任技術者  | なし |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |

ナ

検査結果一覧表

系統名：原子炉補機冷却設備

主配管（常設）

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け状態を確認する検査 | 耐圧検査、漏えい検査 | 備考 |
|------|----------------|----------------|----------------|-------------------|----------------|----|
| 検査日 | 平成31年 2月27日 | 平成31年 2月27日 | 平成31年 2月27日 | 平成31年 2月27日 | 平成31年 2月27日 | |
| 結果 | 良 | 良 | 良 | 良 | 良 | |
| 検査日 | 令和元年 12月4日 | 令和元年 12月4日 | 令和元年 12月4日 | 令和元年 12月4日 | 令和元年 12月4日 | |
| 結果 | 良 | 良 | 良 | 良 | 良 | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | | | | | | |

51

高浜発電所第2号機 使用前検査記録 検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|----------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 工事計画の認可、届出番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査前確認事項

材料検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録 検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査前確認事項

外観検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録 検査前確認事項

耐圧検査、漏えい検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ 記録確認 | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | 立会/ 記録確認 | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | 立会/ 記録確認 | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設

原子炉補機冷却設備

主配管（常設）：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|---|---------|----------------|------|------|
| 充てん／高圧注入ポンプ室 A、B空調装置冷却戻りライン 合流点 ～ 1次系機器冷却水戻り母管合流点 充てん／高圧注入ポンプ室 A、B空調装置より | STPT370 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |
| B余熱除去ポンプ ～ B余熱除去ポンプ出口配管分岐点 | STPT370 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |
| B余熱除去ポンプ出口配管分岐点 ～ B余熱除去ポンプ出口配管分岐点 下流レギュレーサ(2×1 1/2) | STPT370 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |
| 弁(2MOV-5160B) 下流レギュレーサ(12×8) ～ 1次系機器冷却水母管合流点 格納容器循環冷暖房ユニット戻り | STPT370 | 平成31年 2月27日 | 良 | 記録確認 |
| 充てん／高圧注入ポンプA、B、C 出口配管合流点及び B充てん／高圧注入ポンプ 冷却水出口配管分岐点 ～ 充てん／高圧注入ポンプ室A、B 空調装置冷却戻りライン合流点 | STPT370 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録(※)による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

| 高浜発電所第2号機 | | | | |
|---|---------|----------------|------|-----------|
| 材料検査記録 | | | | |
| 検査場所：関西電力株式会社高浜発電所 | | | | |
| 検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式 | | | | |
| 判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。 | | | | |
| 検査対象 | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ 出口配管合流点 ～ B 充てん／高圧注入ポンプ 冷却水出口配管分岐点 | STPT370 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |
| B 余熱除去ポンプ出口配管分岐点 ～ B 余熱除去ポンプ海水排水用ホース 上流側取合点 | STPT370 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ冷却水 出口配管分岐点 ～ B 充てん／高圧注入ポンプ 海水排水用ホース上流側取合点 | STPT370 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ 海水排水用ホース下流側取合点 ～ 屋外放出端 | STPT370 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |
| 格納容器貫通部 PEN#257 出口配管分岐点 ～ 屋外放出端 | STPT370 | 平成31年 2月27日 | 良 | * 記録確認 |
| 備考 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号： T2-1-1904 * 格納容器貫通部 PEN#257 出口配管分岐点 から弁 2V-45208 までに限る。 | | | | |

| 高浜発電所第2号機 | | | | |
|---|---------|---------------|------|------------|
| 材料検査記録 | | | | |
| 検査場所：関西電力株式会社高浜発電所 | | | | |
| 検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式 | | | | |
| 判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。 | | | | |
| 検査対象 | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ 出口配管合流点 ～ B 充てん／高圧注入ポンプ 冷却水出口配管分岐点 | STPT370 | 年 月 日 | | 記録確認 |
| B 余熱除去ポンプ出口配管分岐点 ～ B 余熱除去ポンプ海水排水用ホース 上流側取合点 | STPT370 | 年 月 日 | | 記録確認 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ冷却水 出口配管分岐点 ～ B 充てん／高圧注入ポンプ 海水排水用ホース上流側取合点 | STPT370 | 年 月 日 | | 記録確認 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ 海水排水用ホース下流側取合点 ～ 屋外放出端 | STPT370 | 年 月 日 | | 記録確認 |
| 格納容器貫通部 PEN#257 出口配管分岐点 ～ 屋外放出端 | STPT370 | 令和元年 12月4日 | 良 | ※2 記録確認 |
| 備考 ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904 ※2：平成31年2月27日に実施した記録確認箇所を除く。 | | | | |

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 外径(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|--|------------------------|---------------------|-------------|------------------------|-------------------|-----------|---------------|------|------|
| | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | | | |
| 15 充てん／高圧注入ポンプ室 A、B空調装置 冷却戻りライン合流点 ~ 1次系機器冷却水 戻り母管合流点 充てん／高圧注入ポンプ室 A、B空調装置より | 114.3 | 113.1 ~ 115.5 | 114.2~114.5 | 6.0 | 5.2 ~ 6.8 | 5.6 ~ 6.1 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 外径(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|--|---------------------|-------------------|----------------|---------------------|-------------------|------------------------|---------------|------|------|
| | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | | | |
| 16 B 余熱除去ポンプ ～ B 余熱除去ポンプ 出口配管分岐点 | 48.3 | 47.8 ～ 48.8 | 48.2～48.4 | 3.7 | 3.2 ～ 4.2 | 3.5～3.6 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |
| | 48.3 ^{※4} | 47.5 ～ 49.9 | 48.9～49.7 | 3.7 ^{※4} | 3.2以上 | 5.7 ^{※3} | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | 48.3 / | 47.5～49.9 / | 48.8 / 48.9 | 3.7 / | 3.2以上 / | 6.1 ^{※3} / | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | 48.3 | 47.5～49.9 | 48.7～49.0 | 3.7 | 3.2以上 | 4.6 ^{※3} | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | 48.3 / | 47.5～49.9 / | 48.8 / 48.9 | 3.7 / | 3.2以上 / | 5.7 ^{※3} / | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | 48.6 | 47.8～50.2 | 48.4～48.9 | 3.7 | 3.2以上 | 4.5 ^{※3} | 令和元年 12月4日 | 良 | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値 ※4：エルボを示す。

・記録確認は、申請者の品質記録（※5）による。

※5：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 外径(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|--|---------------------|-------------------|-------------|---------------------|-------------------|-----------|---------------|------|------|
| | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | | | |
| B 余熱除去ポンプ 出口配管分岐点 ~ B 余熱除去ポンプ 出口配管分岐点 下流レギュレーサ(2×1 1/2) | 48.3 | 47.8 ~ 48.8 | 48.2 ~ 48.2 | 3.7 | 3.2 ~ 4.2 | 3.6 ~ 3.8 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

17

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 外径(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|--|---------------------|---------------------|---------------|---------------------|--------------------|--------------------|----------------|------|------|
| | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | | | |
| 弁(2MOV-5160B) 下流レギュレーサ(12×8) ~ 1次系機器冷却水 母管合流点 格納容器循環 冷暖房ユニット戻り | 323.9 | 321.3 ~ 326.5 | 324.7 ~ 325.2 | 9.5 | 8.3 ~ 10.7 | 9.2 ~ 10.2 | 平成31年 2月27日 | 良 | 記録確認 |
| | 323.9 ^{※4} | 320.7 ~ 327.9 | 324.9 ~ 325.9 | 9.5 ^{※4} | 8.3以上 | 9.5 ^{※3} | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | 323.9 | 320.7~327.9 | 323.8 ~ 324.8 | 9.5 | 8.3以上 | 12.7 ^{※3} | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | / | / | / | / | / | / | | | |
| 318.5 | 315.3~322.5 | 320.1 ~ 320.3 | 10.3 | 9.0以上 | 15.5 ^{※3} | | | | |
| / | / | / | / | / | / | | | | |
| 323.9 | 320.7~327.9 | 325.0 ~ 325.6 | 9.5 | 8.3以上 | 15.5 ^{※3} | | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値 ※4：エルボを示す。

・記録確認は、申請者の品質記録（※5）による。

※5：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

18

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 外径(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|--|---------------------|-------------------|-----------|---------------------|-------------------|---------|---------------|------|------|
| | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | | | |
| 19 充てん／高圧注入ポンプ A、B、C 出口配管合流点及び B 充てん／高圧注入ポンプ 冷却水出口配管分岐点 ～ 充てん／高圧注入 ポンプ室 A、B 空調装置 冷却戻りライン合流点 | 88.9 | 88.0 ～ 89.8 | 88.8～89.1 | 5.5 | 4.8 ～ 6.2 | 5.2～5.4 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 外径(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|-------------------|-----------------------------|---------------|------|------|
| | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | | | |
| B 充てん/高圧注入ポンプ 出口配管合流点 | 88.9 | 88.0 ~ 89.8 | 88.8 ~ 88.9 | 5.5 | 4.8 ~ 6.2 | 5.3 ~ 5.3 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |
| B 充てん/高圧注入ポンプ 冷却水出口配管分岐点 | 88.9 / - | 87.3~90.5 / - | 89.9 ~ 89.9 / - | 5.5 / - | 4.8以上 / - | 6.2 ^{※3} / - | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | 60.5 | 59.7~62.1 | 60.5 ~ 60.8 | 3.9 | 3.4以上 | 5.2 ^{※3} | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

20

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 外径(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|--|---------------------|-------------------|-------------|---------------------|-------------------|-------------------|---------------|------|------|
| | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | | | |
| B 余熱除去ポンプ 出口配管分岐点 ～ B 余熱除去ポンプ 海水排水用ホース 上流側取合点 | 48.6 | 48.1 ～ 49.1 | 48.5 ~ 48.7 | 3.7 | 3.2 ～ 4.2 | 3.5 ~ 3.8 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |
| | 48.6 ^{※4} | 47.8 ～ 50.2 | 48.8 ~ 49.5 | 3.7 ^{※4} | 3.2以上 | 5.8 ^{※3} | 令和元年 12月4日 | 良 | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値 ※4：エルボを示す。

・記録確認は、申請者の品質記録（※5）による。

※5：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 外径(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|---|---------------------|-------------------|-----------|---------------------|-------------------|-------------------|---------------|------|------|
| | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | | | |
| B 充てん／高圧注入ポンプ 冷却水出口配管分岐点 ～ B 充てん／高圧注入ポンプ 海水排水用ホース 上流側取合点 | 60.5 | 59.8 ～ 61.2 | 60.4～60.6 | 3.9 | 3.4 ～ 4.4 | 3.8～4.0 | 令和元年 12月4日 | 良 | 記録確認 |
| | 60.5 ^{※4} | 59.7 ～ 62.1 | 60.9～61.9 | 3.9 ^{※4} | 3.4以上 | 4.3 ^{※3} | 令和元年 12月4日 | 良 | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値 ※4：エルボを示す。

・記録確認は、申請者の品質記録（※5）による。

※5：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

22

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 外径(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|---|------------------------------|---|---|---------------------------|-------------------------------|---|---------------|------|------|
| | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | | | |
| B 充てん/高圧注入ポンプ 海水排水用ホース 下流側取合点 ～ 屋外放出端 | 60.5 | 59.8 ～ 61.2 | 60.7 ~ 60.7 | 3.9 | 3.4 ～ 4.4 | 4.0 ~ 4.3 | 令和四年 12月4日 | 良 | 記録確認 |
| | 114.3 | 113.1 ～ 115.5 | 114.4 ~ 114.6 | 6.0 | 5.2 ～ 6.8 | 5.6 ~ 6.5 | 令和四年 12月4日 | 良 | |
| | 114.3 ^{※4} | 112.7 ～ 115.9 | 114.3 ~ 115.1 | 6.0 ^{※4} | 5.2以上 | 6.3 ^{※3} | 令和四年 12月4日 | 良 | |
| | 114.3 / - / 60.5 | 112.7~115.9 / - / 59.7~62.1 | 115.0 ~ 115.3 / - / 60.9 ~ 61.2 | 6.0 / - / 3.9 | 5.2以上 / - / 3.4以上 | 6.8 ^{※3} / - / 5.7 ^{※3} | 令和四年 12月4日 | 良 | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値 ※4：エルボを示す。

・記録確認は、申請者の品質記録（※5）による。

※5：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

23

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 外径(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|---|---------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------|---------------------|---|----------------|------|-----------|
| | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | 主要 ^{※1} 寸法 | 許容値 ^{※2} | 測定値 | | | |
| 格納容器貫通部 PEN#257 出口配管分岐点 ～ 屋外放出端 | 216.3 | 214.5 ～ 218.1 | 216.2～217.0 | 8.2 | 7.1 ～ 9.3 | 7.6～9.0 | 平成31年 2月27日 | 良 | * 記録確認 |
| | 216.3 ^{※4} | 214.7 ～ 218.7 | 217.2～218.1 | 8.2 ^{※4} | 7.1以上 | 8.0 ^{※3} | 平成31年 2月27日 | 良 | |
| | 318.5 / 216.3 | 315.3～322.5 / 214.7～218.7 | 319.0～319.3 ～ 217.2～217.3 | 10.3 / 8.2 | 9.0以上 / 7.1以上 | 10.8 ^{※3} / 13.1 ^{※3} | 平成31年 2月27日 | 良 | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値 ※4：エルボを示す。

・記録確認は、申請者の品質記録（※5）による。

※5：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

*格納容器貫通部PEN#257出口配管分岐点から弁2V-45208までに限る。

24

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 外径(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|---|---------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------|---------------------|---|---------------|------|------------|
| | 主要 ^{*1} 寸法 | 許容値 ^{*2} | 測定値 | 主要 ^{*1} 寸法 | 許容値 ^{*2} | 測定値 | | | |
| 格納容器貫通部 PEN#257 出口配管分岐点 ～ 屋外放出端 | 216.3 | 214.5 ～ 218.1 | 216.3 ~ 216.9 [黒塗り] | 8.2 | 7.1 ～ 9.3 | 8.0 ~ 8.8 [黒塗り] | 令和元年 12月4日 | 良 | ※6 記録確認 |
| | 216.3 ^{*4} | 214.7 ～ 218.7 | 217.1 ~ 217.7 | 8.2 ^{*4} | 7.1以上 | 8.5 ^{*3} | 令和元年 12月4日 | 良 | |
| | 318.5 / 216.3 | 315.3 ~ 322.5 / 214.7 ~ 218.7 | 319.0 ~ 319.3 ～ 217.2 ~ 217.3 | 10.3 / 8.2 | 9.0以上 / 7.1以上 | 10.8 ^{*3} / 13.1 ^{*3} | 令和元年 12月4日 | 良 | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値 ※4：エルボを示す。

・記録確認は、申請者の品質記録（※5）による。

※5：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

※6：平成31年2月27日に実施した記録確認箇所を除く。

25

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設

原子炉補機冷却設備

主配管（常設）：一式

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|--|----------------|------|-------------|
| 充てん／高圧注入ポンプ室 A、B 空調装置冷却戻りライン合流点 ～ 1次系機器冷却水戻り母管合流点 充てん／高圧注入ポンプ室 A、B 空調装置より | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B 余熱除去ポンプ ～ B 余熱除去ポンプ出口配管分岐点 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B 余熱除去ポンプ出口配管分岐点 ～ B 余熱除去ポンプ出口配管分岐点 下流レギュレーサ(2×1 1/2) | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 弁(2MOV-5160B) 下流レギュレーサ(12×8) ～ 1次系機器冷却水母管合流点 格納容器循環冷暖房ユニット戻り | 平成31年 2月27日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 充てん／高圧注入ポンプ A、B、C 出口配管合流点及び B 充てん／高圧注入ポンプ冷却水出口配管分岐点 ～ 充てん／高圧注入ポンプ室 A、B 空調装置冷却戻りライン合流点 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

| 高浜発電所第2号機 | | | |
|--|----------------|------|--------------------------|
| 外観検査記録 | | | |
| 検査場所：関西電力株式会社高浜発電所 | | | |
| 検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式 | | | |
| 判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。 | | | |
| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
| B 充てん／高压注入ポンプ出口配管合流点 ～ B 充てん／高压注入ポンプ冷却水出口配管分岐点 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B 余熱除去ポンプ出口配管分岐点 ～ B 余熱除去ポンプ海水排水用ホース上流側取合点 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B 充てん／高压注入ポンプ冷却水出口配管分岐点 ～ B 充てん／高压注入ポンプ 海水排水用ホース上流側取合点 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B 充てん／高压注入ポンプ 海水排水用ホース下流側取合点 ～ 屋外放出端 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 格納容器貫通部 PEN#257 出口配管分岐点 ～ 屋外放出端 | 平成31年 2月27日 | 良 | 目視/ 記録確認 [*] |
| 備考 ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904 * 弁2V-45207から弁2V-45208までの間の配管に限る。 | | | |

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設

原子炉補機冷却設備

主配管（常設）：一式

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|---|-------------------|------|--------------------------|
| B 充てん／高圧注入ポンプ出口配管合流点 ～ B 充てん／高圧注入ポンプ冷却水出口配管分岐点 | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| B 余熱除去ポンプ出口配管分岐点 ～ B 余熱除去ポンプ海水排水用ホース上流側取合点 | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ冷却水出口配管分岐点 ～ B 充てん／高圧注入ポンプ 海水排水用ホース上流側取合点 | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ 海水排水用ホース下流側取合点 ～ 屋外放出端 | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| 格納容器貫通部 PEN#257 出口配管分岐点 ～ 屋外放出端 | 令和元 年 12 月 4 日 | 良 | 目視 ※2 記録確認 |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

※2：平成31年2月27日に実施した記録確認箇所を除く。

| 高浜発電所第2号機 | | | |
|---|----------------|------|-------------|
| 組立て及び据付け状態を確認する検査記録 | | | |
| 検査場所：関西電力株式会社高浜発電所 | | | |
| 検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式 | | | |
| 判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。 | | | |
| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
| 充てん/高圧注入ポンプ室 A、B空調装置冷却戻りライン合流点 ~ 1次系機器冷却水戻り母管合流点 充てん/高圧注入ポンプ室A、B空調装置より | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B余熱除去ポンプ ~ B余熱除去ポンプ出口配管分岐点 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B余熱除去ポンプ出口配管分岐点 ~ B余熱除去ポンプ出口配管分岐点 下流レギュレーサ(2×1 1/2) | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 弁(2MOV-5160B) 下流レギュレーサ(12×8) ~ 1次系機器冷却水母管合流点 格納容器循環冷暖房ユニット戻り | 平成31年 2月27日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 充てん/高圧注入ポンプA、B、C 出口配管合流点及び B充てん/高圧注入ポンプ冷却水出口配管分岐点 ~ 充てん/高圧注入ポンプ室A、B 空調装置冷却戻りライン合流点 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 備考 | | | |
| ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904 | | | |

| 高浜発電所第2号機 | | | |
|---|----------------|------|-------------|
| 組立て及び据付け状態を確認する検査記録 | | | |
| 検査場所：関西電力株式会社高浜発電所 | | | |
| 検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式 | | | |
| 判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。 | | | |
| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ出口配管合流点 ～ B 充てん／高圧注入ポンプ冷却水出口配管分岐点 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B 余熱除去ポンプ出口配管分岐点 ～ B 余熱除去ポンプ海水排水用ホース上流側取合点 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ冷却水出口配管分岐点 ～ B 充てん／高圧注入ポンプ 海水排水用ホース上流側取合点 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ 海水排水用ホース下流側取合点 ～ 屋外放出端 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 格納容器貫通部 PEN#257 出口配管分岐点 ～ 屋外放出端 | 平成31年 2月27日 | 良 | 目視* 記録確認 |
| 備考 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904 *弁2V-45207から弁2V-45208までの間の配管に限る。 | | | |

高浜発電所第2号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設

原子炉補機冷却設備

主配管（常設）：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|---|---------------|------|---------------------------|
| B 充てん／高圧注入ポンプ出口配管合流点 ～ B 充てん／高圧注入ポンプ冷却水出口配管分岐点 | 年 月 日 | | 目視／ 記録確認 |
| B 余熱除去ポンプ出口配管分岐点 ～ B 余熱除去ポンプ海水排水用ホース上流側取合点 | 年 月 日 | | 目視／ 記録確認 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ冷却水出口配管分岐点 ～ B 充てん／高圧注入ポンプ 海水排水用ホース上流側取合点 | 年 月 日 | | 目視／ 記録確認 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ 海水排水用ホース下流側取合点 ～ 屋外放出端 | 年 月 日 | | 目視／ 記録確認 |
| 格納容器貫通部 PEN#257 出口配管分岐点 ～ 屋外放出端 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視／ 記録確認 ^{※2} |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904

※2：平成31年2月27日に実施した目視確認箇所を除く。

高浜発電所第2号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。
・著しい漏えいがないこと。

| 検査対象 | 最高使用 圧力 (MP a) | 耐圧検査 規定圧力 (MP a) | 耐圧検査時 圧力 (MP a) | 保持 時間 (分) | 漏えい 検査時圧力 (MP a) | 水圧、気圧 区分 | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|--|---------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|------------------------|-------------|---------------|----------|-------------|
| 充てん/高圧注入ポンプ室 A、B空調装置冷却戻りライン 合流点 ~ 1次系機器冷却水戻り母管合流点 充てん/高圧注入ポンプ室 A、B空調装置より | 0.98 | 1.47 | 1.52 | 11 | 1.52 | 水圧 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B余熱除去ポンプ ~ B余熱除去ポンプ出口配管分岐点 | 0.98 1.2 ^{*1} | 1.47 | 1.50 | 11 | 1.50 | 水圧 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考：

※1：重大事故等時における使用時の値

・記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。

※2：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904(その2)

32

高浜発電所第2号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。
・著しい漏えいがないこと。

| 検査対象 | 最高使用 圧力 (MP a) | 耐圧検査 規定圧力 (MP a) | 耐圧検査時 圧力 (MP a) | 保持 時間 (分) | 漏えい 検査時圧力 (MP a) | 水圧、気圧 区分 | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|---|----------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|------------------------|-------------|---------------|----------|-------------|
| B 余熱除去ポンプ出口配管分岐点 ~ B 余熱除去ポンプ出口配管分岐点 下流レジューサ (2×1 1/2) | 0.98 | 1.47 | 1.50 | 11 | 1.50 | 水圧 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 弁 (2MOV-5160B) 下流レジューサ (12×8) ~ 1次系機器冷却水母管合流点 格納容器循環冷暖房ユニット戻り | 0.98*1 1.2*1 | 1.2 | 1.24 | 11 | 1.24 | 水圧 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考：

※1：重大事故等時における使用時の値

・記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。

※2：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904(その2)

33

高浜発電所第2号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。

・著しい漏えいがないこと。

| 検査対象 | 最高使用 圧力 (MP a) | 耐圧検査 規定圧力 (MP a) | 耐圧検査時 圧力 (MP a) | 保持 時間 (分) | 漏えい 検査時圧力 (MP a) | 水圧、気圧 区分 | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|--|---------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|------------------------|-------------|---------------|----------|-------------|
| 34 充てん／高圧注入ポンプ A、B、C 出口配管合流点及び B 充てん／高圧注入ポンプ 冷却水出口配管分岐点 ~ 充てん／高圧注入ポンプ室 A、B 空調装置冷却戻りライン合流点 | 0.98 | 1.47 | 1.52 | 11 | 1.52 | 水圧 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B 充てん／高圧注入ポンプ 出口配管合流点 ~ B 充てん／高圧注入ポンプ 冷却水出口配管分岐点 | 0.98 1.2 ^{※1} | 1.47 | 1.52 | 11 | 1.52 | 水圧 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考：

※1：重大事故等時における使用時の値。

・記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。

※2：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904(その2)

高浜発電所第2号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。

・著しい漏えいがないこと。

| 検査対象 | 最高使用 圧力 (MP a) | 耐圧検査 規定圧力 (MP a) | 耐圧検査時 圧力 (MP a) | 保持 時間 (分) | 漏えい 検査時圧力 (MP a) | 水圧、気圧 区分 | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|---|----------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|------------------------|-------------|---------------|----------|-------------|
| B 余熱除去ポンプ出口配管分岐点 ~ B 余熱除去ポンプ海水排水用ホース 上流側取合点 | 1.2 ^{*1} | 1.2 | 1.50 | 11 | 1.50 | 水圧 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| B 充てん/高圧注入ポンプ冷却水 出口配管分岐点 ~ B 充てん/高圧注入ポンプ 海水排水用ホース上流側取合点 | 1.2 ^{*1} | 1.2 | 1.52 | 11 | 1.52 | 水圧 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考：

※1：重大事故等時における使用時の値。

・記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。

※2：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904(その2)

35

高浜発電所第2号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。
・著しい漏えいがないこと。

| 検査対象 | 最高使用 圧力 (MPa) | 耐圧検査 規定圧力 (MPa) | 耐圧検査時 圧力 (MPa) | 保持 時間 (分) | 漏えい 検査時圧力 (MPa) | 水圧、気圧 区分 | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|---|---------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|-----------------------|-------------|----------------|----------|-------------------------|
| B 充てん/高圧注入ポンプ 海水排水用ホース下流側取合点 ～ 屋外放出端 | 0 ^{*1} | 0 ^{*2} | 0.205 | 11 | 0.205 | 気圧 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 格納容器貫通部 PEN#257 出口配管分岐点 ～ 屋外放出端 | 0 ^{*1} | 0 ^{*2} | 0.206 | 11 | 0.206 | 気圧 | 令和元年 12月4日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| | 1.2 ^{*1} | 1.2 | 1.25 | 11 | 1.24 | 水圧 | 平成31年 2月27日 | 良 | 目視 [*] 記録確認 |

備考：

※1：重大事故等時における使用時の値 ※2：配管の高低差の水頭圧を考慮した圧力以上(0.2MPa)とする。

・記録確認は、申請者の品質記録(※3)による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904
*弁2V-45207 から弁2V-45208までの間の配管に限る。

36

高浜発電所第2号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設）：一式

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。
・著しい漏えいがないこと。

| 検査対象 | 最高使用 圧力 (MP a) | 耐圧検査 規定圧力 (MP a) | 耐圧検査時 圧力 (MP a) | 保持 時間 (分) | 漏えい 検査時圧力 (MP a) | 水圧、気圧 区分 | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|---|----------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|------------------------|-------------|----------------|----------|--------------------|
| B 充てん／高圧注入ポンプ 海水排水用ホース下流側取合点 ～ 屋外放出端 | 0 ^{*1} | 0 ^{*2} | | | | 気圧 | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| 格納容器貫通部 PEN#257 出口配管分岐点 ～ 屋外放出端 | 0 ^{*1} | 0 ^{*2} | | | | 気圧 | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| | 1.2 ^{*1} | 1.2 | 1.24 | 11 | 1.24 | 水圧 | 令和元年 12月 4日 | 良 | 目視/ <u>記録確認</u> |

備考：

※1：重大事故等時における使用時の値 ※2：配管の高低差の水頭圧を考慮した圧力以上(0.2MPa)とする。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1904(その2)

※4：平成31年2月27日に実施した記録確認箇所を除く。

37

高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

検査年月日: 平成31年2月27日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|--------------|-------|------------|------------|------------|---------------|----|
| 耐圧検査 漏れ検査 | 圧力計 | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | 2018年12月12日 | |
| | | | | | 2019年3月31日 | |
| 耐圧検査 漏れ検査 | 圧力計 | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | 2018年12月12日 | |
| | | | | | 2019年3月31日 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：2-08-1

令和2年5月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-08-1

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 7 年 5 月 20 日
至 令和 2 年 5 月 20 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| | |
|--------------------|---|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号 (平成28年10月7日) 関原発第435号 (平成30年3月20日) 関原発第 47号 (平成30年4月20日) 関原発第203号 (平成30年7月4日) 関原発第260号 (平成30年8月20日) 関原発第416号 (平成30年12月5日) 関原発第505号 (平成31年2月1日) 関原発第513号 (平成31年2月6日) 関原発第 4号 (平成31年4月4日) 関原発第 69号 (2019年5月16日) 関原発第116号 (2019年6月24日) 関原発第205号 (2019年8月23日) 関原発第511号 (2020年1月31日) 関原発第543号 (2020年2月26日) 関原発第618号 (2020年3月24日) 関原発第 23号 (2020年4月 7日) |
|--------------------|---|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-08-1

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|---------------|------|--|---|------|
| 令和2年 5月20日 | 良 | 原子力検査官 増本 豊  | ボラー-ターゼン 主任技術者  | なし |

w

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：2-08-1

検査年月日：令和2年 5月 20日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | Ⓔ・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | Ⓔ・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | Ⓔ・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：2-08-1

検査年月日：令和2年 5月 20日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|-------------|-----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 良・— | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 良・— | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 良・— | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ 記録確認 | 良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-08-1

検査年月日：令和 2 年 5 月 20 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検 査 対 象 | | | |
|---|--|---|--|
| 原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管 別添 1 参照の太線枠内の範囲 | | | |
| 検査項目 | 判定基準 | 検査結果 | 検査方法 |
| 材料検査 寸法検査 外観検査 据付検査 耐圧検査 漏えい検査 | 設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">良</div> | 目視 記録確認 |
| 備考 <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0201 ・目視で確認した範囲：添付資料 3 - 3 参照 | | | |

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項
 (8) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、壁厚、厚さ及び材料
 ・高設

| 名称 | 変更前 | | 変更後 | | 材料 |
|---|--------------|-------------|--------------|-------------|------|
| | 最高使用圧力 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 最高使用圧力 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | |
| （元でん）高圧 注入口 冷却水 | 0.98 | 95 | 0.98 | 95 | 変更なし |
| 入口配管合流点 | | | | | |
| （元でん）高圧 注入口 冷却ライン入口 レジュューサ (2×11/2) 及び | | | | | 変更なし |
| （元でん）高圧 注入口 冷却球槽 冷却ライン入口 レジュューサ (21/2×2) | | | | | 変更なし |

| 原子炉補機冷却設備 | |
|---|--------------------------|
| 名称 | 材料 |
| （元でん）高圧 注入口 冷却水 | STPG42 |
| （元でん）高圧 注入口 冷却ライン入口 レジュューサ (2×11/2) 及び | STPG370 |
| （元でん）高圧 注入口 冷却球槽 冷却ライン入口 レジュューサ (21/2×2) | ASTM A105 Gr D (S250) 相違 |

| 変更前 | | 変更後 | | | |
|--|-------------|-------------|---------|---------|---------|
| 名称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 (mm) | 壁厚 (mm) | 材料 |
| (充てん) 高圧 注入ポンプ 冷却水 人口配管合流点 | | | | | |
| (充てん) 高圧 注入ポンプ 冷却ライン入口 レジューサ 42×11(2) 及び | 変更なし | 95 | 60.3 | 3.9 | STPT370 |
| (充てん) 高圧 注入ポンプ 油冷却器 冷却ライン入口 レジューサ 段 1/2×2 | | | 60.3 | 3.9 | |
| | | | 60.5 | 3.9 | |

原子伊補機冷却設備

原子伊補機冷却設備

4

| 変更前 | | 変更後 | | | | | | |
|--|--------------------------|-------------|---------|-----|--------------------------|-------------|---------|------|
| 名 称 | 最高使用最高使用 圧 (MPa) (°C) | 外径 (mm) | 径厚 (mm) | 材 質 | 最高使用最高使用 圧 (MPa) (°C) | 外径 (mm) | 径厚 (mm) | 材 質 |
| (充てん) 高圧 注入ポンプ 冷却ライン出口 レジューサ (2×1/2) 及び (充てん) 高圧 注入ポンプ 油冷却器 冷却ライン出口 レジューサ (2×1/2×2) | 0.98 95 | 60.3 3.9 | STPG12 | | 0.98 95 | 60.3 3.9 | STPT370 | |
| (充てん) 高圧 注入ポンプ 冷却水出口配管 分岐点 | | | | | | | | 変更なし |

原子炉補機冷却設備

原子炉補機冷却設備

| 変更前 | | | | 変更後 | | | | | | | | |
|-----------|-------------|------------|---------|---------|----|-------|---------------------------|------------|---------|---------|-----|----------|
| 名称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (℃) | 外径 (mm) | 壁厚 (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (℃) | 外径 (mm) | 壁厚 (mm) | 材料 | |
| 原子炉附属冷却設備 | | | | | | (左でん) | 高圧注入ポンプ | 0.95 | 95 | 60.5 | 3.9 | STPT370 |
| | | | | | | (左でん) | 高圧注入ポンプ 冷却水入口配管 合流品 | 0.95 | 95 | 60.5 | 3.9 | SUS304TP |

6

| 電 更 前 | | 電 更 後 | | | | |
|-------|--|------------------|--|------|-----|----------|
| 名 称 | 最高使用最高使用 圧 力 温 度 外 径 厚 さ 材 料 (MPa) (℃) (mm) (mm) | 名 称 | 最高使用最高使用 圧 力 温 度 外 径 厚 さ 材 料 (MPa) (℃) (mm) (mm) | 材 料 | 材 料 | |
| | | C充てん/ 高压注入ポンプ | | 60.5 | 8.7 | SUS304TP |
| | | 出口配管 分岐点 | | 60.5 | 8.7 | |
| | | C充てん/ 高压注入ポンプ | 130 | 60.5 | 8.7 | SUS304TP |
| | | 冷却水入口配管 台渡点 | | 60.5 | 8.7 | |

6

原子炉補修令現設備

| 変更前 | | 変更後 | | |
|--------------------------------|---------------------------|---------|---------|----------|
| 名称 | 最高使用最高使用 圧力 (MPa) (°C) | 外径 (mm) | 壁厚 (mm) | 材料 |
| 原子炉補機冷却設備 | 0.98 95 | 60.5 | 3.9 | STPT370 |
| | | 60.5 | 3.9 | SUS304TP |
| 充てんノ 高圧注入ポンプ 入口配管 合流点 | 1.4 150 | 60.5 | 3.9 | SUS304TP |
| | | 60.5 | 3.9 | SUS304TP |

7

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99
成績書管理番号：2-09

令和2年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-09

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 2 月 5 日
至 令和 2 年 9 月 15 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| | |
|--------------------|---|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月 7日) 関原発第435号(平成30年 3月20日) 関原発第 47号(平成30年 4月20日) 関原発第203号(平成30年 7月 4日) 関原発第260号(平成30年 8月20日) 関原発第416号(平成30年12月 5日) 関原発第505号(平成31年 2月 1日) 関原発第513号(平成31年 2月 6日) 関原発第 4号(平成31年 4月 4日) 関原発第 69号(2019年 5月16日) 関原発第116号(2019年 6月24日) 関原発第205号(2019年 8月23日) 関原発第511号(2020年 1月31日) 関原発第543号(2020年 2月26日) 関原発第618号(2020年 3月24日) 関原発第 23号(2020年 4月 7日) |
|--------------------|---|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-09

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|--------------|------|------------|-------------------------------|------|
| 令和2年 2月5日 | 良 | 増本 豊 | ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted] | なし |

2

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 2月 5日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 2月 5日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|--------------|------|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | ◎良・— | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ ◎記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 2月 5日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象 | | | |
|---|--|------|---|
| 原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管（常設） 別添（工事計画又は申請者が行った試験・検査の品質記録の写し）の太線枠内の範囲※1 | | | |
| 検査項目 | 判定基準 | 検査結果 | 検査方法 |
| 材料検査 寸法検査 耐圧検査 漏えい検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 | 設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 | 目視 記録確認 |
| 備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号： T2-1-1903 ※1 海水ポンプA,B,C,D ~ Aa, Ab 海水ストレージ入口配管合流点、及び中間建屋入口(B系) については、A,B 海水ポンプ出口系統の範囲を確認 | | | |

設 備 概 要

(工事の計画の変更認可 平成 30 年 1 月 31 日認可)

| 変 更 前 | | | | | | 変 更 後 | | | | | |
|-----------|----------------------|--------------------|-------------|-------------|--------|-------|----------------------|--------------------|-------------|-------------|------|
| 名 称 | 最高使用 圧 力 (MPa) | 最高使用 温 度 (℃) | 外 径 (mm) | 厚 さ (mm) | 材 料 | 名 称 | 最高使用 圧 力 (MPa) | 最高使用 温 度 (℃) | 外 径 (mm) | 厚 さ (mm) | 材 料 |
| 原子炉補機冷却設備 | 0.7 | 40 | (注1) | (注1) | SS400 | 変更なし | | | | | 変更なし |
| | | | 609.6 | 10 | SM400B | | | | | | |
| | | | (注1) | (注1) | SM400B | | | | | | |
| | | | 609.6 | 12.7 | SM400B | | | | | | |
| | | | (注1) | (注1) | SM400B | | | | | | |
| 762.0 | 12.7 | SM400B | | | | | | | | | |
| (注1) | (注1) | SS400 | | | | | | | | | |
| 914.4 | 12 | SS400 | | | | | | | | | |
| (注1) | (注1) | SM400B | | | | | | | | | |
| 914.4 | 12.7 | SM400B | | | | | | | | | |

※ A、B海水ポンプ出口系統の範囲を確認

次ページに続く

(工事の計画の変更認可 平成30年1月31日認可)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|---|---------------------|-------------------|------------|------------|--------|-----|---------------------|-------------------|------------|------------|----|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 原子炉補機冷却設備 海水ポンプ A、B、C、D ～ Aa、Ab 海水ストレーナ 入口配管合流点 及び 中間建屋入口 (B系) | (注2) | 40 | (注1.3) | (注1.3) | (注3) | * | 変更なし | | | | |
| | | | 914.4 | 12.7 | SM400B | | | | | | |
| | | | (注1) | (注1) | | | | | | | |
| | | | 914.4 | 12.7 | | | | | | | |
| | | | / | / | SM400B | | | | | | |
| | | | 762.0 | 12.7 | | | | | | | |
| | | | (注1) | (注1) | | | | | | | |
| | | | 914.4 | 12.7 | | | | | | | |
| | | | / | / | SM400B | | | | | | |
| | | | 914.4 | 12.7 | | | | | | | |
| (注1) | (注1) | | | | | | | | | | |
| 914.4 | 12.7 | | | | | | | | | | |
| / | / | SM400B | | | | | | | | | |
| 914.4 | 12.7 | | | | | | | | | | |
| / | / | | | | | | | | | | |
| - | - | | | | | | | | | | |

* A、B海水ポンプ出口系統の範囲を確認

次ページに続く

(工事の計画の変更認可 平成 30 年 1 月 31 日認可)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|---|------------------------|-----------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|------|---------------------|--------------------|------------|------------|----|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 原子炉補機冷却設備 Aa、Ab 海水ストレーナ 入口配管合流点 ～ 中間建屋入口 (A系) | 0.7 | 40 | ^(注1) 762.0 | ^(注1) 12.7 | SM400B | 変更なし | 変更なし | | | | |
| | ^(注2) 1.2 | | ^(注1) 914.4 | ^(注1) 12.7 | SM400B | | | | | | |
| | ^(注2) 1.2 | ^(注2) 40 | ^(注1,3) 762.0 | ^(注1,3) 12.7 | ^(注3) SM400B | | | | | | |

次ページに続く

6

(工事の計画の変更認可 平成 30 年 1 月 31 日認可)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | | |
|-----------|--|-------------------|------------|------------|--------|--------|---------------------|-------------------|------------|------------|--------|------|--------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | | |
| 原子炉補機冷却設備 | Aa、Ab 海水ストレータ 入口配管合流点 ～ 中間建屋入口 (A系) | 1.2 | 40 | (注1,3) | (注1,3) | (注3) | 1.2 | 40 | 914.4 | 12.7 | SM400B | | |
| | | | | 914.4 | 12.7 | SM400B | | | | | | | |
| | | | | ／ | ／ | SM400B | | | | | | | |
| | | | | 762.0 | 12.7 | | | | | | | | |
| | | | | (注1) | (注1) | | | | | | | | |
| | | | | 914.4 | 12.7 | SM400B | | | | | | | |
| | | | | (注2) | (注2) | ／ | | | | | | ／ | SM400B |
| | | | | 914.4 | 12.7 | ／ | | | | | | ／ | |
| | | | | 914.4 | 12.7 | ／ | | | | | | ／ | |
| | | | | (注1) | (注1) | 914.4 | | | | | | 12.7 | SM400B |
| ／ | ／ | 914.4 | 12.7 | | | | | | | | | | |
| ／ | ／ | ／ | ／ | | | | | | | | | | |
| — | — | — | — | | | | | | | | | | |

変更なし

次ページに続く

10

別添 1-4 (令和 2 年 2 月 5 日)

(工事の計画の変更認可 平成30年1月31日認可)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|---|---------------------|-------------------|---------------|--------------|--------|-----|---------------------|-------------------|------------|------------|------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 原子炉補機冷却設備 Aa、Ab 海水ストレータ 入口配管合流点 ～ 中間建屋入口 (A系) | 1.2 | 40 | (注1) 914.4 | (注1) 12.7 | SM400B | | | | | | 変更なし |
| | | | (注2) — | (注2) — | | | | | | | |
| | | | 914.4 | 12.7 | | | | | | | |

(工事計画軽微変更届出 平成 30 年 5 月 24 日届出)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|---|---------------------|-------------------|--|---|----------------|-----------|---------------------|-------------------|------------|------------|----|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 原子炉補機冷却設備 | 0.7 | 40 | (注3,84) 762 | (注3,84) 12 | (注84) SS400 | 原子炉補機冷却設備 | 変更なし | | | | |
| | (注4) | | | | | | | | | | |
| | 1.2 | (注3) 762.0 | (注3) 12.7 | (注3) SM400B | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 中間建屋入口 A、B系 ～ 海水供給母管 分岐点 及び 1次系 冷却水クーラ A、C入口ライン レジューサ (30×24) | 1.2 | 40 | (注3,84) 762.0 / 762.0 / 762.0 | (注3,84) 12.7 / 12.7 / 12.7 | (注84) SS400 | | | | | | |

12

別添1-6 (令和2年 2月 5日)

(工事の計画の認可 平成 28 年 6 月 10 日認可)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | |
|-----|---------------------|-------------------|------------|------------|----|------------------------------|--|-------------------|---------------|----------------|----------------|---------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | |
| | | | | | | 原子炉補機冷却設備 | 可搬型原子炉 補機冷却水 循環ポンプ 出口接続点 ～ | (注4) 0.33 | (注4) 40 | (注3) 34.0 | (注3,50) 3.4 | STPT370 |
| | | | | | | | 可搬型原子炉 補機冷却水 循環ポンプ 出口配管合流点 | | | | | |
| | | | | | | A海水供給母管 接続口 ～ Aa、Ab | (注4) 1.2 | (注4) 40 | (注3) 267.4 | (注3,50) 9.3 | STPT370 | |
| | | | | | | 海水ストレーナ 入口配管合流点 | | | | | | |

(工事の計画の認可 平成28年6月10日認可)

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラA、B、C～ティ (20×20×16)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) 重大事故等時における使用時の値

(注5) 本設備は既存の設備である。

(注6) エルボを示す。

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ出口連絡管」と記載

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダA、B：ティ (20×20×16) ～レジューサ (20×14)」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (20×14) ～内部スプレクーラ」と記載

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダC：ティ (16×16×16) ～レジューサ (16×12)」と記載

(注11) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

(注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダC：レジューサ (16×12) ～ティ (20×20×16)」と記載

(注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダA、B：内部スプレクーラ～レジューサ (20×14)」と記載

(注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダA、B：レジューサ (20×14) ～ティ (20×20×16)」と記載

(注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ入口連絡管」と記載

(注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ティ (20×20×16) ～1次系冷却水ポンプA、B、C、D」と記載

(注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口レジューサ (16×12) ～ティ (20×20×16)」と記載

(注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口連絡管」と記載

(注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプA、D出口ティ (20×20×16) ～1次系冷却水クーラA、C入口ティ (20×20×16)」と記載

(注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ入口連絡管」と記載

(注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ティ (20×20×16) 及びレジューサ (20×16) ～1次系冷却水クーラA、C及びB」と記載

(注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～余熱除去クーラ (RH-2) A、B」と記載

(注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去クーラ (RH-2) A、B～戻母管合流点」と記載

(注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～冷却材ポンプA、B、Cへの分岐点」と記載

(注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却材ポンプB、Cからの合流点～弁 (2-FCV-1241)」と記載

(注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却材ポンプA、Bからの合流点～戻管 (8B) 合流点」と記載

(注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却水ポンプ入口分岐点～弁 (2-5105A、B)」と記載

(注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-5105A、B) ～1次系冷却水タンク」と記載

(注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管A、B分岐点～燃料ピットクーラ」と記載

(注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料ピットクーラ～1次系機器冷却水戻母管A、B合流点」と記載

- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余剰抽出水クーラ」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余剰抽出水クーラ～1次系機器冷却水戻母管 (10B) 合流点」と記載
- (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管～レジューサ (3×2)」と記載
- (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～計器用コンプレッサーパッケージIA-1A、IA-1B入口レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注35) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用コンプレッサーパッケージIA-1A、IA-1B出口レジューサ (2×1 1/2) ～レジューサ (3×2)」と記載
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～1次系機器冷却水戻母管」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ室空調装置入口レジューサ (3×2)」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ (4×2)」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよびスプレポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ冷却ライン分岐点～余熱除去ポンプ入口レジューサ (1 1/2×1/2)」と記載
- (注43) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～内部スプレポンプ入口分岐点」と記載
- (注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ入口分岐点～レジューサ (1×1/2)」と記載
- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (1×1/2) ～内部スプレポンプ出口合流点」と記載
- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口合流点～レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ出入口管」と記載
- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ出口レジューサ (1 1/2×1/2) ～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ冷却もどりライン合流点」と記載
- (注50) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～レジューサ (3×2)」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ (12×10)」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×10) ～レジューサ (10×6)」と記載
- (注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～レジューサ (6×4)」と記載
- (注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (6×4) 及び分岐点～レジューサ (4×2)」と記載
- (注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) および分岐点～格納容器循環空調装置」と記載
- (注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) ～レジューサ (6×4) 及び合流点」と記載
- (注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (6×4) ～VS-39Bからの合流点 (VS-39A)」と記載
- (注59) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (10×6) ～レジューサ (12×10)」と記載
- (注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×10) ～レジューサ (12×8)」と記載

- 9/
- (注61) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×8) ～レジャーサ (12×8)」と記載
- (注62) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×8) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～充てん/高圧注入ポンプ分岐点」と記載
- (注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ入口分岐点～レジャーサ (2×1 1/2) および (2 1/2×2)」と記載
- (注65) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ～充てん/高圧注入ポンプ～レジャーサ (2×1 1/2)」と記載
- (注66) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2 1/2×2) 充てん/高圧注入ポンプ～レジャーサ (2 1/2×2)」と記載
- (注67) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) およびレジャーサ (2 1/2×2) ～充てん/高圧注入ポンプ出口合流点」と記載
- (注68) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口合流点～充てんポンプ室空調装置冷却戻ライン合流点」と記載
- (注69) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水ポンプから中間建屋入口まで」と記載
- (注70) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SS41」と記載
- (注71) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「中間建屋入口～海水母管分岐点及びレジャーサ (30×24)」と記載
- (注72) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点及びレジャーサ (30×24) ～1次系冷却水クーラ」と記載
- (注73) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ～戻母管」と記載
- (注74) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「中間建屋出口までの戻母管 (埋設部除く)」と記載
- (注75) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「戻母管分岐点～ラプチャディスク」と記載
- (注76) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点～連絡管レジャーサ (10×8)」と記載
- (注77) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「連絡管分岐点～ディーゼル発電機」と記載
- (注78) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電機～レジャーサ (12×8) 及び合流点」と記載
- (注79) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×8) ～海水戻母管」と記載
- (注80) STPT38同等材 (STPT370) への取替えを行う。
- (注81) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。
- (注82) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載
- (注83) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

以下の設備のうち貫通配管は、既存の原子炉格納施設のうち原子炉格納容器 (原子炉格納容器配管貫通部) であり、原子炉補機冷却設備として本工事計画で兼用とする。

・常設

格納容器貫通部 (貫通部番号256)

格納容器貫通部 (貫通部番号257)

(工事の計画の変更認可 平成 30 年 1 月 31 日認可)

(注1) 公称値

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) エルボを示す。

(工事計画軽微変更届出 平成 30 年 5 月 24 日届出)

(注43) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ~内部スプレポンプ入口分岐点」と記載

(注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ入口分岐点~レジャーサ (1×1/2)」と記載

(注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (1×1/2) ~内部スプレポンプ出口合流点」と記載

(注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口合流点~レジャーサ (2×1 1/2)」と記載

(注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ出入口管」と記載

(注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ出口レジャーサ (1 1/2×1/2) ~余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ冷却もどりライン合流点」と記載

(注50) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

(注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ~レジャーサ (3×2)」と記載

(注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点~レジャーサ (12×10)」と記載

(注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×10) ~レジャーサ (10×6)」と記載

(注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点~レジャーサ (6×4)」と記載

(注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (6×4) 及び分岐点~レジャーサ (4×2)」と記載

(注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×2) および分岐点~格納容器循環空調装置」と記載

(注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×2) ~レジャーサ (6×4) 及び合流点」と記載

(注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (6×4) ~VS-39Bからの合流点 (VS-39A)」と記載

(注59) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (10×6) ~レジャーサ (12×10)」と記載

(注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×10) ~レジャーサ (12×8)」と記載

(注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ室空調装置冷却ライン分岐点~充てん/高圧注入ポンプ分岐点」と記載

(注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ入口分岐点~レジャーサ (2×1 1/2) および (2 1/2×2)」と記載

(注65) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ~充てん/高圧注入ポンプ~レジャーサ (2×1 1/2)」と記載

(注66) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2 1/2×2) 充てん/高圧注入ポンプ~レジャーサ (2 1/2×2)」と記載

(注67) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) およびレジャーサ (2 1/2×2) ~充てん/高圧注入ポンプ出口合流点」と記載

(注68) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口合流点~充てんポンプ室空調装置冷却戻ライン合流点」と記載

(注69) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水ポンプから中間建屋入口まで」と記載

(注70) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SS41」と記載

(注77) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「連絡管分岐点~ディーゼル発電機」と記載

(注78) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電機~レジャーサ (12×8) 及び合流点」と記載

(注79) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×8) ~海水戻母管」と記載

(注80) STPT38同等材 (STPT370) への取替えを行う。

(注81) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。

(注82) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載

(注83) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

(注84) SS41同等材 (SS400) への取替えを行う。

(注85) 注記について記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書に記載の「重大事故等時における使用時の値」を削除

(注86) 記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書には変更後に記載

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-09

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|---------------|------|---|--|------|
| 令和2年 6月16日 | 良 | 原子力検査官 河田 拓也  平沢 淳  | ボイラー-タービン 主任技術者  | なし |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 6 月 16 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 6 月 16 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|--------------|------|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | ◎良・— | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ ◎記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号: 2-09

検査年月日: 令和2年 6月 16日

検査場所: 関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象 | | | |
|---|--|------|------------|
| 原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管 (常設) 別添 (工事計画又は申請者が行った試験・検査の品質記録の写し) の太線枠内の範囲 ※1 | | | |
| 検査項目 | 判定基準 | 検査結果 | 検査方法 |
| 材料検査 寸法検査 耐圧検査 漏えい検査 外観検査 | 設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 | 目視 記録確認 |
| 備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録 (※) による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号: T2-1-1903 ※1 海水ポンプA, B, C, D ~ Aa, Ab 海水ストレーナ入口配管合流点及び中間建屋入口 (B系) (については、C, D 海水ポンプ出口系統の範囲を石確認 | | | |

(工事の計画の変更認可 平成 30 年 1 月 31 日認可)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|-----------|---------------------|--------------------|------------|------------|--------|------|---------------------|--------------------|------------|------------|------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 原子炉補機冷却設備 | 0.7 | 40 | (注1) | (注1) | SS400 | 変更なし | | | | | 変更なし |
| | | | 609.6 | 10 | | | | | | | |
| | | | (注1) | (注1) | SM400B | | | | | | |
| | | | 609.6 | 12.7 | | | | | | | |
| | | | (注1) | (注1) | SM400B | | | | | | |
| 762.0 | 12.7 | | | | | | | | | | |
| (注1) | (注1) | SS400 | ※ | | | | | | | | |
| 914.4 | 12 | | | | | | | | | | |
| (注1) | (注1) | SM400B | | | | | | | | | |
| 914.4 | 12.7 | | | | | | | | | | |

24

※C、D海水ポンプ出口系統の範囲を石確認

次ページに続く

(工事の計画の変更認可 平成30年1月31日認可)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|----------------|--------------------------------|-------------------|------------|------------|--------|--------|---------------------|-------------------|------------|------------|--------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 原子炉補機冷却設備 | 海水ポンプ A、B、C、D ～ Aa、Ab | | | | | 変更なし | | | | | |
| | | (注2) | (注2) | (注1,3) | (注1,3) | (注2) | | | (注1) | (注1) | |
| | 海水ストレーナ | 0.7 | 40 | 762.0 | 12.7 | SM400B | 変更なし | | 762.0 | 12.7 | SM400B |
| | 入口配管合流点 及び | | | | | | | | 762.0 | 12.7 | |
| 中間建屋入口 (B系) | | | | | | | | - | - | | |

次ページに続く

25

(工事の計画の変更認可 平成30年1月31日認可)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|---|---------------------|-------------------|------------|------------|--------|-----|---------------------|-------------------|------------|------------|----|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 原子炉補機冷却設備 海水ポンプ A、B、C、D ～ Aa、Ab 海水ストレータ 入口配管合流点 及び 中間建屋入口 (B系) | 0.7 | 40 | (注1,3) | (注1,3) | (注3) | ※ | 変更なし | | | | |
| | | | 914.4 | 12.7 | SM400B | | | | | | |
| | | | (注1) | (注1) | | | | | | | |
| | | | 914.4 | 12.7 | SM400B | | | | | | |
| | | | / | / | SM400B | | | | | | |
| | | | 762.0 | 12.7 | | | | | | | |
| | | | (注1) | (注1) | | | | | | | |
| | | | 914.4 | 12.7 | SM400B | | | | | | |
| | | | / | / | | | | | | | |
| | | | 914.4 | 12.7 | SM400B | | | | | | |
| (注1) | (注1) | | | | | | | | | | |
| 914.4 | 12.7 | SM400B | | | | | | | | | |
| / | / | | | | | | | | | | |
| 914.4 | 12.7 | SM400B | | | | | | | | | |
| / | / | | | | | | | | | | |
| - | - | | | | | | | | | | |

※C、D海水ポンプ出口系統の範囲を石曜認

次ページに続く

別添2-3 (令和2年6月16日)

(工事の計画の変更認可 平成 30 年 1 月 31 日認可)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|-----------|---------------------|--------------------|------------|------------|------|------|---------------------|--------------------|------------|------------|----|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 原子炉補機冷却設備 | 海水ポンプ A、B、C、D | | (注1) | (注1) | | 変更なし | | | | | |
| | ~ Aa、Ab | (注2) | (注2) | 914.4 | 12.7 | | | | | | |
| | 海水ストレータ | 0.7 | 40 | / | / | | SM400B | | | | |
| | 入口配管合流点 及び | | | / | / | | | | | | |
| | 中間建屋入口 (B系) | | | 914.4 | 12.7 | | | | | | |

(工事計画軽微変更届出 平成 30 年 5 月 24 日届出)

| 変 更 前 | | | | | | 変 更 後 | | | | | | |
|--|----------------------|--------------------|-------------|-------------|-------|-------------------|----------------------|--------------------|-------------|-------------|---------|-------|
| 名 称 | 最高使用 圧 力 (MPa) | 最高使用 温 度 (℃) | 外 径 (mm) | 厚 さ (mm) | 材 料 | 名 称 | 最高使用 圧 力 (MPa) | 最高使用 温 度 (℃) | 外 径 (mm) | 厚 さ (mm) | 材 料 | |
| 原子炉補機冷却設備 中間建屋入口 A、B系 ~ 海水供給母管 分岐点 及び 1次系 冷却水クーラ A、C入口ライン レジューサ (30×24) | 0.7 | 40 | (注3,84) | (注3,84) | (注84) | 原子炉補機冷却設備 変更なし | 0.7 | (注4) | 40 | (注3,84) | (注3,84) | (注84) |
| | | | 762 | 12 | SS400 | | | | | | | |
| | | | (注3) | (注3) | | | | | | | | |
| | 762.0 | 12.7 | SM400B | | | | | | | | | |
| | (注3,6,84) | (注3,6,84) | (注6,84) | | | | | | | | | |
| | 762.0 | 12.7 | SS400 | | | | | | | | | |
| | (注3,84) | (注3,84) | | | | | | | | | | |
| 762.0 | 12.7 | SS400 | | | | | | | | | | |
| (注4) | (注4) | | | | | | | | | | | |
| 609.6 | 12.7 | SS400 | | | | | | | | | | |
| (注3,84) | (注3,84) | | | | | | | | | | | |
| 762.0 | 12.7 | | | | | | | | | | | |
| (注3,84) | (注3,84) | (注84) | | | | | | | | | | |
| 762.0 | 12.7 | SS400 | | | | | | | | | | |
| (注3,84) | (注3,84) | | | | | | | | | | | |
| 762.0 | 12.7 | | | | | | | | | | | |

次ページに続く

別添2-5 (令和2年 6 月16日)

(工事の計画の認可 平成28年6月10日認可)

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラA、B、C～ティ (20×20×16)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) 重大事故等時における使用時の値

(注5) 本設備は既存の設備である。

(注6) エルボを示す。

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ出口連絡管」と記載

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダA、B：ティ (20×20×16) ～レジューサ (20×14)」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (20×14) ～内部スプレクーラ」と記載

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダC：ティ (16×16×16) ～レジューサ (16×12)」と記載

(注11) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

(注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダC：レジューサ (16×12) ～ティ (20×20×16)」と記載

(注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダA、B：内部スプレクーラ～レジューサ (20×14)」と記載

(注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダA、B：レジューサ (20×14) ～ティ (20×20×16)」と記載

(注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ入口連絡管」と記載

(注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ティ (20×20×16) ～1次系冷却水ポンプA、B、C、D」と記載

(注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口レジューサ (16×12) ～ティ (20×20×16)」と記載

(注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口連絡管」と記載

(注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプA、D出口ティ (20×20×16) ～1次系冷却水クーラA、C入口ティ (20×20×16)」と記載

(注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ入口連絡管」と記載

(注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ティ (20×20×16) 及びレジューサ (20×16) ～1次系冷却水クーラA、C及びB」と記載

(注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～余熱除去クーラ (RH-2) A、B」と記載

(注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去クーラ (RH-2) A、B～戻母管合流点」と記載

(注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～冷却材ポンプA、B、Cへの分岐点」と記載

(注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却材ポンプB、Cからの合流点～弁 (2-FCV-1241)」と記載

(注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却材ポンプA、Bからの合流点～戻管 (8B) 合流点」と記載

(注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却水ポンプ入口分岐点～弁 (2-5105A、B)」と記載

(注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-5105A、B) ～1次系冷却水タンク」と記載

(注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管A、B分岐点～燃料ピットクーラ」と記載

(注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料ピットクーラ～1次系機器冷却水戻母管A、B合流点」と記載

- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余剰抽出水クーラ」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余剰抽出水クーラ～1次系機器冷却水戻母管 (10B) 合流点」と記載
- (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管～レジューサ (3×2)」と記載
- (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～計器用コンプレッサーパッケージIA-1A、IA-1B入口レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注35) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用コンプレッサーパッケージIA-1A、IA-1B出口レジューサ (2×1 1/2) ～レジューサ (3×2)」と記載
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～1次系機器冷却水戻母管」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ室空調装置入口レジューサ (3×2)」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ (4×2)」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよびスプレポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ冷却ライン分岐点～余熱除去ポンプ入口レジューサ (1 1/2×1/2)」と記載
- (注43) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～内部スプレポンプ入口分岐点」と記載
- (注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ入口分岐点～レジューサ (1×1/2)」と記載
- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (1×1/2) ～内部スプレポンプ出口合流点」と記載
- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口合流点～レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ出入口管」と記載
- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ出口レジューサ (1 1/2×1/2) ～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ冷却もどりライン合流点」と記載
- (注50) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～レジューサ (3×2)」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ (12×10)」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×10) ～レジューサ (10×6)」と記載
- (注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～レジューサ (6×4)」と記載
- (注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (6×4) 及び分岐点～レジューサ (4×2)」と記載
- (注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) および分岐点～格納容器循環空調装置」と記載
- (注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) ～レジューサ (6×4) 及び合流点」と記載
- (注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (6×4) ～VS-39Bからの合流点 (VS-39A)」と記載
- (注59) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (10×6) ～レジューサ (12×10)」と記載
- (注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×10) ～レジューサ (12×8)」と記載

- 31
- (注61) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×8) ～レジャーサ (12×8)」と記載
- (注62) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×8) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～充てん/高圧注入ポンプ分岐点」と記載
- (注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ入口分岐点～レジャーサ (2×1 1/2) および (2 1/2×2)」と記載
- (注65) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ～充てん/高圧注入ポンプ～レジャーサ (2×1 1/2)」と記載
- (注66) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2 1/2×2) 充てん/高圧注入ポンプ～レジャーサ (2 1/2×2)」と記載
- (注67) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) およびレジャーサ (2 1/2×2) ～充てん/高圧注入ポンプ出口合流点」と記載
- (注68) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口合流点～充てんポンプ室空調装置冷却戻ライン合流点」と記載
- (注69) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水ポンプから中間建屋入口まで」と記載
- (注70) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SS41」と記載
- (注71) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「中間建屋入口～海水母管分岐点及びレジャーサ (30×24)」と記載
- (注72) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点及びレジャーサ (30×24) ～1次系冷却水クーラ」と記載
- (注73) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ～戻母管」と記載
- (注74) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「中間建屋出口までの戻母管 (埋設部除く)」と記載
- (注75) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「戻母管分岐点～ラプチャディスク」と記載
- (注76) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点～連絡管レジャーサ (10×8)」と記載
- (注77) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「連絡管分岐点～ディーゼル発電機」と記載
- (注78) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電機～レジャーサ (12×8) 及び合流点」と記載
- (注79) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×8) ～海水戻母管」と記載
- (注80) STPT38同等材 (STPT370) への取替えを行う。
- (注81) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。
- (注82) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載
- (注83) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

以下の設備のうち貫通配管は、既存の原子炉格納施設のうち原子炉格納容器 (原子炉格納容器配管貫通部) であり、原子炉補機冷却設備として本工事計画で兼用とする。

・常設

格納容器貫通部 (貫通部番号256)

格納容器貫通部 (貫通部番号257)

(工事の計画の変更認可 平成30年1月31日認可)

(注1) 公称値

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) エルボを示す。

(工事計画軽微変更届出 平成30年5月24日届出)

(注43) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ～内部スプレポンプ入口分岐点」と記載

(注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ入口分岐点～レジャーサ (1×1/2)」と記載

(注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (1×1/2) ～内部スプレポンプ出口合流点」と記載

(注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口合流点～レジャーサ (2×1 1/2)」と記載

(注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ出入口管」と記載

(注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ出口レジャーサ (1 1/2×1/2) ～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ冷却もどりライン合流点」と記載

(注50) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

(注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ～レジャーサ (3×2)」と記載

(注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジャーサ (12×10)」と記載

(注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×10) ～レジャーサ (10×6)」と記載

(注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～レジャーサ (6×4)」と記載

(注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (6×4) 及び分岐点～レジャーサ (4×2)」と記載

(注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×2) および分岐点～格納容器循環空調装置」と記載

(注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×2) ～レジャーサ (6×4) 及び合流点」と記載

(注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (6×4) ～VS-39Bからの合流点 (VS-39A)」と記載

(注59) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (10×6) ～レジャーサ (12×10)」と記載

(注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×10) ～レジャーサ (12×8)」と記載

(注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～充てん/高圧注入ポンプ分岐点」と記載

(注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ入口分岐点～レジャーサ (2×1 1/2) および (2 1/2×2)」と記載

(注65) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ～充てん/高圧注入ポンプ～レジャーサ (2×1 1/2)」と記載

(注66) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2 1/2×2) 充てん/高圧注入ポンプ～レジャーサ (2 1/2×2)」と記載

(注67) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) およびレジャーサ (2 1/2×2) ～充てん/高圧注入ポンプ出口合流点」と記載

(注68) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口合流点～充てんポンプ室空調装置冷却戻りライン合流点」と記載

(注69) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水ポンプから中間建屋入口まで」と記載

(注70) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SS41」と記載

(注77) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「連絡管分岐点～ディーゼル発電機」と記載

(注78) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電機～レジャーサ (12×8) 及び合流点」と記載

(注79) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×8) ～海水戻り管」と記載

(注80) STPT38同等材 (STPT370) への取替えを行う。

(注81) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。

(注82) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載

(注83) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

(注84) SS41同等材 (SS400) への取替えを行う。

(注85) 注記について記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書に記載の「重大事故等時における使用時の値」を削除

(注86) 記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書には変更後に記載

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-09

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|-----------------|------|------------|-------------------|------|
| 令和 2年 8月 25日 | 良 | 平沢 淳 | ホウライ - タセ / 主任技術者 | なし |

35

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和 2年 8月 25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 8月25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|-------------|-----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 良・— | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 良・— | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 良・— | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ 記録確認 | 良・⊖ | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 8月 25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検 査 対 象 | | | |
|---|--|--|--|
| 原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管 (常設) (別添1参照 ※1) | | | |
| 検査項目 | 判定基準 | 検査結果 | 検査方法 |
| 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 | 設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 | 目視 記録確認 |
| 備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号： T2-1-1903 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：海水ポンプA、B、C、D～Aa、Ab海水ストレーナ入口配管合流点及び中間建屋入口(B系)については、C、D海水ポンプ出口系統の範囲を確認 | | | |

(工事の計画の変更認可 平成 30 年 1 月 31 日認可)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | | | |
|-----------|--|-------------------|------------|------------|------|------|---------------------|-------------------|------------|------------|------|-------|------|--------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | | | |
| 原子炉補機冷却設備 | 海水ポンプ A、B、C、D ～ Aa、Ab 海水ストレーナ 入口配管合流点 及び 中間建屋入口 (B系) | 0.7 | 40 | (注1) | (注1) | 変更なし | 変更なし | 変更なし | 変更なし | 変更なし | 変更なし | | | |
| | | | | 609.6 | 10 | | | | | | | SS400 | | |
| | | | | (注1) | (注1) | | | | | | | 609.6 | 12.7 | SM400B |
| | | | | (注1) | (注1) | | | | | | | 762.0 | 12.7 | SM400B |
| | | | | (注1) | (注1) | | | | | | | 914.4 | 12 | SS400 |
| (注1) | (注1) | 914.4 | 12.7 | SM400B | | | | | | | | | | |

次ページに続く

(工事の計画の変更認可 平成 30 年 1 月 31 日認可)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | |
|-----------|---------------------------------|-------------------|------------|-----------------|----------------|----------------|---------------------|-------------------|---------------|--------------|--------|--|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | |
| 原子炉補機冷却設備 | 海水ポンプ A、B、C、D | | | | | 変更なし | | | | | | |
| | ～ Aa、Ab | | | | | | | | | | | |
| | 海水ストレーナ | (注2) 0.7 | (注2) 40 | (注1,3) 762.0 | (注1,3) 12.7 | (注3) SM400B | 変更なし | | (注1) 762.0 | (注1) 12.7 | | |
| | 入口配管合流点 及び 中間建屋入口 (B系) | | | | | | | | / | / | SM400B | |

次ページに続く

40

(工事の計画の変更認可 平成30年1月31日認可)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|-----------|---------------------|-------------------|------------|------------|--------|------|---------------------|-------------------|------------|------------|----|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 原子炉補機冷却設備 | 0.7 | 40 | (注1,3) | (注1,3) | (注3) | 変更なし | | | | | |
| | | | 914.4 | 12.7 | SM400B | | | | | | |
| | | | (注1) | (注1) | | | | | | | |
| | | | 914.4 | 12.7 | | | | | | | |
| | | | / | / | SM400B | | | | | | |
| | | | 762.0 | 12.7 | | | | | | | |
| | | | (注1) | (注1) | | | | | | | |
| | | | 914.4 | 12.7 | | | | | | | |
| | | | / | / | SM400B | | | | | | |
| | | | 914.4 | 12.7 | | | | | | | |
| (注1) | (注1) | | | | | | | | | | |
| 914.4 | 12.7 | | | | | | | | | | |
| / | / | SM400B | | | | | | | | | |
| 914.4 | 12.7 | | | | | | | | | | |
| / | / | | | | | | | | | | |
| - | - | | | | | | | | | | |

次ページに続く

1x

(工事の計画の変更認可 平成30年1月31日認可)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | |
|-----------|---------------------|-------------------|------------|------------|------|------|---------------------|-------------------|------------|------------|----|--|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | |
| 原子炉補機冷却設備 | 海水ポンプ A、B、C、D | | (注1) | (注1) | | 変更なし | | | | | | |
| | ～ Aa、Ab | (注2) | (注2) | 914.4 | 12.7 | | | | | | | |
| | 海水ストレーナ | 0.7 | 40 | / | / | | | | | | | |
| | 入口配管合流点 及び | | | / | / | | | | | | | |
| | 中間建屋入口 (B系) | | | 914.4 | 12.7 | | | | | | | |

22

別添1-4 (令和2年 8月25日)

(工事計画軽微変更届出 平成 30 年 5 月 24 日届出)

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|--|---------------------|-------------------|------------|------------|-------|-----------|---------------------|-------------------|------------|------------|----|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 原子炉補機冷却設備 中間建屋入口 A、B系 ～ 海水供給母管 分岐点 及び 1次系 冷却水クーラ A、C入口ライン レジャーサ (30×24) | 0.7 | 40 | (注3,84) | (注3,84) | (注84) | 原子炉補機冷却設備 | 変更なし | | | | |
| | | | 762 | 12 | SS400 | | | | | | |
| | (注3) | (注3) | | | | | | | | | |
| | 762.0 | 12.7 | SM400B | | | | | | | | |
| | (注3,6,84) | (注3,6,84) | (注6,84) | | | | | | | | |
| | 762.0 | 12.7 | SS400 | | | | | | | | |
| | (注3,84) | (注3,84) | (注84) | | | | | | | | |
| 762.0 | 12.7 | SS400 | | | | | | | | | |
| (注4) | (注4) | | | | | | | | | | |
| 609.6 | 12.7 | | | | | | | | | | |
| (注3,84) | (注3,84) | | | | | | | | | | |
| 762.0 | 12.7 | | | | | | | | | | |
| (注3,84) | (注3,84) | (注84) | | | | | | | | | |
| 762.0 | 12.7 | SS400 | | | | | | | | | |
| (注3,84) | (注3,84) | | | | | | | | | | |
| 762.0 | 12.7 | | | | | | | | | | |

次ページに続く

別添1-5 (令和2年 8月25日)

(工事の計画の認可 平成28年6月10日認可)

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラA、B、C～ティ (20×20×16)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) 重大事故等時における使用時の値

(注5) 本設備は既存の設備である。

(注6) エルボを示す。

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ出口連絡管」と記載

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッドA、B：ティ (20×20×16) ～レジューサ (20×14)」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (20×14) ～内部スプレクーラ」と記載

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッドC：ティ (16×16×16) ～レジューサ (16×12)」と記載

(注11) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

(注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッドC：レジューサ (16×12) ～ティ (20×20×16)」と記載

(注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッドA、B：内部スプレクーラ～レジューサ (20×14)」と記載

(注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッドA、B：レジューサ (20×14) ～ティ (20×20×16)」と記載

(注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ入口連絡管」と記載

(注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ティ (20×20×16) ～1次系冷却水ポンプA、B、C、D」と記載

(注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口レジューサ (16×12) ～ティ (20×20×16)」と記載

(注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口連絡管」と記載

(注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプA、D出口ティ (20×20×16) ～1次系冷却水クーラA、C入口ティ (20×20×16)」と記載

(注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ入口連絡管」と記載

(注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ティ (20×20×16) 及びレジューサ (20×16) ～1次系冷却水クーラA、C及びB」と記載

(注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～余熱除去クーラ (RH-2) A、B」と記載

(注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去クーラ (RH-2) A、B～戻母管合流点」と記載

(注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～冷却材ポンプA、B、Cへの分岐点」と記載

(注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却材ポンプB、Cからの合流点～弁 (2-FCV-1241)」と記載

(注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却材ポンプA、Bからの合流点～戻管 (8B) 合流点」と記載

(注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却水ポンプ入口分岐点～弁 (2-5105A、B)」と記載

(注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-5105A、B) ～1次系冷却水タンク」と記載

(注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管A、B分岐点～燃料ピットクーラ」と記載

(注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料ピットクーラ～1次系機器冷却水戻母管A、B合流点」と記載

25

- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余剰抽出水クーラ」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余剰抽出水クーラ～1次系機器冷却水戻母管 (10B) 合流点」と記載
- (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管～レジューサ (3×2)」と記載
- (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～計器用コンプレッサーパッケージIA-1A、IA-1B入口レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注35) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用コンプレッサーパッケージIA-1A、IA-1B出口レジューサ (2×1 1/2) ～レジューサ (3×2)」と記載
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～1次系機器冷却水戻母管」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ室空調装置入口レジューサ (3×2)」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ (4×2)」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよびスプレポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ冷却ライン分岐点～余熱除去ポンプ入口レジューサ (1 1/2×1/2)」と記載
- (注43) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～内部スプレポンプ入口分岐点」と記載
- (注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ入口分岐点～レジューサ (1×1/2)」と記載
- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (1×1/2) ～内部スプレポンプ出口合流点」と記載
- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口合流点～レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ出入口管」と記載
- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ出口レジューサ (1 1/2×1/2) ～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ冷却もどりライン合流点」と記載
- (注50) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～レジューサ (3×2)」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ (12×10)」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×10) ～レジューサ (10×6)」と記載
- (注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～レジューサ (6×4)」と記載
- (注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (6×4) 及び分岐点～レジューサ (4×2)」と記載
- (注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) および分岐点～格納容器循環空調装置」と記載
- (注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) ～レジューサ (6×4) 及び合流点」と記載
- (注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (6×4) ～VS-39Bからの合流点 (VS-39A)」と記載
- (注59) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (10×6) ～レジューサ (12×10)」と記載
- (注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×10) ～レジューサ (12×8)」と記載

- (注61) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×8) ～レジューサ (12×8)」と記載
- (注62) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×8) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～充てん/高圧注入ポンプ分岐点」と記載
- (注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ入口分岐点～レジューサ (2×1 1/2) および (2 1/2×2)」と記載
- (注65) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～充てん/高圧注入ポンプ～レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注66) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2 1/2×2) 充てん/高圧注入ポンプ～レジューサ (2 1/2×2)」と記載
- (注67) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) およびレジューサ (2 1/2×2) ～充てん/高圧注入ポンプ出口合流点」と記載
- (注68) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口合流点～充てんポンプ室空調装置冷却戻ライン合流点」と記載
- (注69) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水ポンプから中間建屋入口まで」と記載
- (注70) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SS41」と記載
- (注71) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「中間建屋入口～海水母管分岐点及びレジューサ (30×24)」と記載
- (注72) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点及びレジューサ (30×24) ～1次系冷却水クーラ」と記載
- (注73) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ～戻母管」と記載
- (注74) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「中間建屋出口までの戻母管 (埋設部除く)」と記載
- (注75) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「戻母管分岐点～ラプチャディスク」と記載
- (注76) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点～連絡管レジューサ (10×8)」と記載
- (注77) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「連絡管分岐点～ディーゼル発電機」と記載
- (注78) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電機～レジューサ (12×8) 及び合流点」と記載
- (注79) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×8) ～海水戻母管」と記載
- (注80) STPT38同等材 (STPT370) への取替えを行う。
- (注81) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。
- (注82) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載
- (注83) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

以下の設備のうち貫通配管は、既存の原子炉格納施設のうち原子炉格納容器 (原子炉格納容器配管貫通部) であり、原子炉補機冷却設備として本工事計画で兼用とする。

・常設

格納容器貫通部 (貫通部番号256)

格納容器貫通部 (貫通部番号257)

(工事の計画の変更認可 平成30年1月31日認可)

(注1) 公称値

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) エルボを示す。

(工事計画軽微変更届出 平成 30 年 5 月 24 日届出)

(注43) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ～内部スプレポンプ入口分岐点」と記載

(注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ入口分岐点～レジャーサ (1×1/2)」と記載

(注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (1×1/2) ～内部スプレポンプ出口合流点」と記載

(注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口合流点～レジャーサ (2×1 1/2)」と記載

(注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ出入口管」と記載

(注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ出口レジャーサ (1 1/2×1/2) ～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ冷却もどりライン合流点」と記載

(注50) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

(注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ～レジャーサ (3×2)」と記載

(注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジャーサ (12×10)」と記載

(注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×10) ～レジャーサ (10×6)」と記載

(注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～レジャーサ (6×4)」と記載

(注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (6×4) 及び分岐点～レジャーサ (4×2)」と記載

(注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×2) および分岐点～格納容器循環空調装置」と記載

(注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×2) ～レジャーサ (6×4) 及び合流点」と記載

(注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (6×4) ～VS-39Bからの合流点 (VS-39A)」と記載

(注59) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (10×6) ～レジャーサ (12×10)」と記載

(注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×10) ～レジャーサ (12×8)」と記載

(注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～充てん/高圧注入ポンプ分岐点」と記載

(注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ入口分岐点～レジャーサ (2×1 1/2) および (2 1/2×2)」と記載

(注65) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ～充てん/高圧注入ポンプ～レジャーサ (2×1 1/2)」と記載

(注66) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2 1/2×2) 充てん/高圧注入ポンプ～レジャーサ (2 1/2×2)」と記載

(注67) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) およびレジャーサ (2 1/2×2) ～充てん/高圧注入ポンプ出口合流点」と記載

(注68) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口合流点～充てんポンプ室空調装置冷却戻ライン合流点」と記載

(注69) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水ポンプから中間建屋入口まで」と記載

(注70) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SS41」と記載

(注77) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「連絡管分岐点～ディーゼル発電機」と記載

(注78) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電機～レジャーサ (12×8) 及び合流点」と記載

(注79) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×8) ～海水戻母管」と記載

(注80) STPT38同等材 (STPT370) への取替えを行う。

(注81) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。

(注82) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載

(注83) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

(注84) SS41同等材 (SS400) への取替えを行う。

(注85) 注記について記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書に記載の「重大事故等時における使用時の値」を削除

(注86) 記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書には変更後に記載

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-09

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力  検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|---------------|------|---|--|------|
| 令和2年 9月15日 | 良 | 増本 豊  | ボイラー - タービン 主任技術者  | なし |

50

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 9月 15日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 9月15日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|--------------|------|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | ◎良・— | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ ◎記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 9月 15日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象 | | | |
|---|--|---|--|
| 原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管 (常設) 別添1参照の太線枠内の範囲 | | | |
| 検査項目 | 判定基準 | 検査結果 | 検査方法 |
| 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査 漏えい検査 | 設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">良</div> | 目視 記録確認 |
| 備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1905 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 | | | |

工事計画本文 (原規規発第1606105号 (平成28年6月10日認可))

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

(8) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|-----------|--|--------------------|------------|---------------|-------------|-----------|----------------------|---------------------|-------------------|-----------------|----------------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材 料 | 名 称 | 最高使用 圧 力 (MPa) | 最高使用 温 度 (°C) | 外 径 (mm) | 厚 さ (mm) | 材 料 |
| 原子炉補機冷却設備 | (注1) 1次系冷却水 クーラ A、B、C ～ 供給母管 1次系 冷却水クーラ A、B、C 分岐点 | (注2) 0.98 | 95 | (注3) 406.4 | (注3) 9.5 | SS41 | 変更なし | | | | 変更なし |
| | | | | | | 原子炉補機冷却設備 | | | (注3) 406.4 | (注3) 9.5 | SM400B |
| | | | | | | 変更なし | (注4) 0.98 | (注4) 95 | (注3,5,6) 406.4 | (注3,5,6) 9.5 | (注5,6) SS41 |
| | | (注2) 0.98 | 95 | (注3) 406.4 | (注3) 9.5 | SS41 | 変更なし | 変更なし | | | 変更なし |
| | | | | | | | 1.2 | | (注3) 406.4 | (注3) 9.5 | SM400B |

75

工事計画本文 (原規規発第1606105号 (平成28年6月10日認可))

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|--|---------------------|--------------------|------------|------------|----|-------------------|---------------------|--------------------|---|-------------------------------------|--------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| (注1) 1次系冷却水 クーラ A、B、C ～ 供給母管 1次系 冷却水クーラ A、B、C 分岐点 | | | | | | 原子炉補機冷却設備 変更なし | (注4) 1.2 | (注4) 95 | (注3) 406.4 / 406.4 / 216.3 | (注3) 9.5 / 9.5 / 8.2 | SM400B |

55

工事計画本文 (原規規発第1606105号 (平成28年6月10日認可))

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|--|---------------------|--------------------|------------|------------|------|------|---------------------|--------------------|------------|------------|--------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| (注72) 海水供給母管 分岐点 及び 1次系 冷却水クーラ A、C入口ライン レジューサ (30×24) ~ 1次系冷却水 クーラ A、B、C | (注2) | 40 | (注3) | (注3) | SS41 | | | | 変更なし | | |
| | 0.7 | | 609.6 | 12 | | | | | (注3) | (注3) | SM400B |
| | | | | | | | (注4) | (注4) | (注3,5,6) | (注3,5,6) | (注5,6) |
| | | | | | | | 0.7 | 40 | 609.6 | 12.7 | SS41 |
| | | | | | | | | | | | |
| 原子炉補機冷却設備 | | | | | | 変更なし | 変更なし | | 変更なし | | |
| | (注2) | 40 | (注3) | (注3) | SS41 | | | | | | |
| | 0.7 | | 609.6 | 12 | | | | | (注3) | (注3) | SM400B |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | (注4) | (注4) | (注3,5,6) | (注3,5,6) | (注5,6) |
| | | | | | | | 1.2 | | 609.6 | 12.0 | SM400B |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | (注4) | (注4) | (注3,5,6) | (注3,5,6) | (注5,6) |
| | | | | | | | 1.2 | 40 | 609.6 | 12.7 | SS41 |

55

工事計画本文 (原規規発第1606105号 (平成28年6月10日認可))

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|---|---------------------|--------------------|---------------|--------------|------|----------------------|---------------------|--------------------|---------------|--------------|---------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| (注7.4) 海水戻り母管 分岐点A ~ 海水戻り母管 合流点 | | | | | | 原子炉補 冷却設備 変更なし | (注8) | (注8) | (注3) 914.4 | (注3) 12.7 | SM400B |
| | | | - | | | | 0.7 | 40 | - | - | |
| (注7.4) 海水戻り母管 合流点 ~ 中間建屋出口 (埋設部除く) | (注2) 0.7 | 40 | (注3) 914.4 | (注3) 12.7 | SS41 | | | | | | - (注11) |

57

工事計画本文 (原規規発第1606105号 (平成28年6月10日認可))

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | |
|-----|---------------------|-------------------|------------|------------|----|-----------|---------------------|-------------------|------------|------------|---------|---------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | |
| | | | | | | 原子炉補機冷却設備 | 1.2 | 40 | (注3) | (注3,50) | STPT370 | |
| | | | | | | | | | (注4) | (注3) | | (注3) |
| | | | | | | | | | (注4) | | | STPT370 |
| | | | | | | | | | (注4) | (注3) | (注3,50) | |

58

工事計画本文 (原規規発第1606105号 (平成28年6月10日認可))

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | |
|-----|---------------------|--------------------|------------|------------|----|-----------|--|----------------------------|---------------------------|-----------------------------|-------------------------------|---------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | |
| | | | | | | 原子炉補給冷却設備 | B余熱除去ポンプ 出口配管分岐点 ～ B余熱除去ポンプ 海水排水用ホース 上流側取合点 | 1.2 <small>(注4)</small> | 95 <small>(注4)</small> | 48.6 <small>(注3)</small> | 3.7 <small>(注3,50)</small> | STPT370 |
| | | | | | | | B余熱除去ポンプ 海水排水用ホース 下流側取合点 ～ 海水戻り母管 合流点 | 0.7 <small>(注4)</small> | 40 <small>(注4)</small> | 48.6 <small>(注3)</small> | 3.7 <small>(注3)</small> | STPT370 |

59

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラA、B、C～ティ（20×20×16）」と記載
- (注2) SI単位に換算したものである。
- (注3) 公称値
- (注4) 重大事故等時における使用時の値
- (注5) 本設備は既存の設備である。
- (注6) エルボを示す。
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ出口連絡管」と記載
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダA、B：ティ（20×20×16）～レジューサ（20×14）」と記載
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ（20×14）～内部スプレクーラ」と記載
- (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダC：ティ（16×16×16）～レジューサ（16×12）」と記載
- (注11) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダC：レジューサ（16×12）～ティ（20×20×16）」と記載
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダA、B：内部スプレクーラ～レジューサ（20×14）」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダA、B：レジューサ（20×14）～ティ（20×20×16）」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ入口連絡管」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ティ（20×20×16）～1次系冷却水ポンプA、B、C、D」と記載
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口レジューサ（16×12）～ティ（20×20×16）」と記載
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口連絡管」と記載
- (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプA、D出口ティ（20×20×16）～1次系冷却水クーラA、C入口ティ（20×20×16）」と記載
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ入口連絡管」と記載
- (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ティ（20×20×16）及びレジューサ（20×16）～1次系冷却水クーラA、C及びB」と記載
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～余熱除去クーラ（RH-2）A、B」と記載
- (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去クーラ（RH-2）A、B～戻母管合流点」と記載
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～冷却材ポンプA、B、Cへの分岐点」と記載
- (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却材ポンプB、Cからの合流点～弁（2-FCV-1241）」と記載
- (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却材ポンプA、Bからの合流点～戻管（8B）合流点」と記載
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却水ポンプ入口分岐点～弁（2-5105A、B）」と記載
- (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-5105A、B）～1次系冷却水タンク」と記載
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管A、B分岐点～燃料ピットクーラ」と記載

- (注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料ピットクーラ～1次系機器冷却水戻母管A、B合流点」と記載
- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余剰抽出水クーラ」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余剰抽出水クーラ～1次系機器冷却水戻母管 (10B) 合流点」と記載
- (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管～レジューサ (3×2)」と記載
- (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～計器用コンプレッサーパッケージIA-1A、IA-1B入口レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注35) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用コンプレッサーパッケージIA-1A、IA-1B出口レジューサ (2×1 1/2) ～レジューサ (3×2)」と記載
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～1次系機器冷却水戻母管」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ室空調装置入口レジューサ (3×2)」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ (4×2)」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよびスプレポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ冷却ライン分岐点～余熱除去ポンプ入口レジューサ (1 1/2×1/2)」と記載
- (注43) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～内部スプレポンプ入口分岐点」と記載
- (注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ入口分岐点～レジューサ (1×1/2)」と記載
- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (1×1/2) ～内部スプレポンプ出口合流点」と記載
- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口合流点～レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ出入口管」と記載
- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ出口レジューサ (1 1/2×1/2) ～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ冷却もどりライン合流点」と記載
- (注50) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～レジューサ (3×2)」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ (12×10)」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×10) ～レジューサ (10×6)」と記載
- (注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～レジューサ (6×4)」と記載
- (注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (6×4) 及び分岐点～レジューサ (4×2)」と記載
- (注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) および分岐点～格納容器循環空調装置」と記載
- (注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) ～レジューサ (6×4) 及び合流点」と記載
- (注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (6×4) ～VS-39Bからの合流点 (VS-39A)」と記載
- (注59) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (10×6) ～レジューサ (12×10)」と記載

- (注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×10) ～レジャーサ (12×8)」と記載
- (注61) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×8) ～レジャーサ (12×8)」と記載
- (注62) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×8) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～充てん/高圧注入ポンプ分岐点」と記載
- (注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ入口分岐点～レジャーサ (2×1 1/2) および (2 1/2×2)」と記載
- (注65) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ～充てん/高圧注入ポンプ～レジャーサ (2×1 1/2)」と記載
- (注66) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2 1/2×2) 充てん/高圧注入ポンプ～レジャーサ (2 1/2×2)」と記載
- (注67) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) およびレジャーサ (2 1/2×2) ～充てん/高圧注入ポンプ出口合流点」と記載
- (注68) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口合流点～充てんポンプ室空調装置冷却戻ライン合流点」と記載
- (注69) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水ポンプから中間建屋入口まで」と記載
- (注70) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SS41」と記載
- (注71) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「中間建屋入口～海水母管分岐点及びレジャーサ (30×24)」と記載
- (注72) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点及びレジャーサ (30×24) ～1次系冷却水クーラ」と記載
- (注73) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ～戻母管」と記載
- (注74) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「中間建屋出口までの戻母管 (埋設部除く)」と記載
- (注75) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「戻母管分岐点～ラプチャディスク」と記載
- (注76) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点～連絡管レジャーサ (10×8)」と記載
- (注77) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「連絡管分岐点～ディーゼル発電機」と記載
- (注78) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電機～レジャーサ (12×8) 及び合流点」と記載
- (注79) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×8) ～海水戻母管」と記載
- (注80) STPT38同等材 (STPT370) への取替えを行う。
- (注81) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。
- (注82) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載
- (注83) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

以下の設備のうち貫通配管は、既存の原子炉格納施設のうち原子炉格納容器 (原子炉格納容器配管貫通部) であり、原子炉補機冷却設備として本工事計画で兼用とする。

・常設

格納容器貫通部 (貫通部番号256)

格納容器貫通部 (貫通部番号257)

工事計画本文 (関原発 第123号 (平成30年5月24日届出))

63

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|-----------|---|--------------------|------------|------------|---------|--------|---------------------|--------------------|------------|------------|-------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 原子炉補機冷却設備 | 海水供給母管 分岐点 及び 1次系 冷却水クーラ A、C入口ライン レジューサ (30×24) ～ 1次系冷却水 クーラ A、B、C | 0.7 | 40 | (注3,84) | (注3,84) | (注184) | 原子炉補機冷却設備 | 変更なし | 609.6 | 12 | SS400 |
| | | | | (注3) | (注3) | | | | | | |
| | (注1) | (注1) | (注3,6,84) | (注3,6,84) | (注5,84) | | | | | | |
| | 0.7 | 40 | 609.6 | 12.7 | SS400 | | | | | | |
| | (注1) | 40 | (注3,84) | (注3,84) | (注184) | | | | | | |
| | 0.7 | 40 | 609.6 | 12 | SS400 | | | | | | |
| (注1) | | (注3) | (注3) | | | | | | | | |
| 1.2 | | 609.6 | 12.0 | SM400B | | | | | | | |
| (注1) | (注1) | (注3,6,84) | (注3,6,84) | (注6,84) | | | | | | | |
| 1.2 | 40 | 609.6 | 12.7 | SS400 | | | | | | | |

工事計画本文 (関原発 第123号 (平成30年5月24日届出))

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|---|---------------------|--------------------|--------------------------|------------------------|--------|-----------|---------------------|--------------------|------------|------------|------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 原子炉補機冷却設備 海水戻り母管 分岐点A ～ 海水戻り母管 合流点 | 0.7 | 40 | 914.4 / / 609.6 | 12.7 / / 12.7 | SM400B | 原子炉補機冷却設備 | | | | | 変更なし |

79

工事計画本文（関原発 第123号（平成30年5月24日届出））

- (注43) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ～内部スプレポンプ入口分岐点」と記載
- (注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ入口分岐点～レジャーサ (1×1/2)」と記載
- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (1×1/2) ～内部スプレポンプ出口合流点」と記載
- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口合流点～レジャーサ (2×1 1/2)」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ出入口管」と記載
- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ出口レジャーサ (1 1/2×1/2) ～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ冷却もどりライン合流点」と記載
- (注50) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ～レジャーサ (3×2)」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジャーサ (12×10)」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×10) ～レジャーサ (10×6)」と記載
- (注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～レジャーサ (6×4)」と記載
- (注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (6×4) 及び分岐点～レジャーサ (4×2)」と記載
- (注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×2) および分岐点～格納容器循環空調装置」と記載
- (注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×2) ～レジャーサ (6×4) 及び合流点」と記載
- (注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (6×4) ～VS-39Bからの合流点 (VS-39A)」と記載
- (注59) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (10×6) ～レジャーサ (12×10)」と記載
- (注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×10) ～レジャーサ (12×8)」と記載
- (注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～充てん/高圧注入ポンプ分岐点」と記載
- (注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ入口分岐点～レジャーサ (2×1 1/2) および (2 1/2×2)」と記載
- (注65) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) ～充てん/高圧注入ポンプ～レジャーサ (2×1 1/2)」と記載
- (注66) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2 1/2×2) 充てん/高圧注入ポンプ～レジャーサ (2 1/2×2)」と記載
- (注67) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (2×1 1/2) およびレジャーサ (2 1/2×2) ～充てん/高圧注入ポンプ出口合流点」と記載
- (注68) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口合流点～充てんポンプ室空調装置冷却戻りライン合流点」と記載
- (注69) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水ポンプから中間建屋入口まで」と記載
- (注70) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SS41」と記載
- (注77) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「連絡管分岐点～ディーゼル発電機」と記載
- (注78) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電機～レジャーサ (12×8) 及び合流点」と記載

(注79) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (12×8) ～海水戻母管」と記載

(注80) STPT38同等材 (STPT370) への取替えを行う。

(注81) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。

(注82) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載

(注83) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

(注84) SS41同等材 (SS400) への取替えを行う。

(注85) 注記について記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書に記載の「重大事故等時における使用時の値」を削除

(注86) 記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書には変更後に記載

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 99
成績書管理番号 : 2-10

令和3年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-10

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年10月18日
至 令和3年10月18日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| | |
|--------------------|--|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第23号(2020年4月7日) 関原発第23号(2021年4月30日) 関原発第293号(2021年8月2日) |
|--------------------|--|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-10

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力施設検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|----------------|------|--------------|---|------|
| 令和3年 10月18日 | 良 | 宇野正登 大江勇人 | ボイラー・タービン主任技術者  | なし |

w

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：2-10

検査年月日：令和3年10月18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-10

検査年月日：令和3年 10月 18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|------------|------|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | ◎良・一 | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会 記録確認 | ◎良・一 | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-10

検査年月日：令和3年10月18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象 | | | |
|--|--|------|------------|
| 計測制御系統施設 制御方式及び制御方法 発電用原子炉の制御方法 制御棒の位置の制御方法、一次冷却材のほう素濃度の制御方法、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方法及び安全保護系等の制御方法 別添1参照 | | | |
| 検査項目 | 判定基準 | 検査結果 | 検査方法 |
| 組立て及び据付け状態を確認する検査 | 設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 | 目視 記録確認 |
| 備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0701、T2-1-1801 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 | | | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：2-10

検査年月日：令和3年10月18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象設備名 | 項目 | 測定値等 | 検査結果 | 検査方法 |
|---------|-------------------|------|------|------|
| 別添2参照 | 組立て及び据付け状態を確認する検査 | - | 良 | 目視 |
| -以下余白- | | - | | |
| | | - | | |
| 備考 | | | | |

工事計画本文(原規規発第1606105号(平成28年6月10日認可))

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの(発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。)にあっては、次の事項

1 制御方式及び制御方法

(1) 発電用原子炉の制御方式

発電用原子炉の反応度の制御方式、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方式及び安全保護系等の制御方式

| 変更前 | | 変更後 | |
|------------------|--|-------------|--|
| 8 発電用原子炉の制御方式 | <p>発電用原子炉の制御は以下の方式で行う。</p> <p>a 発電用原子炉の反応度の制御方式^(注1)</p> <p>(a) 制御棒の位置調整</p> <p>(b) 1次冷却材のほう素濃度調整</p> <p>b 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方式^(注2)</p> <p>(a) 加圧器の圧力の制御方式</p> <p>イ 加圧器スプレィでの冷却による減圧調整</p> <p>ロ 加圧器逃がし弁による減圧調整</p> <p>ハ 加圧器ヒータでの加熱による加圧調整</p> <p>(b) 加圧器の水位の制御方式</p> <p>イ 充てん流量による水位調整</p> <p>c 安全保護系の制御方式^(注3)</p> <p>(a) 原子炉非常停止信号による原子炉非常停止機能</p> <p>(b) 工学的安全施設作動信号による工学的安全施設の起動機能</p> | 発電用原子炉の制御方式 | <p>発電用原子炉の制御は以下の方式で行う。</p> <p>a 発電用原子炉の反応度の制御方式</p> <p>(変更なし)</p> <p>b 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方式</p> <p>(変更なし)</p> <p>c 安全保護系の制御方式</p> <p>(変更なし)</p> <p>d 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方式</p> <p>(a) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能</p> <p>(b) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整</p> |

(注1) 既工事計画書の記載を整理し、記載の適正化を行う。

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年2月20日付け49資庁第271号にて認可された工事計画の添付資料3「制御能力計算書」による。

(注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「原子炉保護装置」及び「安全注入信号」による。

(2) 発電用原子炉の制御方法

制御棒の位置の制御方法、一次冷却材のほう素濃度の制御方法、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方法及び安全保護系等の制御方法

(1/4)

| | 変更前 | 変更後 |
|----------------------|---|-----|
| <p>6 発電用原子炉の制御方法</p> | <p>発電用原子炉の制御は以下の方法で行う。</p> <p>a 制御棒の位置の制御方法(1次冷却材の温度の制御を含む。)^(注1)</p> <p>制御棒は制御グループと停止グループとに分け、制御グループ制御棒クラスは1次冷却材平均温度とタービン負荷に比例するプログラム平均温度との差(主信号)及び中性子束信号とタービン負荷信号との差(補助信号)を許容値内に保つことにより、プラントの出力変化に追従するように自動制御される。</p> <p>また手動制御も可能である。停止グループ制御棒クラスは、制御グループ制御棒クラスとともに、炉心に挿入することにより原子炉を出力状態から速やかに高温停止させる。</p> <p>b 1次冷却材のほう素濃度の制御方法^(注1)</p> <p>化学体積制御設備は、1次冷却材のほう素濃度調整により、高温零出力状態から室温状態までの1次冷却材温度の変化、キセノン、サマリウム等の核分裂生成物量の変化及び燃料の燃焼に伴う比較的ゆるやかな反応度変化の補償を行う。1次冷却材のほう素濃度調整は、フィードアンドブリード方式の4つの制御モード(「自動補給」、「希釈」、「急速希釈」及び「濃縮」)のいずれかによって行う。</p> <p>c 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方法</p> <p>(a) 加圧器の圧力の制御方法^(注2)</p> <p>加圧器の圧力を制御することにより1次冷却材の圧力を一定に保つ。</p> <p>このため、加圧器には加圧器スプレイ弁、加圧器逃がし弁及び加圧器ヒータを設置し、原子炉運転中では加圧器の圧力変動に応じて、加圧器スプレイでの冷却による減圧調整又は加圧器ヒータでの加熱による加圧調整の組合せにより加圧器の圧力の制御を行う。</p> <p>なお、加圧器スプレイの能力を超えるような圧力上昇があった場合には、加圧器逃がし弁の作動により圧力上昇を阻止する。</p> <p>(b) 加圧器の水位の制御方法^(注2)</p> <p>加圧器水位プログラムに基づき1次冷却材平均温度に比例した加圧器基準水位を設定し、出力変化に伴う実際の1次冷却材の体積変化が基準水位に一致するように制御する。この加圧器基準水位と加圧器水位との偏差信号に従い、化学体積制御設備の充てん流量を自動調整して加圧器の水位の制御を行う。</p> | |

(変更なし)

(変更なし)

(変更なし)

変更前

変更後

d 安全保護系の制御方法 (注3)

d 安全保護系の制御方法

(a) 原子炉非常停止信号による原子炉非常停止機能 (注4)

(a) 原子炉非常停止信号による原子炉非常停止機能

原子炉非常停止信号の作動回路は、“2 out of 3”方式等の論理回路及び原子炉トリップしゃ断器で構成され、原子炉非常停止を行う。

原子炉非常停止信号の作動回路は、“2 out of 3”方式等の論理回路及び原子炉トリップしゃ断器で構成され、原子炉非常停止を行う。

原子炉非常停止信号の論理回路は、マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置を適用し、検証及びハードウェアと統合されたシステムに対する妥当性確認を行ったソフトウェアを使用する。

発電用原子炉の制御方法

発電用原子炉の制御方法

| 原子炉非常停止信号の作動回路 | | |
|----------------|--|-----------------------|
| 種類 | マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置 | |
| 演算処理方式 | シングルタスク方式 | |
| デジタル制御装置の個数 | 論理回路：4 | |
| 自己診断 | マイクロプロセッサの停止、通信の遮断等を検知し、警報を発信するとともに、保護機能喪失の場合は当該チャンネルをトリップ状態とする | |
| 環境条件 | 温度 | 0～50℃ |
| | 湿度 | 10～95%RH |
| | 放射線量 | 放射線の影響のないこと(非管理区域に設置) |
| 応答時間 | 0.2秒以下 プロセス信号がデジタル制御装置に入力されてから、原子炉非常停止信号が原子炉トリップしゃ断器へ出力されるまで。ただし、デジタル制御装置の入力が接点信号である原子炉非常停止信号は、0.16秒以下。 | |
| データ通信 | 計測制御系と電氣的及び機能的に分離 | |
| 外部ネットワークとの遮断 | 外部ネットワークへの直接接続なし | |

10

検査対象範囲

変更前

(b) 工学的安全施設作動信号による工学的安全施設の起動機能^(註1,5)
 工学的安全施設作動信号の作動回路は多重構成で”2 out of 3”方式等の論理回路及び作動装置で構成され、工学的安全施設の起動を行う。

発電用原子炉の制御方法

変更後

(b) 工学的安全施設作動信号による工学的安全施設の起動機能
 工学的安全施設作動信号の作動回路は多重構成で”2 out of 3”方式等の論理回路及び2系列の作動装置で構成され、工学的安全施設の起動を行う。
 工学的安全施設作動信号の作動回路は、マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置を適用し、検証及びハードウェアを統合されたシステムに対する妥当性確認を行ったソフトウェアを使用する。

発電用原子炉の制御方法

| 工学的安全施設作動信号の作動回路 | | |
|------------------|---|-----------------------|
| 種類 | マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置 | |
| 演算処理方式 | シングルタスク方式 | |
| デジタル制御装置の個数 | 論理回路：4 作動装置：2 | |
| 自己診断 | マイクロプロセッサの停止、通信の遮断等を検知し、警報を発信するとともに、異常な信号を出力しないようにする | |
| 環境条件 | 温度 | 0～50℃ |
| | 湿度 | 10～95%RH |
| | 放射線量 | 放射線の影響のないこと(非管理区域に設置) |
| 応答時間 | 1.0秒以下 〔プロセス信号がデジタル制御装置に入力されてから、工学的安全施設作動信号が出力されるまで〕 | |
| データ通信 | 計測制御系と電氣的及び機能的に分離 | |
| 外部ネットワークとの遮断 | 外部ネットワークへの直接接続なし | |

: 検査対象範囲

| 変更前 | | 変更後 | |
|-------------|--|-------------|---|
| 発電用原子炉の制御方法 | | 発電用原子炉の制御方法 | <p>e 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方法</p> <p>(a) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能</p> <p>原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号の作動回路は、“2 out of 3”方式の論理回路及び作動装置で構成され、原子炉出力抑制を行う。</p> <p>原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための設備の作動信号の検出部及び論理回路部は、検出部又は論理回路部の駆動源の喪失が生じた場合において、原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための設備の作動信号を作動させず原子炉施設の安全上支障がない状態を維持する設計(フェイル・アズ・イズ)とし、駆動源が喪失したことを運転員が確実に認知できるように中央制御室に警報を表示する。</p> <p>(b) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整</p> <p>原子炉トリップ失敗時の1次冷却材のほう素濃度調整として、炉心に十分な量のほう酸水を注入する。</p> |

(注1) 既工事計画書の記載を整理し、記載の適正化を行う。

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年2月20日付け49資庁第271号にて認可された工事計画の添付資料3「制御能力計算書」による。

(注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉保護装置」と記載。

(注4) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「原子炉保護装置」による。

(注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「安全注入信号」による。

12

| 検査対象 | | | | 検査項目 | 確認内容 |
|--------------------|----|-------|------|-------------------|--|
| 盤名称 | 面数 | チャンネル | 分散 | | |
| 2号機 原子炉保護系計器ラックⅠ-1 | 8 | Ⅰ | P1C1 | 組立て及び据付け状態を確認する検査 | <ul style="list-style-type: none"> ・組立て及び据付け状態を確認する検査 ・自己診断* ・データ通信 ・外部ネットワークと遮断 |
| 2号機 原子炉保護系計器ラックⅠ-2 | | | P1C2 | | |
| 2号機 原子炉保護系計器ラックⅡ-1 | | Ⅱ | P2C1 | | |
| 2号機 原子炉保護系計器ラックⅡ-2 | | | P2C2 | | |
| 2号機 原子炉保護系計器ラックⅢ-1 | | Ⅲ | P3C1 | | |
| 2号機 原子炉保護系計器ラックⅢ-2 | | | P3C2 | | |
| 2号機 原子炉保護系計器ラックⅣ-1 | | Ⅳ | P4C1 | | |
| 2号機 原子炉保護系計器ラックⅣ-2 | | | P2C2 | | |

*:CPU型式を目視にて確認し、RAS試験記録については記録確認を実施。

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：2-11

令和5年3月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-11

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年3月4日
至 令和5年3月9日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日), 関原発第435号(平成30年3月20日), 関原発第 47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月 4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月 1日) 関原発第513号(平成31年2月 6日) 関原発第 4号(平成31年4月 4日) 関原発第 69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第 23号(2020年4月 7日) 関原発第 23号(2021年4月30日) 関原発第293号(2021年8月2日) 関原発第562号(2022年2月28日) 関原発第585号(2022年3月15日) 関原発第137号(2022年6月10日) |
|--------------------|--|
| | 関原発第209号(2022年7月1日) 関原発第580号(2022年12月27日) |

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-11

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|--------------------|------|--------|--|------|
| 令和 3 年 3 月 14 日 | 良 | 増本 豊 | ボイラー-7-ゼン 主任技術者  | なし |

関西電力株式会社高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：2-11

検査年月日：令和 3 年 3 月 1 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：2-11

検査年月日：令和3年 3月 7日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|------------|-----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 良・— | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 良・— | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 良・— | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会 記録確認 | 良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-11

検査年月日：令和3年3月14日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象 | | | |
|---|--|------|------------|
| 計測制御系統施設 制御用空気設備 主配管 別添1参照 | | | |
| 検査項目 | 判定基準 | 検査結果 | 検査方法 |
| 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査 漏えい検査 | 設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 | 目視 記録確認 |
| 備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0208 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 | | | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：2-11

検査年月日：令和3年3月4日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象設備名 | 項目 | 測定値等 | 検査結果 | 検査方法 |
|--|-------------------------------|-------|------|------------------|
| 計測制御系統施設 制御用空気設備 主配管 | 外観検査 組立て及び据付け状態を確認 する検査 | — | 良 | 目視 ^{*1} |
| 計測制御系統施設 制御用空気設備 主配管 | 耐圧検査 漏えい検査 | 別添3参照 | 良 | |
| | | | | |
| 備考 ※1：別添1（6/10、7/10）の太線（青線）枠内の範囲 （検査範囲の詳細については、別添2参照） | | | | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：2-11

検査年月日：令和3年3月14日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|---------------|-------|------|------|------|----------------------------|-----|
| 耐圧検査 漏えい検査 | 圧力計 | | | | 2021. 1. 26 2021. 4. 30 | (正) |
| 耐圧検査 漏えい検査 | 圧力計 | | | | 2021. 1. 26 2021. 4. 30 | (副) |
| -以下余白- | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

設 備 概 要

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

計測制御系統施設

9 制御用空気設備に係る次の事項

（5）主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | |
|--|-------|------|------|------|---------|-----------------|-------|------|------------|------|------|---------|
| 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 | 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 | |
| | 圧力 | 温度 | | | | | 圧力 | 温度 | | | | |
| | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | | | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | | |
| (注1) 制御用空気設備 格納容器貫通部 PEN#332、378 上流配管合流点 ~ 弁(2MOV-6202、 6203) | (注2) | | (注3) | (注3) | (注4) | 制御用空気設備 変更なし | 変更なし | 変更なし | | | | |
| | 0.83 | 50 | 60.3 | 3.9 | STPG410 | | (注5) | 0.98 | 変更なし | (注3) | (注3) | STPT370 |
| | | | | | | | | (注5) | 0.98 | (注5) | 50 | (注3) |
| | | | | | | | | | (注3) | (注3) | | |
| | | | | | | | | | (差し込み部の内径) | (最小) | | |
| | | | | | | | | | 61.1 | 6.1 | | |
| | | | | | | | | | / | / | | |
| | | | | | | | | | - | - | | |
| | | | | | | | | | / | / | | |
| | | | | | | | | | (差し込み部の内径) | (最小) | | |
| | | | | | | | | | 61.1 | 6.1 | | |

記録確認

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | | |
|---------|---|---------------------|------|------|-----|---------|------|--------------|------------|-----------------------------|------|-----|------|
| 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 | 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 | | |
| | 圧 力 | 温 度 | | | | | 圧 力 | 温 度 | | | | | |
| | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | | | | |
| 制御用空気設備 | (注1) 格納容器貫通部 PEN#332、378 上流配管合流点 ～ 弁(2MOV-6202、 6203) | | | | | 制御用空気設備 | 変更なし | (注5) 0.98 | (注5) 50 | (注3) (差し込み (最小) 部の内径) | 61.1 | 6.1 | S25C |
| | | (差し込み (最小) 部の内径) | 27.7 | 4.3 | | | | | | | | | |

記録確認

別添1 (3/10)
令和3年3月4日

| 変更前 | | | | | 変更後 | | | | | | |
|-----|---------------------|--------------------|------------|------------|-----|---|---------------------|--------------------|--------------|-------------|---------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| | | | | | | 制御用空気設備 ホース接続口 (AJB NO.53 入口窒素供給配管) ~ 弁(2V-6291) | (注6) 0.83 | (注5) 50 | (注3) 34.0 | (注3) 3.4 | STPT370 |

記録確認

12

別添1(4/10)
令和3年3月4日

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | |
|-----|-------|------|------|------|----|---------|-------|------|-------------|------|------|---------|
| 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 | 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 | |
| | 圧力 | 温度 | | | | | 圧力 | 温度 | | | | |
| | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | | | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | | |
| | | | | | | 制御用空気設備 | | | (注3) | (注3) | | |
| | | | | | | | | | | 27.2 | 2.9 | STPT370 |
| | | | | | | | | (注5) | (注5) | (注3) | (最小) | |
| | | | | | | | | 0.98 | 50 | (穴径) | 21.4 | 4.3 |
| | | | | | | | | | 格納容器貫通部 | ／ | ／ | S25C |
| | | | | | | | | | PEN#332、378 | (穴径) | (最小) | |
| | | | | | | | | | 上流配管合流点 | 21.4 | 4.3 | |

記録確認

別添1(5/10)
令和3年3月4日

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|---|------|------|--------------|-------------|---------|-----------------|----------------------|---------------------|--------------|-------------|---------|
| 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 | 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 |
| | 圧 力 | 温 度 | | | | | 圧 力 | 温 度 | | | |
| 制御用空気設備 (注12) 弁(2V-6204A、B) ~ 弁(2V-6269B、C) | 0.83 | 50 | (注3) 60.3 | (注3) 3.9 | STPG42 | 制御用空気設備 変更なし | 変更なし (注5) 0.98 | 変更なし (注5) 138 | 変更なし | | |
| | | | (注3) 60.3 | (注3) 3.9 | STPG42 | | | | (注3) 34.0 | (注3) 3.4 | STPT370 |
| | | | (注3) 60.3 | (注3) 3.9 | STPG110 | | | | (注3) 60.3 | (注3) 3.9 | STPT370 |
| | | | | | | 変更なし | | | | | |

立会・記録確認
記録確認

15

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|--|------|------|-----|-----|-----|-----------------|------|------|-------------|----------|---|
| 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 | 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 |
| | 圧 力 | 温 度 | | | | | 圧 力 | 温 度 | | | |
| 制御用空気設備 弁 (2V-6204A、B) ~ 弁 (2V-6269B、C) | | | | | | 制御用空気設備 変更なし | (注5) | (注6) | (注3, 13) | (注3, 13) | (注13) |
| | | | | | | | 0.98 | 138 | 34.0 | 3.4 | STPT370 |
| | | | | | | | | | | (注3, 13) | (注3, 13) |
| | | | | | | | | | (注3, 6, 13) | (注6, 13) | (注6, 13) |
| | | | | | | | | | (差し込み部の内径) | (最小) | ASTM A105 Gr II (注3) (S25C 相当) |
| | | | | | | | | | 61.1 | 6.0 | (6.0) |

立会・記録確認
記録確認

別添1 (7/10)
令和3年3月4日

16

| 変更前 | | | | | 変更後 | | | | | | |
|-----|-------|------|------|------|-----|----|-------|------|--------|------|---------|
| 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 | 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 |
| | 圧力 | 温度 | | | | | 圧力 | 温度 | | | |
| | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | | | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | |
| | | | | | | | | | (注3) | (注3) | |
| | | | | | | | | | 60.5 | 3.9 | |
| | | | | | | | | | / | / | STPT370 |
| | | | | | | | | | 34.0 | 3.4 | |
| | | | | | | | | | (注3.6) | (注6) | |
| | | | | | | | | | | (最小) | |
| | | | | | | | | | | 6.0 | |
| | | | | | | | | | (差し込み | / | |
| | | | | | | | | | 部の内径) | (最小) | |
| | | | | | | | | | 61.1 | 6.0 | (注6) |
| | | | | | | | | | / | / | ASTM |
| | | | | | | | | | (差し込み | - | A105 |
| | | | | | | | | | 部の内径) | | Gr II |
| | | | | | | | | | 61.1 | (注3) | (S25C |
| | | | | | | | | | / | (6.0 | 相当) |
| | | | | | | | | | - | / | |
| | | | | | | | | | | 6.0 | |
| | | | | | | | | | | / | |
| | | | | | | | | | | -) | |

制御用空気設備

弁(2V-6204A、B)
~
弁(2V-6269B、C)

(注5)
0.98

(注5)
138

(差し込み
部の内径)

(最小)
6.0
(最小)

(注6)
ASTM
A105
Gr II
(S25C
相当)

記録確認

別添1(8/10)
令和3年3月4日

| 変更前 | | | | | 変更後 | | | | | | |
|-----|-------|------|------|------|-----|---------------|-------|------|------|------|---------|
| 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 | 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 |
| | 圧力 | 温度 | | | | | 圧力 | 温度 | | | |
| | (MPa) | (℃) | (mm) | (mm) | | | (MPa) | (℃) | (mm) | (mm) | |
| | | | | | | | | | (注3) | (注3) | |
| | | | | | | 制御用 空気設備 | | | 60.5 | 3.9 | |
| | | | | | | 弁(2V-6204A、B) | (注5) | (注5) | / | / | |
| | | | | | | ～ | 0.98 | 138 | - | - | STPT370 |
| | | | | | | 弁(2V-6269B、C) | | | / | / | |
| | | | | | | | | | 60.5 | 3.9 | |

記録確認

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用空気乾燥器A、B出口の仕切弁～格納容器内逆止弁(2-6204A、B)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載

(注5) 重大事故等時における使用時の値

(注6) 本設備は既存の設備である。

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用空気乾燥器A、B出口ライン分岐点～計器用補助空気そう」と記載

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用補助空気そうラインへの分岐点～主蒸気大気放出弁および補助給水用弁」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用空気乾燥器A、B出口ライン分岐点～中間建屋および補助建屋」と記載

(注10) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

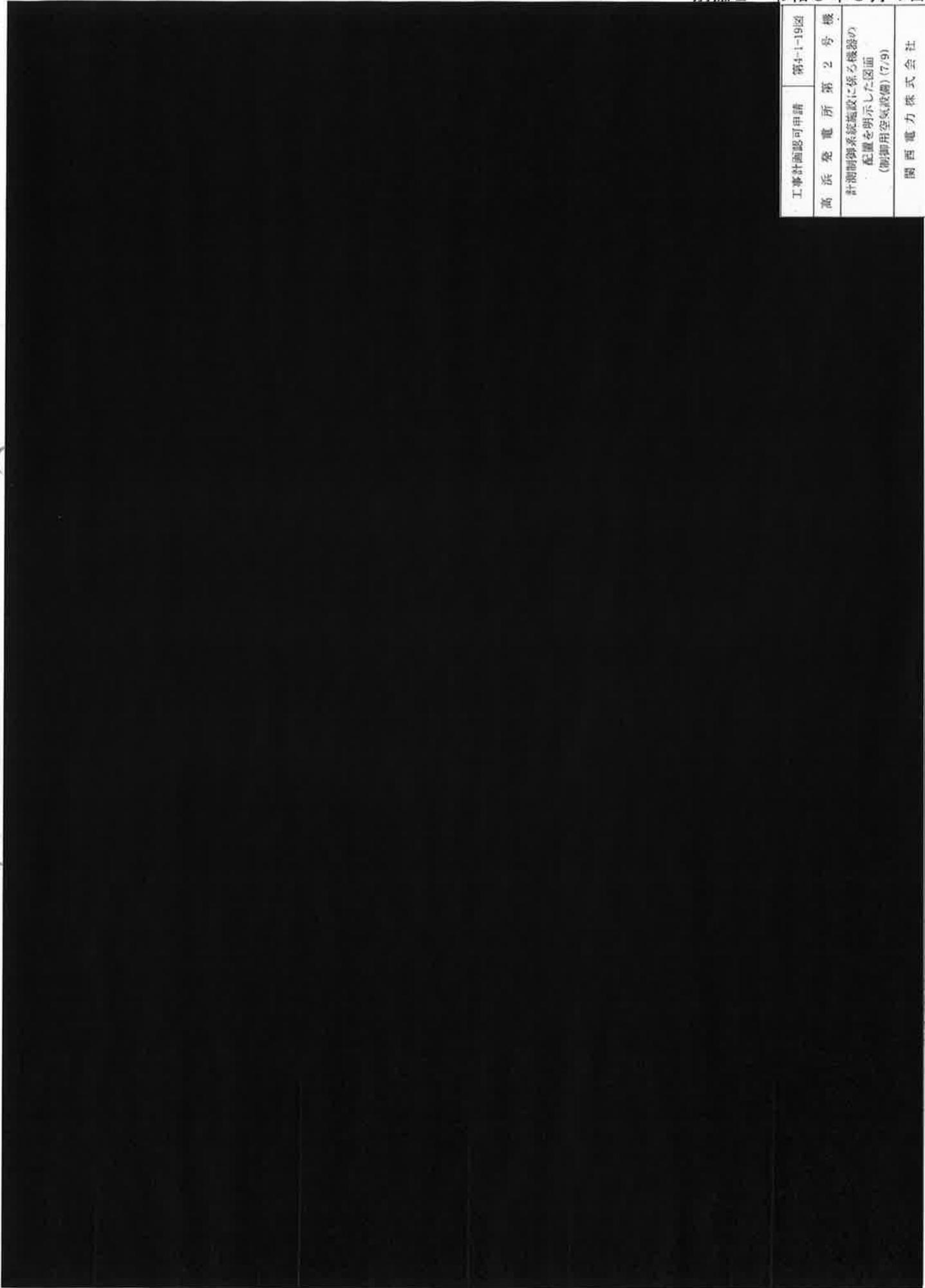
(注11) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

別添1(9/10)
令和3年3月4日

(注12) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注13) エルボを示す。

(注14) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。



| | |
|---|----------|
| 工事計画認可申請 | 第4-1-19図 |
| 高浜発電所第2号機 | 機 |
| 計測制御系統施設に係る機器の配置を明示した図面 (制御用空気設備)(7/9) | |
| 関西電力株式会社 | |

| 検査対象 | 最高使用圧力 MPa | 耐圧検査圧力 MPa ^{※2} | 保持時間 分 | 漏えい検査圧力 MPa | 水圧、気圧 区分 |
|---|----------------------------|-----------------------------|-----------|----------------|-------------|
| 弁(2V-6204A、B) ~ 弁(2V-6269B、C) ^{※3} | 0.83 0.98 ^{※1} | 1.080 | 11 | 1.080 | 気圧 |

備考

- ※1 : 重大事故等時における使用時の値
- ※2 : 最高使用圧力×1.25 (0.83MPa×1.25=1.04MPa) 以上
- ※3 : 管及び管継手

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-11

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|-------------------|------|--------------|---|------|
| 令和 5 年 3 月 9 日 | 良 | 平井 隆 須貝 実 | ホヰラ-..タ-ビン 主任技術者  | なし |

関西電力株式会社高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：2-11

検査年月日：令和 5 年 3 月 9 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：2-11

検査年月日：令和5年3月9日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|-------------|-------|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | (良)・— | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | (良)・— | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | (良)・— | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ 記録確認 | (良)・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：2-11

検査年月日：令和5年3月9日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象 | | | |
|--|--|------|----------------|
| 計測制御系統施設 制御用空気設備 主配管 別添1及び別添2参照 | | | |
| 検査項目 | 判定基準 | 検査結果 | 検査方法 |
| 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査 漏えい検査 | 設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 | 目視 記録確認 |
| 備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0208、T2-1-0208(その2) ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 | | | |

設 備 概 要

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

計測制御系統施設

9 制御用空気設備に係る次の事項

（5）主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | | |
|--------------|---|---------------------|--------------------|--------------|-------------|-----------------|---------|------|---------------------|--------------------|--------------|-------------|------|
| 名称 | | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 制御用空気設備 | (注1) 格納容器貫通部 PEN#332、378 上流配管合流点 ～ 弁(2MOV-6202、 6203) | (注2) 0.83 | 50 | (注3) 60.3 | (注3) 3.9 | (注4) STPG410 | 制御用空気設備 | 変更なし | 変更なし | 変更なし | | | |
| | | 0.98 | 50 | 60.3 | 3.9 | STPT370 | | | (注5) 0.98 | 変更なし | (注3) 60.3 | (注3) 3.9 | S25C |
| | | | | | | | | | (注5) 0.98 | (注5) 50 | (注3) 61.1 | (注3) 6.1 | |
| (注5) 0.98 | (注5) 50 | (注3) 61.1 | (注3) 6.1 | (注3) 61.1 | (注3) 6.1 | | | | | | | | |

| 変更前 | | | | | 変更後 | | | | | | |
|---|---------------------|--------------------|------------|------------|-----|---------------------|---------------------|--------------------|-------------------|------------------|------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| (注1) 格納容器貫通部 PEN#332、378 上流配管合流点 ～ 弁(2MOV-6202、 6203) | | | | | | 制御用 空気設備 変更なし | (注5) 0.98 | (注5) 50 | (注3) 61.1 / | (注3) 6.1 / | S25C |
| | | | | | | | | | (注3) 27.7 / | (注3) 4.3 / | |

詳細は別添2(1/3)のとおり。

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|-----|---------------------|-------------------|------------|------------|----|--|---------------------|-------------------|---------------|------------------|---------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| | | | | | | 制御用空気設備 ホース接続口 (窒素供給連絡 配管上流(A系)) 及び ホース接続口 (窒素供給連絡 配管上流(B系)) ～ ホース接続口 (窒素供給連絡 配管下流(A系)) 及び ホース接続口 (窒素供給連絡 配管下流(B系)) | (7E5) 0.98 | (7E5) 50 | (7E3) 27.2 | (7E3, 11) 2.9 | STPT370 |

| 変更前 | | | | | 変更後 | | | | | | |
|-----|-------|------|------|------|-----|-------------|---------------|-----------------|--------------------------------|-----------------|---------|
| 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 | 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 |
| | 圧力 | 温度 | | | | | 圧力 | 温度 | | | |
| | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | | | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | |
| | | | | | | 制御用 空気設備 | | | (fE3) 27.2 | (fE3) 2.9 | STPT370 |
| | | | | | | | | | (fE3) (穴径) | (fE3) (最小) | |
| | | | | | | | (fE5) 0.98 | (fE5) 50 | 21.4 | 4.3 | |
| | | | | | | | | | 格納容器貫通部 PEN#332、378 (穴径) | 格納容器貫通部 (最小) | S25C |
| | | | | | | | | 上流配管合流点 21.4 | 上流配管合流点 4.3 | | |

詳細は別添 2 (1/3、2/3) のとおり。

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | |
|---------|---------------|------|------|------|------|---------|---------|------|------|------|------|---------|
| 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 | 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 | |
| | 圧 力 | 温 度 | | | | | 圧 力 | 温 度 | | | | (MPa) |
| 制御用空気設備 | (注12) | | | | | 制御用空気設備 | | | | | | |
| | 弁(2V-6204A、B) | 0.83 | 50 | (注3) | (注3) | | STPG42 | 変更なし | 変更なし | 変更なし | | |
| | ~ | | | 60.3 | 3.9 | | | | | (注3) | (注3) | STPT370 |
| | 弁(2V-6269B、C) | 0.98 | 138 | 60.3 | 3.9 | | STPG410 | (注5) | (注5) | (注3) | (注3) | STPT370 |
| | | | (注3) | (注3) | | | | 変更なし | | | | |

詳細は別添2(3/3)のとおり。

別添1(6/10)
令和5年3月9日

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | | |
|--|------|------|-----|-----|-----|-----------------|--------------|-------------|------------|------------------|---|-------|------|
| 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 | 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 | | |
| | 圧 力 | 温 度 | | | | | 圧 力 | 温 度 | | | | (MPa) | (°C) |
| 制御用空気設備 弁(2V-6204A、B) ~ 弁(2V-6269B、C) | | | | | | 制御用空気設備 変更なし | 0.98 (注5) | 138 (注5) | (注3, 13) | (注3, 13) | (注13) | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | (差し込み部の内径) | (注6, 13) (最小) | (注6, 13) ASTM A105 Gr II (注3) (S25C 相当) | | |

| 変更前 | | | | | 変更後 | | | | | | |
|-----|---------------------|--------------------|------------|------------|---------|-------------------------------------|---------------------|--------------------|-----------------------------|--------------------------|---|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| | | | | | | | | | (注3) 60.5 / | (注3) 3.9 / | STPT370 |
| | | | | | | | (注5) 0.98 | (注5) 138 | (注3,6) 61.1 / | (注6) (最小) 6.0 / | (注6) ASTM A105 Gr II (S25C 相当) |
| | | | | | 制御用空気設備 | 弁(2V-6204A、B) ~ 弁(2V-6269B、C) | | | (差し込み 部の内径) 61.1 / | (最小) (最小) 6.0 / | |
| | | | | | | | | | (差し込み 部の内径) 61.1 / | (注3) (6.0 / | |
| | | | | | | | | | - | 6.0 / | |
| | | | | | | | | | - | - | |

別添1(8/10)
令和5年3月9日

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | |
|-----|-------|------|------|------|-----|---------------------------------|---------------------------------------|------|------|------|------|---------|
| 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 | 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 | |
| | 圧 力 | 温 度 | | | | | 圧 力 | 温 度 | | | | |
| | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | | | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | | |
| | | | | | | 制 御 用 空 気 設 備 | 弁 (2V-6204A、B) ～ 弁 (2V-6269B、C) | (注5) | (注5) | (注3) | (注3) | STPT370 |
| | | | | | | | | 0.98 | 138 | 60.5 | 3.9 | |
| | | | | | | | | / | / | / | / | |
| | | | | | | | | / | / | 60.5 | 3.9 | |

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用空気乾燥器A、B出口の仕切弁～格納容器内逆止弁(2-6204A、B)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載

(注5) 重大事故等時における使用時の値

(注6) 本設備は既存の設備である。

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用空気乾燥器A、B出口ライン分岐点～計器用補助空気そう」と記載

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用補助空気そうラインへの分岐点～主蒸気大気放出弁および補助給水用弁」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用空気乾燥器A、B出口ライン分岐点～中間建屋および補助建屋」と記載

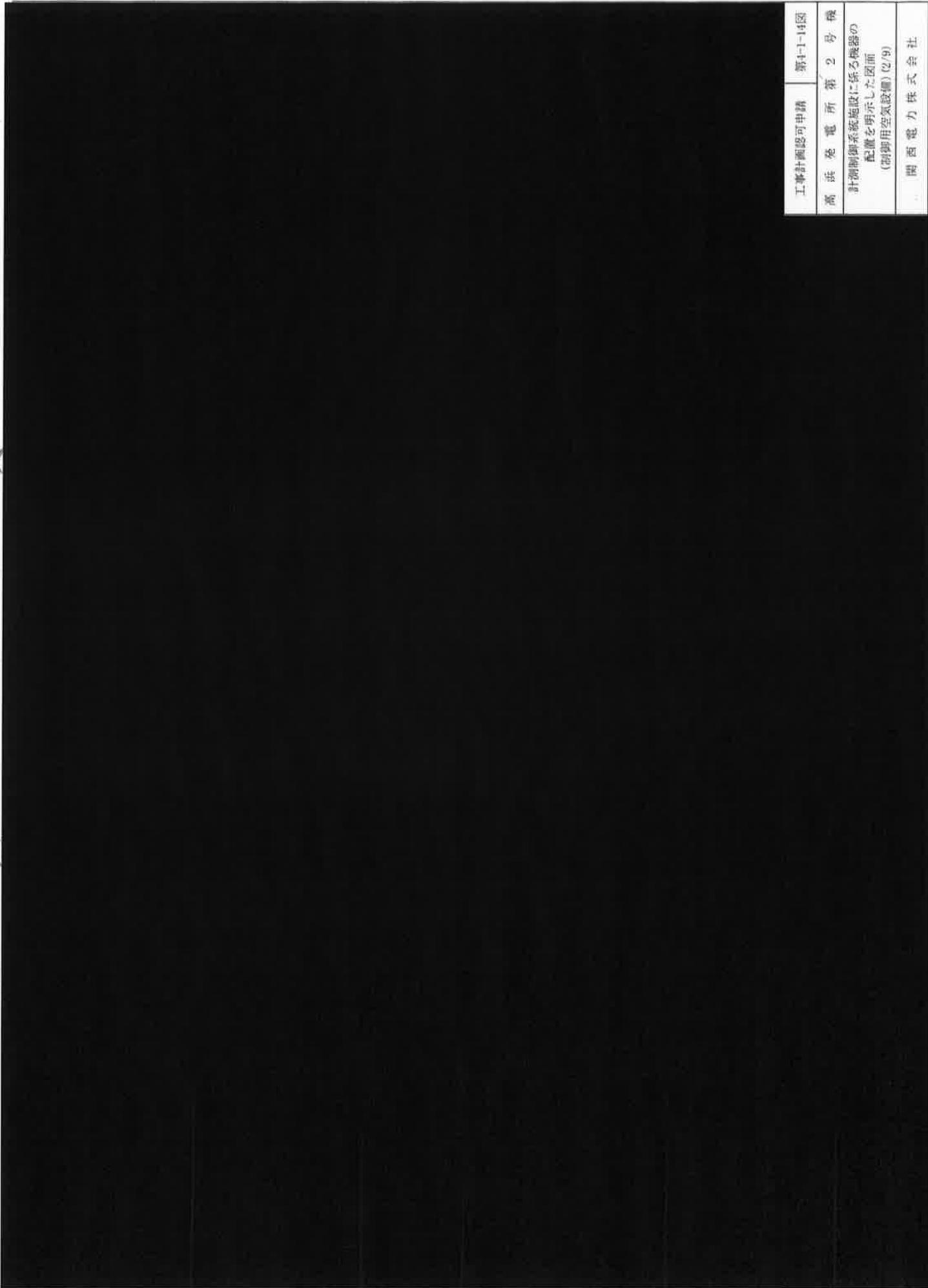
(注10) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

(注11) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

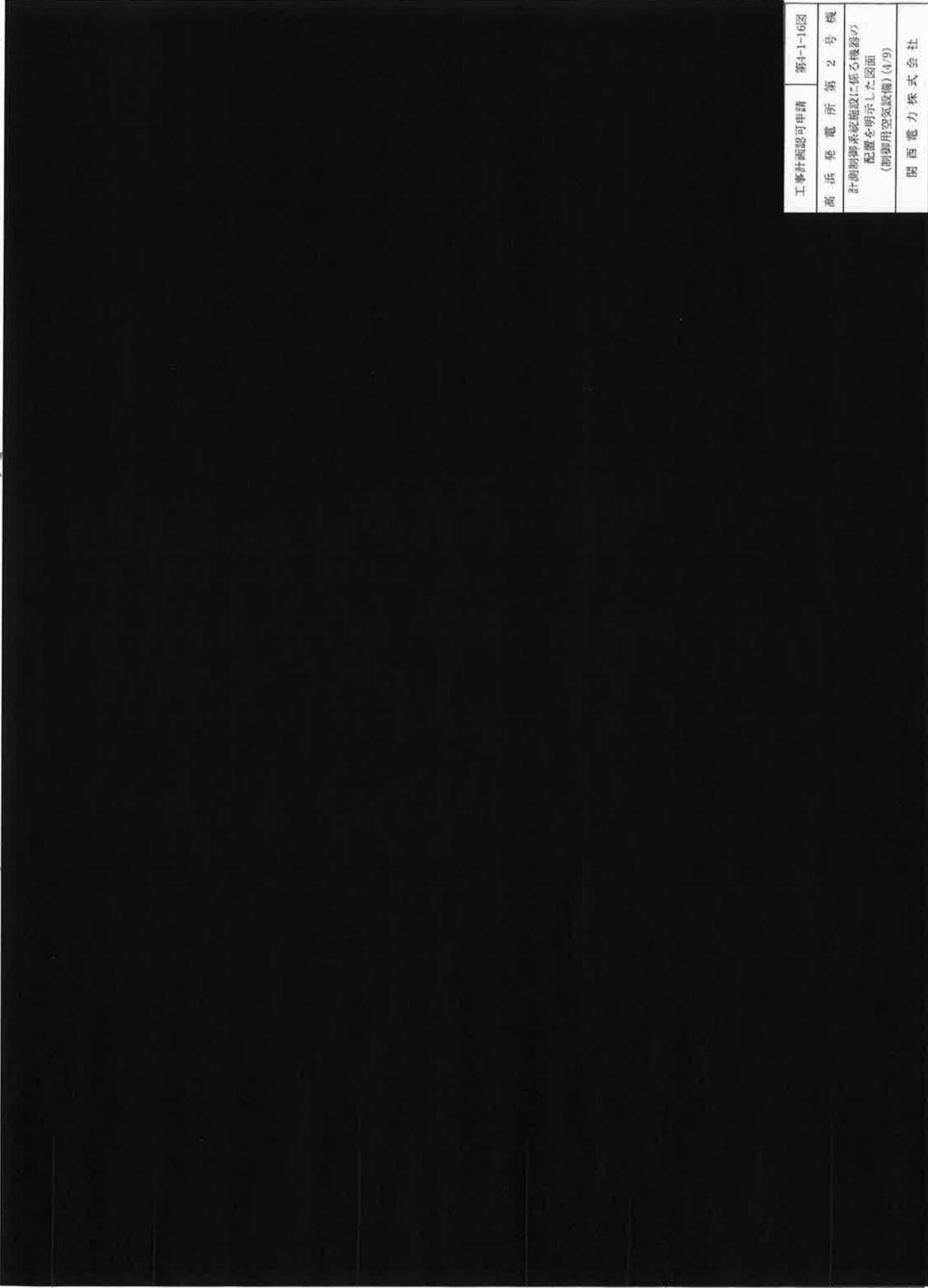
(注12) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注13) エルボを示す。

(注14) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。



| | |
|--|----------|
| 工事計画認可申請 | 第1-1-14図 |
| 高浜発電所第2号機 | |
| 計測制御系統施設に係る機器の配置を明示した図面 (制御用空気設備) (2/9) | |
| 関西電力株式会社 | |



| | |
|---|----------|
| 工事計画認可申請 | 第4-1-16図 |
| 高圧発電所第2号機 | |
| 計測制御系統施設に係る機器の 配置を明示した図面 (制御用空気設備)(4/9) | |
| 関西電力株式会社 | |

| | |
|---|----------|
| 工事計画認可申請 | 第4-1-18図 |
| 高浜発電所第2号機 | |
| 計測制御系統施設に係る機器の 配置を明示した図面 (制御用空気設備)(6/9) | |
| 関西電力株式会社 | |

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名 : 放射線管理施設
原子炉格納施設

系統名 : 生体遮蔽装置
外部遮蔽
二次格納施設
鋼製格納容器
外周コンクリート壁
外部しゃへい建屋 (2次格納施設)

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 2-12

令和3年12月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機

2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査

3 検査申請 使用前検査申請番号

- 関原発第321号 (平成28年10月 7日)
- 関原発第435号 (平成30年 3月20日)
- 関原発第 47号 (平成30年 4月20日)
- 関原発第203号 (平成30年 7月 4日)
- 関原発第260号 (平成30年 8月20日)
- 関原発第416号 (平成30年12月 5日)
- 関原発第505号 (平成31年 2月 1日)
- 関原発第513号 (平成31年 2月 6日)
- 関原発第 4号 (平成31年 4月 4日)
- 関原発第 69号 (令和 元年 5月16日)
- 関原発第116号 (令和 元年 6月24日)
- 関原発第205号 (令和 元年 8月23日)
- 関原発第511号 (2020年 1月31日)
- 関原発第543号 (2020年 2月26日)
- 関原発第618号 (2020年 3月24日)
- 関原発第 23号 (2020年 4月 7日)
- 関原発第 23号 (2021年 4月 30日)
- 関原発第293号 (2021年 8月 2日)

4 検査期日 自 令和元年 5月 16日
至 令和 3年 12月 2日

5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター
大阪府吹田市藤白台

- 6 検査範囲 高浜発電所第2号機
発電用原子炉施設
放射線管理施設
生体遮蔽装置
外部遮蔽 一式
原子炉格納施設
二次格納施設
鋼製格納容器
外周コンクリート壁
外部しゃへい建屋（2次格納施設） 一式
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 9 添付資料 使用前検査記録
- 1 検査前確認事項
 - 2 材料検査記録
 - 3 寸法検査記録
 - 4 外観検査記録
 - 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
 - 6 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|----------------------|-----------------------|----------------------------|------|
| 令和元年 5月16日 | 田中 孝行 高橋 和宏 | 発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] | なし |
| 令和元年 5月27日 28日 | 上田 洋 環境技官 河田 拓也 | 発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] | なし |
| 令和元年 6月25日 | 須貝 実 水戸 侑哉 | 発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] | なし |

w

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|---------------------|-------------------|----------------------------|------|
| 令和元年 7月5日 | 高須 洋司 山形 英男 | 発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] | なし |
| 令和元年 7月24日 23 | 田中 孝行 須貝 実 | 発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] | なし |
| 令和元年 8月9日 | 須貝 実 環境技官 増本 豊 | 発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] | なし |

4

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|---------------|---|---|------|
| 令和元年 8月21日 | 田中 孝行  環境技官 増本 豊  | 発電用原子炉 主任技術者  | なし |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |

5

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|----------------|--|---|------|
| 令和元年 9月11日 | 雑賀康正  | 発電用原子炉 主任技術者  | なし |
| 令和元年 11月18日 | 須貝実  | 発電用原子炉 主任技術者  | なし |
| 令和元年 12月9日 | 前田 周  | 発電用原子炉 主任技術者  | なし |

9

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|----------------|--|---|------|
| 令和元年 12月10日 | 前田 剛  | 発電用原子炉 主任技術者  | なし |
| 令和2年 1月7日 | 平井 隆  | 発電用原子炉 主任技術者  | なし |
| 令和2年 6月2日 | 原子力検査官 河田 拓也  | 発電用原子炉 主任技術者  | なし |

〜

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|---------------|--|---|------|
| 令和2年 6月23日 | 増本 豊  | 発電用原子炉 主任技術者  | なし |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |

∞

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|----------------|--------------|---|------|
| 令和3年 12月12日 | 増本 豊 平沢 淳 | 発電用原子炉 主任技術者  | なし |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |

6

検査結果一覧表

系統名：生体遮蔽装置 外部遮蔽

二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け 状態を確認する検査 | 備考 |
|------|---------------|---------------|----------|-----------------------|----|
| 検査日 | 令和元年 5月16日 | 令和元年 5月16日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | 良 | 良 | / | | |
| 検査日 | 令和元年 5月27日 | 令和元年 5月27日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | 良 | 良 | / | | |
| 検査日 | 令和元年 6月25日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | 良 | / | | | |

検査結果一覧表

系統名：生体遮蔽装置 外部遮蔽

二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け 状態を確認する検査 | 備考 |
|------|----------------------|---------------|--------------|-----------------------|----|
| 検査日 | 令和元年 7月5日 | 令和元年 7月5日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | 良 | 良 | / | | |
| 検査日 | 令和元年 7月23日 24日 | 令和元年 7月23日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | 良 | 良 | / | | |
| 検査日 | 年 月 日 | 令和元年 8月9日 | 令和元年 8月9日 | 年 月 日 | |
| 結果 | / | 良 | 良 | / | |

検査結果一覧表

系統名：生体遮蔽装置 外部遮蔽

二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け 状態を確認する検査 | 備考 |
|------|---------------|----------|----------|-----------------------|----|
| 検査日 | 令和元年 8月21日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | 良 | | | | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | | | | | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | | | | | |

検査結果一覧表

系統名：生体遮蔽装置 外部遮蔽

二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け 状態を確認する検査 | 備考 |
|------|----------------|----------------|---------------|-----------------------|----|
| 検査日 | 年 月 日 | 令和元年 9月11日 | 令和元年 9月11日 | 年 月 日 | |
| 結果 | / | 良 | 良 | / | |
| 検査日 | 令和元年 11月18日 | 令和元年 11月18日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | 良 | 良 | / | / | |
| 検査日 | 年 月 日 | 令和元年 12月9日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | / | 良 | / | / | |

13

検査結果一覧表

系統名：生体遮蔽装置 外部遮蔽

二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け 状態を確認する検査 | 備考 |
|------|----------------|--------------|----------|-----------------------|----|
| 検査日 | 令和元年 12月10日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | 良 | / | | | |
| 検査日 | 令和2年 1月7日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | 良 | / | | | |
| 検査日 | 年 月 日 | 令和2年 6月2日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | / | | 良 | / | |

14

検査結果一覧表

系統名：生体遮蔽装置 外部遮蔽

二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け 状態を確認する検査 | 備考 |
|------|--------------------|--------------------|--------------------|-----------------------|----|
| 検査日 | 年 月 日 | 令和 2 年 6 月 23 日 | 令和 2 年 6 月 23 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | / | 良 | 良 | / | |
| 検査日 | 令和 3 年 12 月 1 日 | 令和 3 年 12 月 1 日 | 令和 3 年 12 月 2 日 | 令和 3 年 12 月 2 日 | |
| 結果 | 良 | 良 | 良 | 良 | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | / | | | | |

15

高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|---------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 5月16日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 令和元年 5月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 6月25日 | 良 | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | 令和元年 5月16日 | 良 | |
| | | 令和元年 5月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 6月25日 | 良 | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 令和元年 5月16日 | 良 | |
| | | 令和元年 5月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 6月25日 | 良 | |

高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------------------------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 7月5日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 令和元年 7月 ²³ 24日 | 良 | |
| | | 令和元年 8月9日 | 良 | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | 令和元年 7月5日 | 良 | |
| | | 令和元年 7月 ²³ 24日 | 良 | |
| | | 令和元年 8月9日 | 良 | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 令和元年 7月5日 | 良 | |
| | | 令和元年 7月 ²³ 24日 | 良 | |
| | | 令和元年 8月9日 | 良 | |

高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|---------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 8月21日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | 令和元年 8月21日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 令和元年 8月21日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|----------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 9月11日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 令和元年 11月18日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月9日 | 良 | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | 令和元年 9月11日 | 良 | |
| | | 令和元年 11月18日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月9日 | 良 | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 令和元年 9月11日 | 良 | |
| | | 令和元年 11月18日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月9日 | 良 | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|----------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 12月10日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 令和2年 1月7日 | 良 | |
| | | 令和2年 6月2日 | 良 | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | 令和元年 12月10日 | 良 | |
| | | 令和2年 1月7日 | 良 | |
| | | 令和2年 6月2日 | 良 | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 令和元年 12月10日 | 良 | |
| | | 令和2年 1月7日 | 良 | |
| | | 令和2年 6月2日 | 良 | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|---------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 令和2年 6月23日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 令和3年 12月1日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | 令和2年 6月23日 | 良 | |
| | | 令和3年 12月1日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 令和2年 6月23日 | 良 | |
| | | 令和3年 12月1日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|------------------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 5月16日 | 良 | |
| | | 令和元年 5月27日 5月28日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 年 月 日 | | |
| | | 令和元年 5月16日 | 良 | |
| | | 令和元年 5月27日 5月28日 | 良 | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和元年 5月28日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|------------------------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 6月25日 | 良 | |
| | | 令和元年 7月5日 | 良 | |
| | | 令和元年 7月 ²³ 24日 | 良 | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 6月25日 | 良 | |
| | | 令和元年 7月5日 | 良 | |
| | | 令和元年 7月 ²³ 24日 | 良 | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和元年 6月25日 | 良 | |
| | | 令和元年 7月 ²³ 24日 | 良 | |
| | | 令和元年 7月 ²³ 24日 | 良 | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 8月21日 | 良 | |
| | | 令和元年 11月18日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月10日 | 良 | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 8月21日 | 良 | |
| | | 令和元年 11月18日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月10日 | 良 | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和元年 8月21日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月10日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月10日 | 良 | |

高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|--------------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和 2 年 1 月 7 日 | 良 | |
| | | 令和 3 年 12 月 1 日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和 2 年 1 月 7 日 | 良 | |
| | | 令和 3 年 12 月 1 日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和 2 年 1 月 7 日 | 良 | |
| | | 令和 3 年 12 月 1 日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|--------------------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 5月16日 | 良 | |
| | | 令和元年 5月27日 | 良 | |
| | | 令和元年 #月#日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 5月16日 | 良 | |
| | | 令和元年 5月27日 | 良 | |
| | | 年 月日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和元年 5月16日 | 良 | |
| | | 令和元年 5月27日 | 良 | |
| | | 年 月日 | | |

高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|---------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 7月5日 | 良 | |
| | | 令和元年 7月23日 | 良 | |
| | | 令和元年 8月9日 | 良 | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 7月5日 | 良 | |
| | | 令和元年 7月23日 | 良 | |
| | | 令和元年 8月9日 | 良 | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和元年 7月5日 | 良 | |
| | | 令和元年 7月23日 | 良 | |
| | | 令和元年 8月9日 | 良 | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 9月11日 | 良 | |
| | | 令和元年 11月18日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月9日 | 良 | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 9月11日 | 良 | |
| | | 令和元年 11月18日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月9日 | 良 | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和元年 9月11日 | 良 | |
| | | 令和元年 11月18日 | 良 | |
| | | 令和元年 12月9日 | 良 | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|---------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和2年 6月2日 | 良 | |
| | | 令和2年 6月23日 | 良 | |
| | | 令和3年 12月1日 | 良 | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和2年 6月2日 | 良 | |
| | | 令和2年 6月23日 | 良 | |
| | | 令和3年 12月1日 | 良 | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和2年 6月2日 | 良 | |
| | | 令和2年 6月23日 | 良 | |
| | | 令和3年 12月1日 | 良 | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|--------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 8月9日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 8月9日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|---------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 9月11日 | 良 | |
| | | 令和2年 6月23日 | 良 | |
| | | 令和3年 12月2日 | 良 | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 9月11日 | 良 | |
| | | 令和2年 6月23日 | 良 | |
| | | 令和3年 12月2日 | 良 | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録 検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|---------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和3年 12月2日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和3年 12月2日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

~~一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター~~

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|------|-------|--|-------------|-------------|-------------|
| 外部遮蔽 | 円筒部 | 上部※3 | 鉄筋コンクリート※1 (密度 2.1g/cm ³ 以上) | 令和元 年 5月16日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| | | 下部 | | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| | ドーム部 | 年 月 日 | | | 目視/ 記録確認 | |

備考

※1：鉄筋コンクリートに要求される品質を満たしていること確認するために以下の項目について確認

- セメント、骨材、練混ぜ水、混和剤、混和材、
 - フレッシュコンクリートの性状、構造体コンクリートの圧縮強度、
 - アルカリシリカ反応性、
 - 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量
- 確認した密度の最小値 (g/cm³)、
- 鉄筋
 - あと施工アンカー

・記録確認は、申請者の品質記録(※2)による。

※2：適合性確認検査成績書の要領書番号：T2-1-1302(その1)

※3：以下の箇所について確認

6工区3リフト(詳細は別紙参照)

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

~~一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター~~

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|----------|--|---------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 | 円筒部 | 鉄筋コンクリート※1 (密度 2.1g/cm ³ 以上) | 令和元年 5月27日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| | | | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 | | |

備考

※1：鉄筋コンクリートに要求される品質を満たしていること確認するために以下の項目について確認

- セメント、骨材、練混ぜ水、混和剤、混和材、
- フレッシュコンクリートの性状、構造体コンクリートの圧縮強度、
- アルカリシリカ反応性、
- 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量
確認した密度の最小値 (g/cm³)、
- 鉄筋
- あと施工アンカー

・記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。

※2：適合性確認検査成績書の要領書番号：T2-1-1302(その1)

※3：以下の箇所について確認
6工区3リフト(詳細は別紙参照)

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

~~一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター~~

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|----------|--|---------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 | 円筒部 | 鉄筋コンクリート ^{*1} (密度 2.1g/cm ³ 以上) | 令和元年 5月28日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| | | | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 | | |
| | ドーム部 | | | | |

備考

※1：鉄筋コンクリートに要求される品質を満たしていること確認するために以下の項目について確認^{*4}

- セメント、骨材、練混ぜ水、混和剤、混和材、
フレッシュコンクリートの性状、構造体コンクリートの圧縮強度、
アルカリシリカ反応性、
遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量
 確認した密度の最小値 (g/cm³)、
鉄筋
あと施工アンカー

~~記録確認は、申請者の品質記録(※2)による。~~

~~※2：適合性確認検査成績書の要領書番号：~~

※3：以下の箇所について確認
6工区3リフト(詳細は別紙参照)

※4：申請者が適用した基準に対し満足していることを確認

高浜発電所第 2 号機

材料検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社高浜発電所~~

一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|----------|--|---------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 | 円筒部 | 鉄筋コンクリート※1 (密度 2.1g/cm ³ 以上) | 令和元年 6月25日 | 良 | 目視 記録確認 |
| | | | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 | | |

備考

※1：鉄筋コンクリートに要求される品質を満たしていること確認するために以下の項目について確認※4

- セメント、骨材、練混ぜ水、混和剤、混和材、
- フレッシュコンクリートの性状、構造体コンクリートの圧縮強度、
- アルカリシリカ反応性、
- 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量
確認した密度の最小値 (g/cm³)、
- 鉄筋
- あと施工アンカー

~~記録確認は、申請者の品質記録(※2)による。~~

~~※2：適合性確認検査成績書の要領書番号~~

※3：以下の箇所について確認

6工区3リフト(詳細は別紙参照)

※4：申請者が適用した基準に対して満足していることも確認

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

~~一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター~~

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|-------------|--|-------|------|-------------|
| 外部遮蔽 | 円筒部 | 鉄筋コンクリート*1 (密度 2.1g/cm ³ 以上) | 年 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| | | | 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| | 令和元 7月5日 | | 記録確認 | | |
| | ドーム部 | | 年 | | 目視/ 記録確認 |
| | | | 月 日 | | 記録確認 |

備考

※1：鉄筋コンクリートに要求される品質を満たしていること確認するために以下の項目について確認*4

- ~~目セメント、目骨材、目練混ぜ水、目混和剤、目混和材、~~
- ~~目フレッシュコンクリートの性状、目構造体コンクリートの圧縮強度、~~
- ~~目アルカリシリカ反応性、~~
- ~~目遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量~~
- ~~確認した密度の最小値(g/cm³)~~

- 鉄筋
- あと施工アンカー

・記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。

※2：適合性確認検査成績書の要領書番号： T2-1-1302(その1)

※3：以下の箇所について確認

7工区クリフト(詳細は別紙参照)

※4:申請者が適用した基準に対して満足していることを確認

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

~~一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター~~

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|------|--|---------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 | 円筒部 | 鉄筋コンクリート※1 (密度 2.1g/cm ³ 以上) | 年 | | 目視/ 記録確認 |
| | | | 月 | 日 | |
| | 下部※3 | | 令和元年 7月23日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| | ドーム部 | | 年 | | 目視/ 記録確認 |
| | | | 月 | 日 | |

備考

※1：鉄筋コンクリートに要求される品質を満たしていること確認するために以下の項目について確認

- セメント、骨材、練混ぜ水、混和剤、混和材、
- フレッシュコンクリートの性状、構造体コンクリートの圧縮強度、
- アルカリシリカ反応性、
- 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量
確認した密度の最小値 (g/cm³)、
- 鉄筋
- あと施工アンカー

・記録確認は、申請者の品質記録(※2)による。

※2：適合性確認検査成績書の要領書番号：T2-1-1302(その1)

※3：以下の箇所について確認

クエ区クリフト(詳細は別紙参照)

高浜発電所第 2 号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

~~一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター~~

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|------|--|---------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 | 円筒部 | 鉄筋コンクリート※1 (密度 2.1g/cm ³ 以上) | 年 | | 目視/ 記録確認 |
| | | | 月 | 日 | |
| | 下部※3 | | 令和元年 7月24日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| | ドーム部 | | 年 | | 目視/ 記録確認 |
| | | | 月 | 日 | |

備考

※1：鉄筋コンクリートに要求される品質を満たしていること確認するために以下の項目について確認 ※4

- セメント、骨材、練混ぜ水、混和剤、混和材、
 - フレッシュコンクリートの性状、構造体コンクリートの圧縮強度、
 - アルカリシリカ反応性、
 - 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量
- 確認した密度の最小値 (g/cm³)、
- 鉄筋
 - あと施工アンカー

~~記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。~~

~~※2 適合性確認検査成績書の要領書番号：~~

※3：以下の箇所について確認

クエリクリフト(詳細は別紙参照)

※4：申請者が適用した基準に対して満足していることを確認

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|------|------|--|---------------|-------------|-------------|
| 外部遮蔽 | 円筒部 | 上部 | 鉄筋コンクリート※1 (密度 2.1g/cm ³ 以上) | 年 | | 目視/ 記録確認 |
| | | 下部※3 | | 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| | ドーム部 | 年 | | | 目視/ 記録確認 | |
| | | | | 令和元年 8月21日 | 良 | 目視 記録確認 |

備考

※1：鉄筋コンクリートに要求される品質を満たしていること確認するために以下の項目について確認 ※4

- セメント、骨材、練混ぜ水、混和剤、混和材、
- フレッシュコンクリートの性状、構造体コンクリートの圧縮強度、
- アルカリシリカ反応性、
- 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量
確認した密度の最小値 (g/cm³)、
- 鉄筋
- あと施工アンカー

~~記録確認は、申請者の品質記録(※2)による。~~

~~※2：適合性確認検査成績書の要領書番号~~

※3：以下の箇所について確認

7E区フリフト(詳細は別紙参照)

※4：申請者が適用した基準に対して満足していることを確認

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

~~一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター~~

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|--------|----|--|--------|------|-------------|
| 外部遮蔽 | 円筒部 | 上部 | 鉄筋コンクリート※1 (密度 2.1g/cm ³ 以上) | 年 | | 目視/ 記録確認 |
| | | 下部 | | 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| | ドーム部※3 | | | 令和元 年 | | 良 |
| | | | | 11月18日 | | |

備考

※1：鉄筋コンクリートに要求される品質を満たしていること確認するために以下の項目について確認

- セメント、骨材、練混ぜ水、混和剤、混和材、
- フレッシュコンクリートの性状、構造体コンクリートの圧縮強度、
- アルカリシリカ反応性、
- 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量
- 確認した密度の最小値 (g/cm³)、
- 鉄筋
- あと施工アンカー

・記録確認は、申請者の品質記録(※2)による。

※2：適合性確認検査成績書の要領書番号：T2-1-1302(その2)

※3：以下の箇所について確認

5ソフト(詳細は別紙参照)

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

~~一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター~~

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|--------------------|--|----------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 | 円筒部 | 鉄筋コンクリート※1 (密度 2.1g/cm ³ 以上) | 年 | | 目視/ 記録確認 |
| | | | 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| | ドーム部 ^{※3} | | 令和元年 12月10日 | 良 | 目視 記録確認 |

備考

※1：鉄筋コンクリートに要求される品質を満たしていること確認するために以下の項目について確認^{※4}

- セメント、骨材、練混ぜ水、混和剤、混和材、
- フレッシュコンクリートの性状、構造体コンクリートの圧縮強度、
- アルカリシリカ反応性、
- 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量
確認した密度の最小値 (g/cm³)、
- 鉄筋
- あと施工アンカー

~~記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。~~~~※2：適合性確認検査成績書の要領書番号。~~

※3：以下の箇所について確認

5リフト（詳細は、別紙参照）

※4：申請者が適用した基準に対して満足していることを確認。

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所一

一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|---------|----|--|--------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 | 円筒部 | 上部 | 鉄筋コンクリート※1 (密度 2.1g/cm ³ 以上) | 年 月 日 | / | 目視/ 記録確認 |
| | | 下部 | | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| | ドーム部 ※3 | | | 令和2年 1月7日 | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考

※1：鉄筋コンクリートに要求される品質を満たしていることを確認するために以下の項目について確認※4

- セメント、骨材、練混ぜ水、混和剤、混和材、
- フレッシュコンクリートの性状、構造体コンクリートの圧縮強度、
- アルカリシリカ反応性、
- 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量
確認した密度の最小値 (, g/cm³)、
- 鉄筋
- あと施工アンカー

・記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。

~~※2 適合性確認検査成績書の要領書番号~~

※3：以下の箇所について確認

5リフト（詳細は別紙参照）

※4：申請者が適用した基準に対して満足していることを確認

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

~~一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター~~

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|------|--|--------------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 | 円筒部 | 鉄筋コンクリート※1 (密度 2.1g/cm ³ 以上) | 令和 3 年 12 月 1 日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| | | | 令和 3 年 12 月 / 日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| | ドーム部 | | 年 月 日 | | 目視/ 記録確認 |

備考

※1：鉄筋コンクリートに要求される品質を満たしていること確認するために以下の項目について確認

- セメント、骨材、練混ぜ水、混和剤、混和材、
- フレッシュコンクリートの性状、構造体コンクリートの圧縮強度、
- アルカリシリカ反応性、
- 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量
確認した密度の最小値 (2.2 g/cm³)、
- 鉄筋
- あと施工アンカー

・記録確認は、申請者の品質記録 (※2) による。

※2：適合性確認検査成績書の要領書番号：T2-1-1302 (4の1)
T2-1-1302 (4の2)
~~T2-1-1302 (4の3)~~

※3：以下の箇所について確認

すべての工区及びリフトについて確認
ただし、円筒部上部6工区 リフト および 円筒部下部7工区7リフトの
目視及び記録確認の範囲を除く

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

~~一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター~~

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|------|--|-----------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 | 円筒部 | 鉄筋コンクリート※1 (密度 2.1g/cm ³ 以上) | 年 | | 目視/ 記録確認 |
| | | | 月 日 | | 目視/ 記録確認 |
| | ドーム部 | | 令和 3年 12月 1日 | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考

※1：鉄筋コンクリートに要求される品質を満たしていること確認するために以下の

項目について確認

- セメント、骨材、練混ぜ水、混和剤、混和材、
- フレッシュコンクリートの性状、構造体コンクリートの圧縮強度、
- アルカリシリカ反応性、
- 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量
確認した密度の最小値 (2.2 g/cm³)、
- 鉄筋
- あと施工アンカー

・記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。

※2：適合性確認検査成績書の要領書番号：~~〒2-1-1302 (Yの1)~~
〒2-1-1302 (Yの2)
~~〒2-1-1302 (Yの3)~~

※3：以下の箇所について確認

おびのリフトについて確認
ただし、リフトの目視及び記録確認の範囲を除く

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※5} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|-----|---------------------------------------|-------------|--------------------------|------------|-------------------|------|------------|
| 外部遮蔽 ^{※1} | 円筒部 | 上部 ^{※3} ^{※7} 最小厚さ | | | — | 令和元 年 5月16日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋 ^{※1} (2次格納施設) | 胴壁厚 | 円筒部 (上部 ^{※3}) ^{※7} | | | | | | |

備考

※1：検査において確認した項目は以下のとおり^{※8}

- 鉄筋の組立精度、あと施工アンカーの組立て精度、型枠の組立精度、
- 寸法（検査用ボルトの寸法： m）^{※2}

※2：立会検査において測定を実施した場合に記載 ※3：外部遮蔽円筒部のE.L. mを超える部分

※4：公称値 ※5：許容値は工事計画による

・記録確認は、申請者の品質記録（※6）による。

※6 ~~適合性確認検査成績書の要領書番号~~：

※7：以下の箇所について確認

6工区3リフト（詳細は別紙参照）

※8：申請者が適用した基準に対して満足していることを確認

4546

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※5} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|-----|---------------------------------------|-------------|--------------------------|------------|---------------|------|------------|
| 外部遮蔽 ^{※1} | 円筒部 | 上部 ^{※3} ^{※7} | 最小厚さ | | — | 令和元年 5月27日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋 ^{※1} (2次格納施設) | 胴壁厚 | 円筒部 (上部 ^{※3}) ^{※7} | | | | | | |

備考

※1：検査において確認した項目は以下のとおり^{※8}

- 鉄筋の組立精度、あと施工アンカーの組立て精度、型枠の組立精度、
寸法（検査用ボルトの寸法：_____m）^{※2}

※2：立会検査において測定を実施した場合に記載 ※3：外部遮蔽円筒部の E.L. m を超える部分

※4：公称値 ※5：許容値は工事計画による

~~記録確認は、申請者の品質記録（※6）による。~~

~~※6：適合性確認検査成績書の要領書番号：~~

※7：以下の箇所について確認
6工区3リフト(詳細は別紙参照)

※8：申請者が適用した基準に対し満足していることを確認

#5 x 7

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※5} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|-----|--------------------------------------|-------------|--------------------------|------------|---------------|------|------------|
| 外部遮蔽 ^{※1} | 円筒部 | 上部 ^{※3} ^{※7} | 最小厚さ | | | 令和元年 9月11日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋 ^{※1} (2次格納施設) | 胴壁厚 | 円筒部(上部 ^{※3}) ^{※7} | | | | | | |

備考

※1：検査において確認した項目は以下のとおり^{※8}

~~目鉄筋の組立精度、目あと施工アンカーの組立精度、目型枠の組立精度、~~

目寸法（検査用ボルトの寸法： m）^{※2}

※2：立会検査において測定を実施した場合に記載 ※3：外部遮蔽円筒部の E.L. mm を超える部分

※4：公称値 ※5：許容値は工事計画による

~~記録確認は、申請者の品質記録（※6）による。~~

~~※6：適合性確認検査成績書の要領書番号~~

※7：以下の箇所について確認
6IE3リフト（詳細は別紙参照）

※8：申請書が適用した基準に対して満足していることを確認。

48

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※5} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|-----|------------------------------|------|-------------|--------------------------|------------|---------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 ^{※1} | 円筒部 | 上部 ^{※3} ※7 | 最小厚さ | | | — | 令和3年 12月1日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋 ^{※1} (2次格納施設) | 胴壁厚 | 円筒部(上部 ^{※3}) ※7 | | | | | | | |

備考

※1：検査において確認した項目は以下のとおり

鉄筋の組立精度、あと施工アンカーの組立て精度、型枠の組立精度、

寸法（検査用ボルトの寸法：_____m）^{※2}

※2：立会検査において測定を実施した場合に記載 ※3：外部遮蔽円筒部のE.L. mmを超える部分

※4：公称値 ※5：許容値は工事計画による

・記録確認は、申請者の品質記録（※6）による。

※6：適合性確認検査成績書の要領書番号：T2-1-1302(Y01), T2-1-1302(Y02), ~~T2-1-1302(Y03)~~

※7：以下の箇所について確認

すべての工区及びリフトについて確認

ただし、6工区3リフトの目視及び記録確認の範囲を除く

#49

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※5} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|-----|--------------------------------------|-------------|--------------------------|------------|--------------|----------|--------------|
| 外部遮蔽 ^{※1} | 円筒部 | 下部 ^{※3} ^{※7} | 最小厚さ | | — | 令和元年 7月5日 | 良 | (目視) 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋 ^{※1} (2次格納施設) | 胴壁厚 | 円筒部(下部 ^{※3}) ^{※7} | | | — | 令和元年 7月5日 | 良 | (目視) 記録確認 |

備考

※1：検査において確認した項目は以下のとおり^{※8}

鉄筋の組立精度、あと施工アンカーの組立て精度、~~□型枠の組立精度、
□寸法(検査用ボルトの寸法)~~^{※2}

※2：立会検査において測定を実施した場合に記載 ※3：外部遮蔽円筒部の E.L. ■■■■ m 以下の部分

※4：公称値 ※5：許容値は工事計画による

~~記録確認は、申請者の品質記録(※6)による。~~

~~※6：適合性確認検査成績書の要領書番号~~

※7：以下の箇所について確認

7工区クリフト(詳細は別紙参照)

※8：申請者が適用した基準に対して満足していることを確認

4950

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※5} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|-----|--------------------------------------|-------------|--------------------------|------------|---------------|------|------------|
| 外部遮蔽 ^{※1} | 円筒部 | 下部 ^{※3} ^{※7} | 最小厚さ | | — | 令和元年 7月23日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋 ^{※1} (2次格納施設) | 胴壁厚 | 円筒部(下部 ^{※3}) ^{※7} | | | | | | |

備考

- ※1：検査において確認した項目は以下のとおり^{※8}
鉄筋の組立精度、あと施工アンカーの組立て精度、型枠の組立精度、
寸法（検査用ボルトの寸法：_____m）^{※2}
 ※2：立会検査において測定を実施した場合に記載 ※3：外部遮蔽円筒部の E.L. _____m 以下の部分
 ※4：公称値 ※5：許容値は工事計画による

~~記録確認は、申請者の品質記録（※6）による。~~

~~※6 適合性確認検査成績書の要領書番号~~

※7：以下の箇所について確認

クエ区クリフト(詳細は別紙参照)

※8：申請者が適用した基準に対して満足していることを確認

4051

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※5} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|-----|--------------------------------------|------|-------------|--------------------------|------------|--------------|------|------------|
| 外部遮蔽 ^{※1} | 円筒部 | 下部 ^{※3} ^{※7} | 最小厚さ | | | | 令和元年 8月9日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋 ^{※1} (2次格納施設) | 胴壁厚 | 円筒部(下部 ^{※3}) ^{※7} | | | | | | | |

備考

※1：検査において確認した項目は以下のとおり^{※8}

□鉄筋の組立精度、□あと施工アンカーの組立て精度、□型枠の組立精度、

□寸法（検査用ボルトの寸法：_____m）^{※2}

※2：立会検査において測定を実施した場合に記載 ※3：外部遮蔽円筒部の E.L. ■■■■m 以下の部分

※4：公称値 ※5：許容値は工事計画による

・記録確認は、申請者の品質記録（※6）による。

※6：~~適合性確認検査成績書の要領書番号~~

※7：以下の箇所について確認

7E区 アリフト（詳細は別紙参照）

※8：申請者が適用した基準に対して満足していることを確認

52

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※5} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|-----|------------------------------|-------------|--------------------------|------------|---------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 ^{※1} | 円筒部 | 下部 ^{※3} ※7 | 最小厚さ | | — | 令和3年 12月1日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋 ^{※1} (2次格納施設) | 胴壁厚 | 円筒部(下部 ^{※3}) ※7 | | | | | | |

備考

※1：検査において確認した項目は以下のとおり

- 鉄筋の組立精度、あと施工アンカーの組立て精度、型枠の組立精度、寸法（検査用ボルトの寸法： m）^{※2}

※2：立会検査において測定を実施した場合に記載 ※3：外部遮蔽円筒部の E.L. m 以下の部分

※4：公称値 ※5：許容値は工事計画による

・記録確認は、申請者の品質記録（※6）による。

※6：適合性確認検査成績書の要領書番号：T2-1-1302(4の1)、~~T2-1-1302(4の2)~~、~~T2-1-1302(4の3)~~

※7：以下の箇所について確認

すべて7区及びリフトについて確認

ただし、7区のリフトの目視及び記録確認の範囲を除く

お53

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※4} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|----------------------|-------------|--------------------------|------------|----------------|------|------------|
| 外部遮蔽 ^{※1} | ドーム部 ^{※6} | 最小厚さ | | — | 令和元年 11月18日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋 ^{※1} (2次格納施設) | ドーム部厚さ ^{※6} | | | | | | |

備考

※1：検査において確認した項目は以下のとおり^{※7}

鉄筋の組立精度、型枠の組立精度、寸法（検査用ボルトの寸法： m）^{※2}

※2：立会検査において測定を実施した場合に記載

※3：公称値 ※4：許容値は工事計画による

・記録確認は、申請者の品質記録（※5）による。

※5：適合性確認検査成績書の要領書番号：T2-1-1302(4の2)

※6：以下の箇所について確認
5リフト(詳細は別紙参照)

※7：申請者が適用した基準に対して満足していることを確認

53 54

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※4} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|-------------------------|-------------|--------------------------|------------|---------------|------|------------|
| 外部遮蔽 ^{※1} | ドーム部 ^{※6} 最小厚さ | | | — | 令和元年 12月9日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋 ^{※1} (2次格納施設) | ドーム部厚さ ^{※6} | | | | | | |

備考

※1：検査において確認した項目は以下のとおり

☑鉄筋の組立精度、☑型枠の組立精度、□寸法（検査用ボルトの寸法：_____m）^{※2}

※2：立会検査において測定を実施した場合に記載

※3：公称値 ※4：許容値は工事計画による

~~記録確認は、申請者の品質記録（※5）による。~~

~~※5：適合性確認検査成績書の要領書番号：~~

※6：以下の箇所について確認

5リフト（詳細は別紙参照）

※7：申請者が適用した基準に対して満足していることを確認。

54
55

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※4} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|--------|------|-------------|--------------------------|------------|---------------|------|------------|
| 外部遮蔽 ^{※1} | ドーム部 | 最小厚さ | | | | 令和2年 6月23日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋 ^{※1} (2次格納施設) | ドーム部厚さ | | | | | | | |

備考

※1：検査において確認した項目は以下のとおり^{※8}

鉄筋の組立精度、型枠の組立精度、寸法（検査用ボルトの寸法：m）^{※2}

※2：立会検査において測定を実施した場合に記載

※3：公称値 ※4：許容値は工事計画による

・記録確認は、申請者の品質記録（※5）による。

~~※5：適合性確認検査成績書の要領書番号~~

※6：以下の箇所について確認

5リフト（詳細は別紙参照）

※7：最小値

※8：申請者が適用した基準に対して満足していることを確認

56

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※4} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------------------------|-------------------------|-------------|--------------------------|------------|---------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 ^{※1} | ドーム部 _{※6} | 最小厚さ | | — | 令和3年 12月1日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋 ^{※1} (2次格納施設) | ドーム部厚さ _{※6} | | | | | | |

備考

※1：検査において確認した項目は以下のとおり

鉄筋の組立精度、型枠の組立精度、寸法（検査用ボルトの寸法：— m）^{※2}

※2：立会検査において測定を実施した場合に記載

※3：公称値 ※4：許容値は工事計画による

・記録確認は、申請者の品質記録（※5）による。

※5：適合性確認検査成績書の要領書番号：~~72-1-1302(401)~~, 72-1-1302(402), ~~72-1-1302(403)~~

※6：以下の箇所について確認

おべりのリフトについて確認

ただし5リフトの目視及び記録確認の範囲を除く

57

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※5} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 | |
|----------------------|------|------------------------|--------------------------|------------|-------|--------------|-------------|-------------|
| 外部しゃへい建屋 (2次格納施設) | 内径 | 円筒部（上部 ^{※1} ） | ■■■■ | ■■■■ | 年 | | 目視/ 記録確認 | |
| | | 円筒部（下部 ^{※2} ） | | | 月 日 | | 目視/ 記録確認 | |
| | 胴壁高さ | | | | 年 | 令和2年 6月2日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| | 全高 | | | | 月 日 | | | 目視/ 記録確認 |

57 58

備考

※1：外部遮蔽円筒部の E.L. ■■■■ m を超える部分 ※2：外部遮蔽円筒部の E.L. ■■■■ m 以下の部分 ※3：公称値

※4：E.L. ■■■■ m から ※5：許容値はメーカー基準値による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※6）による。

※6：適合性確認検査成績書の要領書番号：T2-1-1302 (その3)

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 (m) | 許容値 ^{※5} (m) | 測定値 (m) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 | |
|----------------------|------|------------------------|--------------------------|------------|-----------------|------|-------------|-------------|
| 外部しゃへい建屋 (2次格納施設) | 内径 | 円筒部（上部 ^{※1} ） | ■■■■ | — | 令和3年 12月 / 日 | 良 | 目視/ 記録確認 | |
| | | 円筒部（下部 ^{※2} ） | | — | 令和3年 12月 / 日 | 良 | 目視/ 記録確認 | |
| | 胴壁高さ | | | | | 年 | | 目視/ 記録確認 |
| | 全高 | | | | | 年 | | 目視/ 記録確認 |

備考

※1：外部遮蔽円筒部の E.L. ■■■■ m を超える部分 ※2：外部遮蔽円筒部の E.L. ■■■■ m 以下の部分 ※3：公称値

※4：E.L. ■■■■ m から ※5：許容値はメーカー基準値による

・記録確認は、申請者の品質記録（※6）による。

※6：適合性確認検査成績書の要領書番号： T2-1-1302 (4の3)

5859

| 高浜発電所第2号機 | | | |
|--|--------------|------|------------|
| 外観検査記録 | | | |
| 検査場所：関西電力株式会社高浜発電所 | | | |
| 検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式 原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式 | | | |
| 判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。 | | | |
| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
| 外部遮蔽 ^{※2} | 令和元年 8月9日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋（2次格納施設） ^{※2} | | | |
| 備考 | | | |
| ・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。 | | | |
| ※1：適合性確認検査成績書の要領書番号 | | | |
| ※2：以下の箇所について確認 下部 W区 クリフト（詳細は別紙参照） | | | |

| 高浜発電所第2号機 | | | |
|--|---------------|------|------------|
| 外観検査記録 | | | |
| 検査場所：関西電力株式会社高浜発電所 | | | |
| 検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式 原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式 | | | |
| 判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。 | | | |
| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
| 外部遮蔽 ^{※2} | 令和元年 9月11日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋（2次格納施設） ^{※2} | | | |
| 備考 | | | |
| 記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。 | | | |
| ※1 適合性確認検査成績書の要領書番号 | | | |
| ※2：以下の箇所について確認 上部 6I区 3リフト（詳細は別紙参照） | | | |

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------|---------------|------|------------|
| 外部遮蔽 | 令和2年 6月23日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋（2次格納施設） | | | |

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。~~

~~※1：適合性確認検査成績書の要領書番号~~

※2：以下の箇所について確認

ドーム部5リフト（詳細は別紙参照）

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------|---------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 | 令和3年 12月2日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋（2次格納施設） | | | |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の要領書番号： T2-1-1302 (4の1)

※2：以下の箇所について確認

T2-1-1302 (4の2)

すべてのI区及びリフトについて確認
ただし、下記に示す範囲を除く

- ・上部：6I区リフト
- ・下部：7I区リフト
- ・ドーム部：5リフト

高浜発電所第2号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：放射線管理施設 生体遮蔽装置 外部遮蔽：一式

原子炉格納施設 二次格納施設 鋼製格納容器 外周コンクリート壁 外部しゃへい建屋（2次格納施設）：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------|---------------|------|-------------|
| 外部遮蔽 | 令和3年 12月2日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 外部しゃへい建屋（2次格納施設） | | | |

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。~~~~※1：適合性確認検査成績書の要領書番号~~

※2：以下の箇所について確認

全ての工区及びリフトについて確認

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和 元年 5月 16日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|--------|------|------|------|----------------------|----|
| 寸法検査 | コンベックス | | | | 2018.8.6 2020.8.5 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年5月27、28日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|-------------|------------|------------|------------|----------------------------|----|
| 材料検査 | コンベックス | [REDACTED] | [REDACTED] | [REDACTED] | 2018. 8. 6 2020. 8. 5 | |
| | エアメータ | | | | 2019. 4. 9 2019. 7. 31 | |
| | 温度計 | | | | 2019. 1. 21 2020. 1. 31 | |
| | 塩化物量 測定器 | | | | — 2020. 11. 30 | |
| | 音叉式はかり | | | | 2018. 6. 16 2019. 6. 30 | |
| 寸法検査 | コンベックス | [REDACTED] | [REDACTED] | [REDACTED] | 2018. 8. 6 2020. 8. 5 | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覽表

検査年月日：令和元年6月25日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|-------|------------|------------|------------|------------------------|----|
| 材料検査 | 圧縮試験機 | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | 2019.2.15 2020.2.29 | |
| 材料検査 | ノギス | | | | 2019.2.15 2020.2.29 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年 7 月 5 日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|--------|------|------|------|----------------------|----|
| 寸法検査 | コンベックス | | | | 2018.8.6 2020.8.5 | |
| 以下余白 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年7月23、24日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|-------------|------|------|------|----------------------------|----|
| 材料検査 | コンベックス | | | | 2018. 8. 6 2020. 8. 5 | |
| | エアメータ | | | | 2019. 7. 8 2019. 10. 31 | |
| | 温度計 | | | | 2019. 1. 21 2020. 1. 31 | |
| | 塩化物量 測定器 | | | | — 2021. 2. 28 | |
| | 音叉式はかり | | | | 2019. 6. 15 2020. 6. 30 | |
| 寸法検査 | コンベックス | | | | 2018. 8. 6 2020. 8. 5 | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年 8 月 9 日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|--------|------|------|------|------------------------|--------------|
| 寸法検査 | コンベックス | | | | 2018年8月6日 2020年8月5日 | L:測定長 (m) |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年 8月21日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|-------|------|------|------|---------------|----|
| 材料検査 | 圧縮試験機 | | | | 2019年2月15日 | |
| 材料検査 | ノズル | | | | 2020年2月29日 | |
| | | | | | 2019年2月15日 | |
| | | | | | 2020年2月29日 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年12月9日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|--------|------|------|------|--------------------------|----|
| 寸法検査 | コンベックス | | | | 2018. 8. 6 2020. 8. 5 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年12月10日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|-------------|------|------|------|----------------------------|----|
| 材料検査 | コンベックス | | | | 2018. 8. 6 2020. 8. 5 | |
| | エアメータ | | | | 2019. 10. 5 2020. 1. 31 | |
| | 温度計 | | | | 2019. 1. 21 2020. 1. 31 | |
| | 塩化物量 測定器 | | | | — 2021. 6. 末 | |
| | 音叉式はかり | | | | 2019. 6. 15 2020. 6. 30 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和2年 1 月 7 日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|-------|------------|------------|------------|---------------|----|
| 材料検査 | 圧縮試験機 | [REDACTED] | [REDACTED] | [REDACTED] | 2019.2.15 | |
| | | | | | 2020.2.29 | |
| 材料検査 | ノギス | [REDACTED] | [REDACTED] | [REDACTED] | 2019.2.15 | |
| | | | | | 2020.2.29 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和2年6月2日

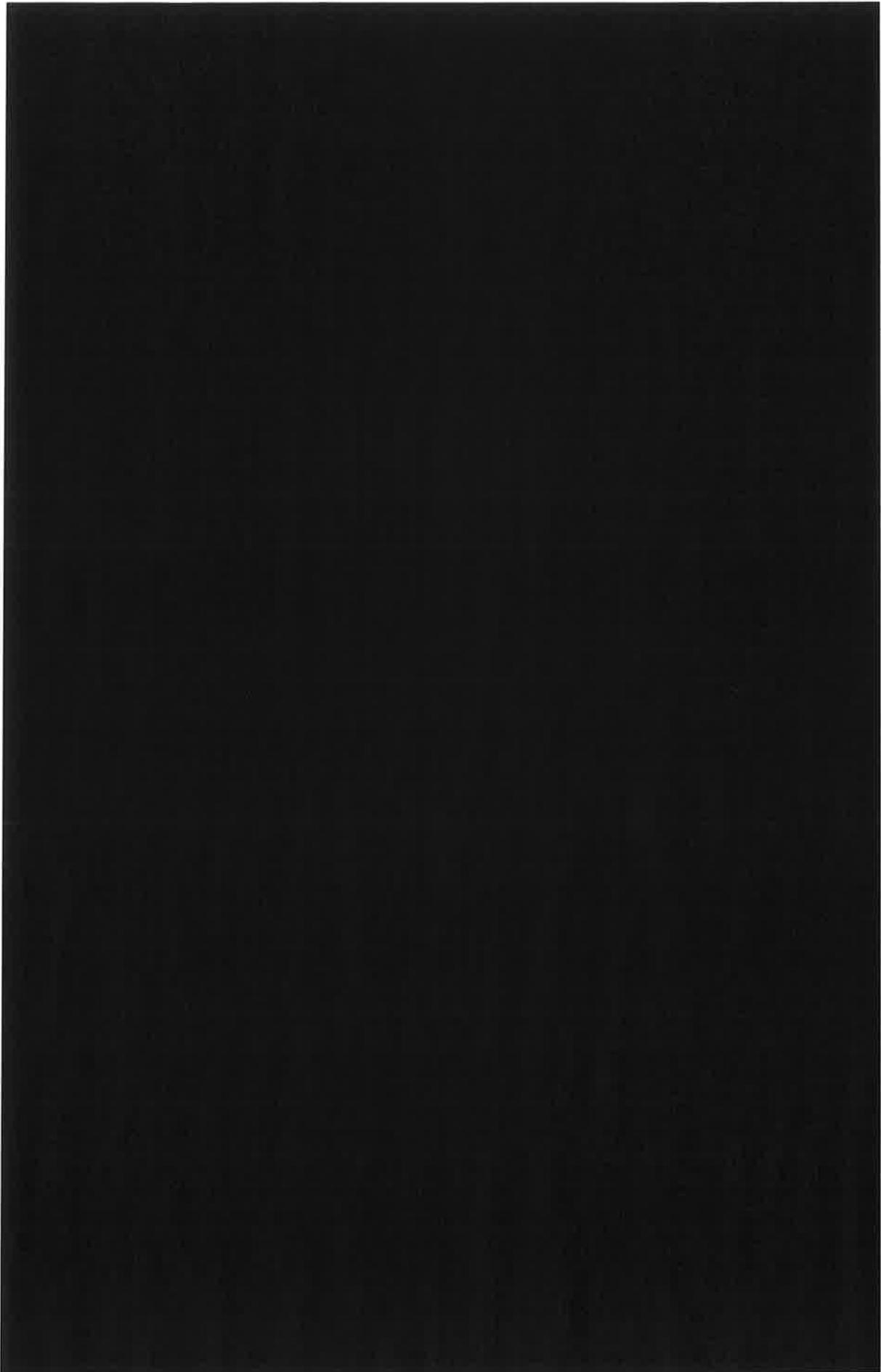
| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|------------|------|------|------|----------------------------|----|
| 寸法検査 | コンベックス | | | | 2018. 8. 6 2020. 8. 5 | |
| 寸法検査 | トータルステーション | | | | 2020. 1. 15 2021. 1. 14 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

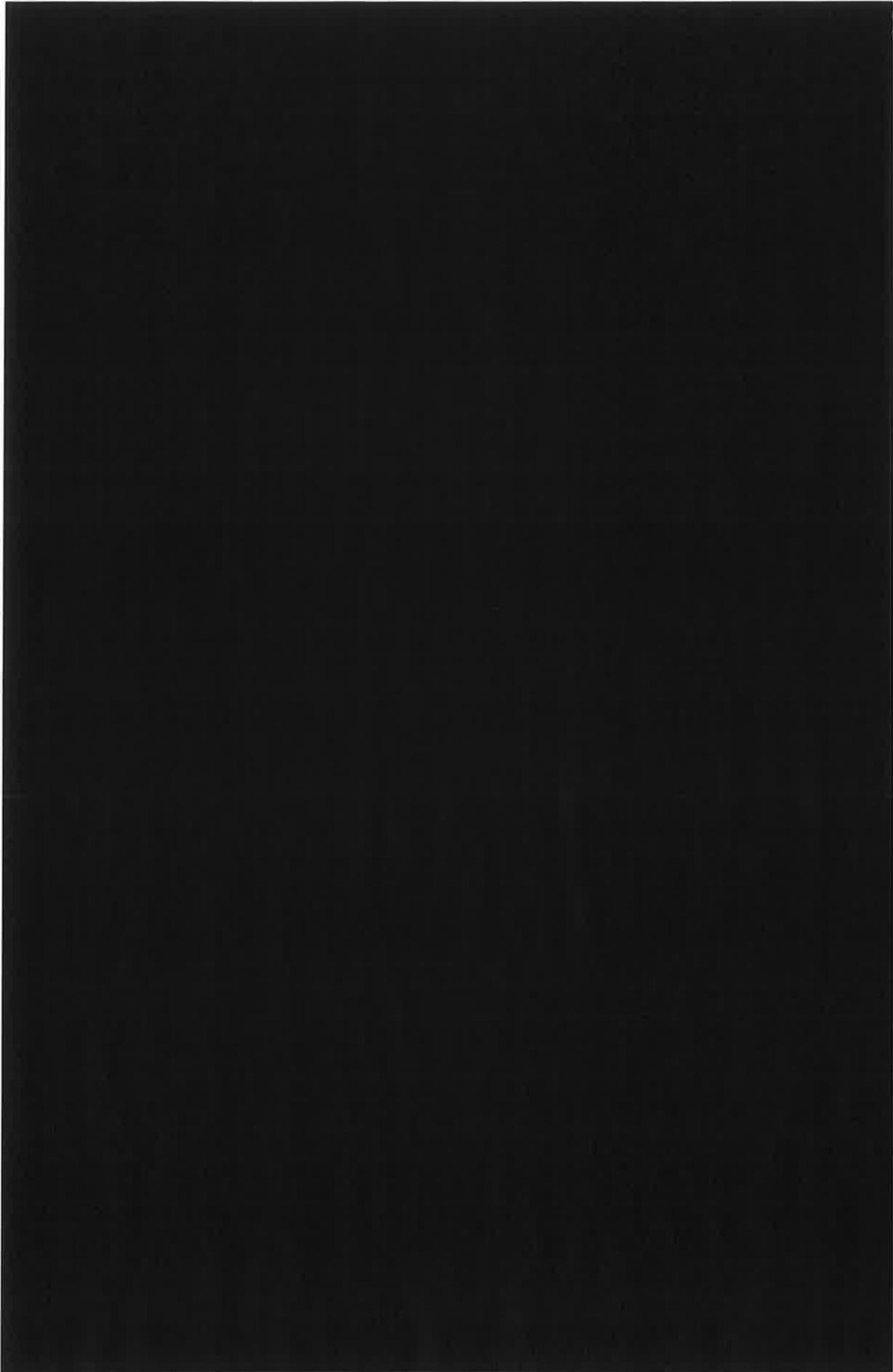
高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和2年6月23日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|--------|------|------|------|--------------------------|----|
| 寸法検査 | コンベックス | | | | 2018. 8. 6 2020. 8. 5 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |





別紙

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：2-13

令和 3 年 6 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-13

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 3 年 6 月 22 日
至 令和 3 年 6 月 22 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第23号(2020年4月7日) 関原発第23号(2021年4月30日) |
|--------------------|---|
|--------------------|---|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-13

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|---------------|------|--------|--|------|
| 令和3年 6月22日 | 良 | 福富 晋一 | ボイラー-タービン 主任技術者  | なし |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：2-13

検査年月日：令和 5 年 6 月 22 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | 良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-13

検査年月日：令和 3 年 6 月 22 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|-------------|------|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | ◎良・— | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-13

検査年月日：令和 3 年 6 月 22 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象 | | | |
|---|--|--|---|
| 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 主要弁 別添1に示す範囲 | | | |
| 検査項目 | 判定基準 | 検査結果 | 検査方法 |
| 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 | 設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">目視</div> 記録確認 |
| 備考 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0107 ・目視で確認した範囲：添付資料 3-3 参照 | | | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(一号検査)
(立会検査)

成績書管理番号：2-13

検査年月日：令和3年6月22日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

| 検査対象設備名 | 項目 | 測定値等 | 検査結果 | 検査方法 |
|--------------------|-----------------------------------|------|------|------|
| 主要弁 (2VS-56A、B) | 外観検査 組立て及び据付け 状態を確認する検 査 | - | 良 | 目視 |
| 備考 | | | | |

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

（4）放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る次の事項

リ 主要弁の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、駆動方法、個数及び取付箇所
・常設

| | | 変更前 | | 変更後 | | |
|--------------|--------------------------------|------------------|--|--|--|--|
| 名 称 | | 2VS-56A、B (注1,2) | | 変更なし | | |
| 種 類 | — | 止め弁 (注3) | | | | |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 0.015 (注3) | | | | |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 115 (注3) | | | | |
| 主 要 寸 法 | 呼 び 径 (注4) | — | 20B (注5) | | | |
| | 弁 箱 厚 さ | mm | [Redacted] | | | |
| | 弁 ふ た 厚 さ | mm | | | | |
| 材 料 | 弁 箱 | — | ASTM A352LCB (SCPL1相当) | | | |
| | 弁 ふ た | — | — | | | |
| 駆 動 方 法 (注8) | | — | 空気作動 | | | |
| 個 数 | | — | 2 (注9) | | | |
| 取 付 箇 所 | 系 統 名 (ラ イ ン 名) | — | 2VS-56A (注10) Aアニュラス循環排気ファン 入口ライン | 2VS-56B (注10) Bアニュラス循環排気ファン 入口ライン | | |
| | 設 置 床 | — | [Redacted] | | | |
| | 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 | — | | | | |
| | 溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ | — | | | | |

: 検査対象範囲

6

- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には、放射線管理設備のうち換気設備に記載
- (注2) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「自動バタフライ弁」と記載
- (注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「口径」と記載
- (注5) 記載の適正化を行う。既工事計画書には XXXXXXXXXX と記載
- (注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、計測結果による。
- (注7) 公称値
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「駆動方式」と記載
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「4個（予備2個）」と記載
- (注10) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

10/E

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：2-14

令和 3 年 6 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-14

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年3月23日
至 令和3年6月22日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| | |
|--------------------|---|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第 47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第 4号(平成31年4月4日) 関原発第 69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第 23号(2020年4月 7日) 関原発第 23号(2021年4月30日) |
|--------------------|---|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-14

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力 施設 検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|---------------|------|-------------------------|--|------|
| 令和3年 3月23日 | 良 | 原子力検査官 須貝 実 | ボイラー-タービン 主任技術者  | なし |

ω

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：2-14

検査年月日：令和3年3月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-14

検査年月日：令和3年 3月 23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|-------------|------|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | ◎良・一 | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会 ◎記録確認 | ◎良・一 | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-14

検査年月日：令和3年3月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象 | | | |
|--|--|------|-------------|
| 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 主配管 別添1に示す範囲 | | | |
| 検査項目 | 判定基準 | 検査結果 | 検査方法 |
| 材料検査 寸法検査 耐圧検査、 漏えい検査 | 設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 | 目視 記録確認* |
| 備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0107 * 検査対象のうち目視で確認した範囲を除く範囲について確認 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 | | | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：2-14

検査年月日：令和3年 3月 23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象設備名 | 項目 | 測定値等 | 検査結果 | 検査方法 |
|----------------------------------|----------------|-------|------|------------------|
| アニュー 出口取合点 ～ 排気筒 取合点 | 耐圧検査、 漏えい検査 | 別紙2参照 | 良 | 目視 ^{※1} |
| 備考 ※1：検査対象のうち別添2に示す範囲について確認 | | | | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：2-14

検査年月日：令和3年3月23日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|----------------|-------|------|------|------|----------------------------|----|
| 耐圧検査、 漏えい検査 | 圧力計 | | | | 2020. 10. 5 2023. 9. 14 | |
| 耐圧検査、 漏えい検査 | 圧力計 | | | | 2020. 10. 5 2023. 9. 14 | |
| 以下余白 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 最高使用 圧力 (MP a) | 耐圧検査 規定圧力 (MP a) | 耐圧検査時 圧力 (MP a) | 保持 時間 (分) | 漏えい検査時 圧力 (MP a) | 水圧 気圧 区分 |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|------------------------|----------------|
| 0.035 ^{*1} | 0.035 | 0.0357 | 11 | 0.0356 | 気圧 |
| 備考 ※1：重大事故等時における使用時の値 | | | | | |

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

(4) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る次の事項

10

ヌ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|--|---------------------|--------------------|-------------------------|-------------|------|--|---------------------|--------------------|-------------|-------------|--------|
| 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | 名称 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| 可燃性ガス 放射 放射性物質濃度 制御設備並びに 格納容器再循環 設備 | 0.015 | 115 | (注2) 406 | (注2) 1.6 | SS41 | 可燃性ガス 放射 放射性物質濃度 制御設備並びに 格納容器再循環 設備 | 0.00245 (注3) | 125 (注3) | 508 (注2) | 3.0 (注2) | SUS304 |
| | | | (注2) 450 × 450 | (注2) 2.3 | SS41 | | | | | | |
| | | | (注2) 508 | (注2) 2.3 | SS41 | | | | | | |
| (注1) アニュラス 出口取合点 ～ 排気筒 取合点 | | | | | | 変更なし | 変更なし | | | | |

: 検査対象範囲

12

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | |
|-----------------------------------|-------|-------|--------|--------|------|------|-------|------|------|------|------|--------|
| 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 | 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 | |
| | 圧力 | 温度 | | | | | 圧力 | 温度 | | | | |
| | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | | | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | | |
| 可燃性ガス 放射性物質濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 | (注1) | 0.015 | 115 | (注2) | (注2) | 変更なし | 0.035 | 125 | (注2) | (注2) | 変更なし | |
| | | | | 508 | 2.3 | | | | 508 | 3.0 | | SUS304 |
| | | | | (注2) | (注2) | | | | (注3) | (注3) | | |
| アニュラス 出口取合点 ～ 排気筒 取合点 | | | 500 | (注2) | SS41 | | | | | | | |
| | | | 500 | 2.3 | SS41 | | | | | | | |
| | | | (注2,4) | (注2,4) | SS41 | | | | | | | |
| | | | 500 | 2.3 | | | | | | | | |
| | | | 500 | 2.3 | | | | | | | | |
| | | | 508 | | | | | | | | | |

: 検査対象範囲

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注2) 公称値

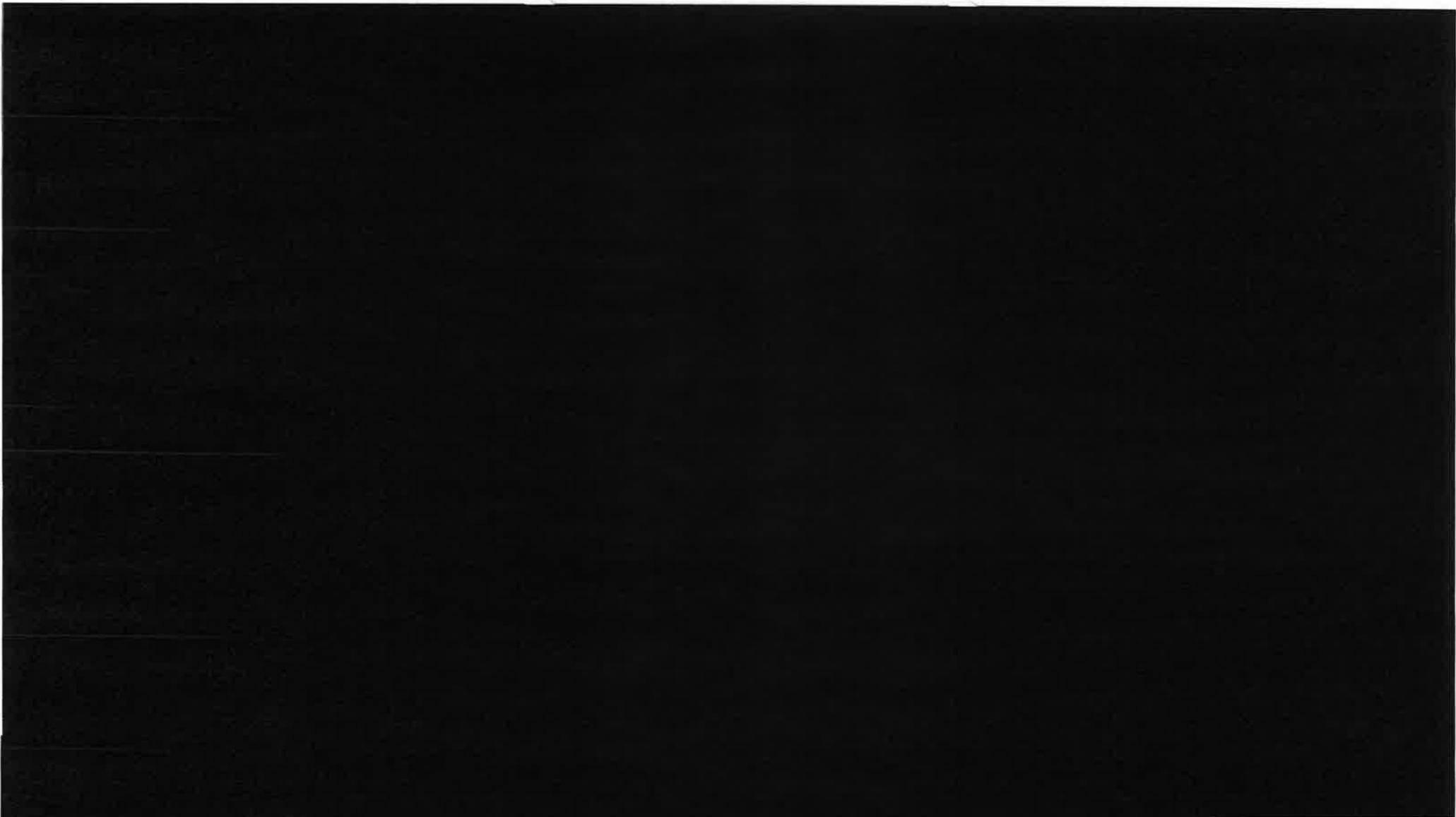
(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 入口と出口の口径が異なる管である。

(注5) 本設備は既存の設備である。

13

カ



| | |
|---|----------|
| 工事計画認可申請 | 第7-1-42図 |
| 高浜発電所第2号機 | |
| 原子炉格納施設に係る機器の 配置を明示した図面 (圧力低減設備その他の安全設備 (放射性物質濃度制御設備及び 可燃性ガス濃度制御設備並びに 格納容器再循環設備))(1/6) | |
| 関西電力株式会社 | |

令和3年3月23日
別添2

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-14

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|---------------|------|--------|--|------|
| 令和3年 6月22日 | 良 | 福富 晋一 | ボイラー-タービン 主任技術者  | なし |

15

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：2-14

検査年月日：令和 3 年 6 月 22 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ⓪良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ⓪良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ⓪良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-14

検査年月日：令和 3 年 6 月 22 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|-------------|------|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | ◎良・一 | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ 記録確認 | ◎良・一 | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-14

検査年月日：令和3年6月22日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象 | | | |
|---|--|--|--|
| 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 主配管 別添1に示す範囲 | | | |
| 検査項目 | 判定基準 | 検査結果 | 検査方法 |
| 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 | 設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 | 目視 記録確認 |
| 備考 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0107 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 | | | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：2-14

検査年月日：令和 3 年 6 月 22 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象設備名 | 項目 | 測定値等 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------------------------------|---------------------------|------|------|------|
| アニュラス 出口取合点 ～ 排気筒 取合点 | 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 | — | 良 | 目視 |
| 備考 | | | | |

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

（4）放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る次の事項

20

ヌ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料
・常設

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|--|-------------|-----------|------------------|-------------|------|--|---------------------|-------------------------|-------------|-------------|--------|
| 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 | 名称 | 最高使用 | 最高使用 | 外径 | 厚さ | 材料 |
| | 圧力 (MPa) | 温度 (℃) | | | | | 圧力 (MPa) | 温度 (℃) | | | |
| 可燃性ガス 濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 放射線物質濃度制御設備及び | 0.015 | 115 | (注2) 406 | (注2) 1.6 | SS41 | 可燃性ガス 濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 放射線物質濃度制御設備及び | 変更なし (注3) 125 | 変更なし (注3) 0.00245 | 変更なし | 変更なし | 変更なし |
| | | | (注2) 450 × | (注2) 2.3 | SS41 | | | | | | |
| | | | (注2) 508 | (注2) 2.3 | SS41 | | | | | | |
| アニュラス 出口取合点 ～ 排気筒 取合点 | | | (注2) 450 | (注2) 2.3 | SS41 | 変更なし | | | | | |
| | | | (注2) 508 | (注2) 2.3 | SS41 | | | | (注2) 508 | (注2) 3.0 | SUS304 |

 : 検査対象範囲

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | |
|-------------------------------------|-------|------|--------------------------------|--------------------|------|-------------------------------------|-----------------------|---------------------|-------------|-------------|--------|
| 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 | 名 称 | 最高使用 | 最高使用 | 外 径 | 厚 さ | 材 料 |
| | 圧 力 | 温 度 | | | | | 圧 力 | 温 度 | | | |
| | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | | | (MPa) | (°C) | (mm) | (mm) | |
| 可燃性ガス 放射線物質濃度制御設備及び 格納容器再循環設備 | 0.015 | 115 | (注2) 508 | (注2) 2.3 | SS41 | 可燃性ガス 放射線物質濃度制御設備及び 格納容器再循環設備 | 変更なし (注3) 0.035 | 変更なし (注3) 125 | 変更なし | | |
| | | | (注2) 500 × 500 | (注2) 2.3 | SS41 | | | | (注2) 508 | (注2) 3.0 | SUS304 |
| | | | (注2,4) 500 × 500 / | (注2,4) 2.3 / | SS41 | | | | 変更なし | | |
| | | | 508 | 2.3 | | | | | | | |

: 検査対象範囲

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注2) 公称値

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 入口と出口の口径が異なる管である。

(注5) 本設備は既存の設備である。

23/E

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1610072号99

成績書管理番号 : 2-15

令和2年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-15

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年9月2日
至 令和2年9月15日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| | |
|--------------------|--|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第 23号(2020年4月 7日) |
|--------------------|--|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-15

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|-------------------|------|------------|------------------------------|------|
| ω 令和2年 9月2日 | 良 | 山形英男 | ボラー・タービン 主任技術者 [Redacted] | なし |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：2-15

検査年月日：令和2年 9月 2日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良 | — |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良 | — |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良 | — |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-15

検査年月日：令和2年 9月 2日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|--------------|------|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良 - | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | ◎良 - | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | ◎良 - | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ ◎記録確認 | ◎良 - | |

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-15

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|---------------|------|------------|--|------|
| 令和2年 9月15日 | 良 | 山形英男 | ボイラー-7-ゼン 主任技術者  | なし |

7

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：2-15

検査年月日：令和2年 9月 15日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|-------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良◎ — | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良◎ — | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良◎ — | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-15

検査年月日：令和2年 9月 15日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|---------------|-------|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良◎ — | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | ◎良◎ — | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | ◎良◎ — | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ ◎記録確認◎ | ◎良◎ — | |

工事計画変更認可前（原規規発第1606105号）

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

1 原子炉格納容器に係る次の事項

(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部の名称又は貫通部番号、種類、個数、最高使用圧力、最高使用温度、構成、主要寸法及び材料

c 伸縮式配管貫通部

(次ページより記載)

//

12

| 変更前 | | | | | | | | | | 変更後 | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|----------------------|-----------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------|----------------------|------------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|------------|------------|-----------------------|-----------------------|------|
| 貫通部 番号 | 種類 | 個数 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 構 成 | 主要寸法 (mm) | | | 材 料 | 貫通部 番号 | 種類 | 個数 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 構 成 | 主要寸法 (mm) | | | 材 料 | | | |
| | | | | | | 外 径 | 長 さ | 厚 さ | | | | | | | | 外 径 | 長 さ | 厚 さ | | | | |
| 226 | 16B 貫通部 | 1 | 0.261 ⁽¹²²⁾ | 230 ⁽¹²²⁾ | スリーブ ⁽¹²²⁾ | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | 226 | 変更なし | 1 | 0.305 ^(75B) | 361 ⁽¹²²⁾ | 変更なし | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | | | |
| | | | | | 伸縮継手 ⁽¹²²⁾ | | | | | | | | | | | | | | | 変更なし ^(75B) | 変更なし ⁽¹²²⁾ | 変更なし |
| | | | | | 端 板 (スリーブ 取付) | | | | | | | | | | | | | | | 変更なし ^(75B) | 変更なし ⁽¹²²⁾ | |
| 端 板 (配管 取付) | 変更なし ^(75B) | 変更なし ⁽¹²²⁾ | 変更なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 7.48 ^(75B) | 230 ^(75B) | 貫通配管 | | | | | | | 8.0 ^(75B) | 351 ^(75B) | 貫通配管 | | | | | | | | |
| 250 351 | 16B 貫通部 | 2 | 0.261 ⁽¹²²⁾ | 230 ⁽¹²²⁾ | スリーブ ⁽¹²²⁾ | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | 250 351 | 変更なし | 2 | 0.305 ^(75B) | 351 ⁽¹²²⁾ | スリーブ | 同左 | [Redacted] | 同左 | [Redacted] | | | |
| | | | | | 伸縮継手 ⁽¹²²⁾ | | | | | | | | | | 変更なし ^(75B) | 変更なし ⁽¹²²⁾ | 伸縮継手 | [Redacted] | [Redacted] | | | |
| | | | | | 端 板 (スリーブ 取付) | | | | | | | | | | 変更なし ^(75B) | 変更なし ⁽¹²²⁾ | 端 板 (スリーブ 取付) | [Redacted] | [Redacted] | | | |
| | | | | | 端 板 (配管 取付) | | | | | | | | | | 変更なし ^(75B) | 変更なし ⁽¹²²⁾ | 端 板 (配管 取付) | [Redacted] | [Redacted] | | | |
| | | | 7.48 ^(75B) | 230 ^(75B) | 貫通配管 | | | | | | | 8.0 ^(75B) | 351 ^(75B) | 貫通配管 | | | | | | | | |

別添1 (2/7)
令和2年9月2日
令和2年9月15日

検査範囲

13

| 変更前 | | | | | | | | 変更後 | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|----|---------------------|-------------------|---------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------|-----|---------------------|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------|---------------------|
| 貫通部 番号 | 種類 | 個数 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 構 成 | 主要寸法 (mm) | | | 材 料 | 貫通部 番号 | 種類 | 個数 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (℃) | 構 成 | 主要寸法 (mm) | | | 材 料 | | |
| | | | | | | 外 径 | 長 さ | 厚 さ | | | | | | | | 外 径 | 長 さ | 厚 さ | | | |
| 225 251 | 30B 貫通部 | 2 | 0.261 | 122 | スリーブ | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | 225 251 | 変更なし | 2 | 0.305 | 変更なし | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | | |
| | | | | 291 | 伸縮継手 | | | | | | | | | 138 | | | | | | | |
| | | | | 291 | 端 板 (スリーブ 取付) | | | | | | | | | 変更なし | | | | | | 351 | |
| | | | | 291 | 端 板 (配管 取付) | | | | | | | | | 変更なし | | | | | | 351 | |
| | | | 7.48 | 291 | 貫通配管 | | | | | | | 8.0 | 351 | 貫通配管 | | | | | | | |
| 352 | 30B 貫通部 | 1 | 0.261 | 122 | スリーブ | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | 352 | 変更なし | 1 | 0.305 | 変更なし | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | | |
| | | | | 291 | 伸縮継手 | | | | | | | | | 138 | | | | | | スリーブ | 同左 |
| | | | | 291 | 端 板 (スリーブ 取付) | | | | | | | | | 変更なし | | | | | | 351 | 伸縮継手 |
| | | | | 291 | 端 板 (配管 取付) | | | | | | | | | 変更なし | | | | | | 351 | 端 板 (スリーブ 取付) |
| | | | 7.48 | 291 | 貫通配管 | | | | | | | 8.0 | 351 | 貫通配管 | | | | | | | |

検査範囲

別添1 (3/7)
 令和2年9月2日
 令和2年9月15日

- (注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- (注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用圧力の値
- (注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用温度の値
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には [REDACTED] と記載
- (注5) 公称値
- (注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ASTM A516 Gr. 70 A300及びSUS27HP」と記載
- (注8) 重大事故等時における使用時の値
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ペローズ」と記載
- (注10) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年10月26日47公第139号にて認可された工事計画書の添付資料12-1「安全注入再循環配管、内部スプレ再循環配管格納容器貫通部強度計算書（分割第7次申請分 資料8-1）」による。
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS304HP」と記載
- (注12) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち主蒸気・主給水設備と兼用
- (注13) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年10月26日47公第139号にて認可された工事計画書の添付資料12-2「主蒸気管格納容器貫通部強度計算書（分割第7次申請分 資料8-2）」による。
- (注14) SGV480相当
- (注15) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年10月26日47公第139号にて認可された工事計画書の添付資料12-3「主給水管格納容器貫通部強度計算書（分割第7次申請分 資料8-3）」による。
- (注16) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用

14

令和2年9月2日
令和2年9月15日

16

| 変更前 | | | | | | | | | | 変更後 | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|----|---------------------|--------------------|--------------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|---------------------|--------------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|
| 貫通部 番号 | 種類 | 個数 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 構成 | 主要寸法 (mm) | | | 材料 | 貫通部 番号 | 種類 | 個数 | 最高使用 圧力 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 構成 | 主要寸法 (mm) | | | 材料 | | |
| | | | | | | 外径 | 長さ | 厚さ | | | | | | | | 外径 | 長さ | 厚さ | | | |
| 250 351 | 16B 貫通部 | 2 | 0.261 0.305 | 122 | (注4) スリーブ | 伸縮継手 | [REDACTED] | [REDACTED] | [REDACTED] | [REDACTED] | [REDACTED] | [REDACTED] | 変更なし (注4) | 変更なし | 変更なし (注1) |
| | | | | 138 | | | | | | | | | | | | | | | 変更なし | 変更なし | 変更なし |
| | | | | 230 | 端板 (スリーブ 取付) | | | | | | | | | | | | | | 変更なし | 変更なし | 変更なし |
| | | | | 351 (注2) | 端板 (配管 取付) | | | | | | | | | | | | | | 変更なし (注4) | 変更なし (注5) | 変更なし (注10) |
| | | | | | 短管 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 7.48 8.0 | 230 351 | 貫通配管 | | | | | | | | | | | | | | | 変更なし (注1) | 変更なし (注1) |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 変更なし (注1) | 変更なし (注1) |

(注1) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち主蒸気・主給水設備と兼用
 (注2) 重大事故等時における使用時の値
 (注3) 公称値
 (注4) 平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書には「同左」と記載
 (注5) STPT42同等材(STPT410)への取替えを行う。
 (注6) 記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書には変更後に記載
 (注7) 平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書には [REDACTED] と記載
 (注8) 記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書の変更前の記載
 (注9) 平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書には [REDACTED] と記載
 (注10) 平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書には [REDACTED] と記載
 (注11) 平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書には [REDACTED] と記載

別添 I (6/7)
 令和2年9月2日
 令和2年9月15日

令和2年9月2日

令和2年9月15日

(注12) 同簿材への取替えを行う。
(注13) 平成28年6月10日付け原規規発第1666105号にて認可された既工事計両書には
と記載

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名 : 原子炉格納施設

系統名 : 原子炉格納容器

原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部
電気配線貫通部

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 2-16

令和2年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第321号（平成28年10月7日）
(以下、別紙1参照)
- 4 検査期日 自 平成29年9月21日
至 令和2年10月29日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
株式会社ベンカン機工大阪工場
兵庫県尼崎市西長洲町
三菱重工業株式会社神戸造船所
兵庫県神戸市兵庫区和田崎町
- 6 検査範囲 高浜発電所第2号機
発電用原子炉施設
原子炉格納施設
原子炉格納容器
原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部
電気配線貫通部 5個
- 7 検査結果 検査結果一覧表のとおり

3 検査申請

使用前検査申請番号

関原発第435号(平成30年 3月20日)
関原発第 47号(平成30年 4月20日)
関原発第203号(平成30年 7月 4日)
関原発第260号(平成30年 8月20日)
関原発第416号(平成30年12月 5日)
関原発第505号(平成31年 2月 1日)
関原発第513号(平成31年 2月 6日)
関原発第 4号(平成31年 4月 4日)
関原発第 69号(2019年 5月16日)
関原発第116号(2019年 6月24日)
関原発第205号(2019年 8月23日)
関原発第511号(2020年1月31日)
関原発第543号(2020年2月26日)
関原発第618号(2020年3月24日)
関原発第23号(2020年 4月 7日)

8 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 耐圧検査、漏えい検査記録
- 7 検査用計器一覧表

9 検査実施者

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 [*] | 検査立会責任者 印 [*] | 特記事項 |
|----------------|------------------------------|------------------------|------|
| 平成29年 9月21日 | 大和田 智 [印] (環境技官) 須貝 実 [印] | ボイラー・タービン 主任技術者 [印] | なし |
| 令和2年 1月17日 | 原子力検査官 増本 豊 [印] | ボイラー・タービン 主任技術者 [印] | なし |
| 令和2年 10月29日 | 原子力検査官 福田 晋一 | ボイラー・タービン 主任技術者 [印] | なし |

*: 令和2年10月1日より押印省略

ナ

検査結果一覧表

系統名：原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 電気配線貫通部

| 原子力施設検査官 印* (令和2年4月1日より原子力検査官) | | | | | | | 検査立会責任者 印 | 備考 |
|--------------------------------|----------------|----------------|----------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|------------|
| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け状態を確認する検査 | 耐圧検査、漏えい検査 | | | |
| 検査日 | 平成29年 9月21日 | 年 月 日 | 平成29年 9月21日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 平成29年 9月21日 | |
| 結果 | 良 | / | 良 | / | / | / | 杉本-タチ主任技術者 | |
| 印 | [Redacted] | / | [Redacted] | / | / | / | [Redacted] | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 令和2年 1月17日 | |
| 結果 | / | / | / | / | / | / | 良 | 杉本-タチ主任技術者 |
| 印 | / | / | / | / | / | / | [Redacted] | [Redacted] |
| 検査日 | 令和2年 10月29日 | 令和2年 10月29日 | 令和2年 10月29日 | 令和2年 10月29日 | 令和2年 10月29日 | 令和2年 10月29日 | 令和2年 10月29日 | |
| 結果 | 良 | 良 | 良 | 良 | 良 | 良 | 杉本-タチ主任技術者 | |
| 印* | 福富晋一 | 福富晋一 | 福富晋一 | 福富晋一 | 福富晋一 | 福富晋一 | 清水輝樹 | |

*: 令和2年10月1日より押印省略

5

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|----------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 令和2年 1月17日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。 | 記録確認 | 令和2年 1月17日 | 良 | |
| | | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 令和2年 1月17日 | 良 | |
| | | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成29年 9月21日 | 良 | |
| | | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成29年 9月21日 | 良 | |
| | | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成29年 9月21日 | 良 | |
| | | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成29年 9月21日 | 良 | |
| | | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

耐圧検査、漏えい検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|------------|----------------|----|------|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和2年 1月17日 | 良 | |
| | | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和2年 1月17日 | 良 | |
| | | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和2年 1月17日 | 良 | |
| | | 令和2年 10月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会 記録確認 | 令和2年 1月17日 | 良 | |
| | | 令和2年 10月29日 | 良 | 記録確認 |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社神戸造船所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部
電気配線貫通部 5個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 (貫通部番号) | 構成 | 材料 | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|---------------------------------|------------|----|----------------|----------|------|
| 550 553 555 559 561 | スリーブ (新設部) | | 平成29年 9月21日 | 良 | 記録確認 |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録 (※) による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部
電気配線貫通部 5個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 (貫通部番号) | 構成 | 材料 | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|---------------------------------|----|------------|----------------|----------|------|
| 550 553 555 559 561 | 本体 | [REDACTED] | 令和2年 10月29日 | 良 | 記録確認 |
| | 端板 | | | | |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 電気配線貫通部 5個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 (貫通部 番号) | 構成 | 外径 (mm) | | | 長さ (mm) | | | 厚さ (mm) | | | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|---------------------|---------------|------------|-----|-----|----------|-----|-----|----------|-----|-----|----------------|----------|------|
| | | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | | | |
| 550 | スリーブ (新設部) | [Redacted] | | | | | | | | | 令和2年 10月29日 | 良 | 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

42
14

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 電気配線貫通部 5個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 (貫通部 番号) | 構成 | 外径(mm) | | | 長さ(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|---------------------|----|------------|-----|-----|----------|-----|-----|----------|-----|-----|-------|----------|------|
| | | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | | | |
| 550 | 本体 | [Redacted] | | | | | | | | | | | |
| | 端板 | | | | | | | | | | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：許容値はメーカー基準による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

15

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 電気配線貫通部 5個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 (貫通部 番号) | 構成 | 外径(mm) | | | 長さ(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|---------------------|---------------|----------|-----|-----|----------|-----|-----|----------|-----|-----|----------------|----------|------|
| | | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | | | |
| 553 | スリーブ (新設部) | | | | | | | | | | 令和2年 10月29日 | 良 | 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

91 A

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 電気配線貫通部 5個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 (貫通部 番号) | 構成 | 外径 (mm) | | | 長さ (mm) | | | 厚さ (mm) | | | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 | |
|---------------------|----|----------|-----|-----|----------|-----|-----|----------|-----|-----|-------|----------------|------|------|
| | | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | | | | |
| 553 | 本体 | | | | | | | | | | | 令和2年 10月29日 | 良 | 記録確認 |
| | 端板 | | | | | | | | | | | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：許容値はメーカー基準による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

A517

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 電気配線貫通部 5個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 (貫通部 番号) | 構成 | 外径(mm) | | | 長さ(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|---------------------|---------------|----------|-----|-----|----------|-----|-----|----------|-----|-----|----------------|----------|------|
| | | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | | | |
| 555 | スリーブ (新設部) | | | | | | | | | | 令和2年 10月29日 | 良 | 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

87
97

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 電気配線貫通部 5個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 (貫通部 番号) | 構成 | 外径 (mm) | | | 長さ (mm) | | | 厚さ (mm) | | | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 | | |
|---------------------|----|------------|-----|-----|----------|-----|-----|----------|-----|-----|-------|----------|----------------|---|------|
| | | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | | | | | |
| 555 | 本体 | [Redacted] | | | | | | | | | | | 令和2年 10月29日 | 良 | 記録確認 |
| | 端板 | | | | | | | | | | | | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：許容値はメーカー基準による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

#19

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 電気配線貫通部 5個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 (貫通部 番号) | 構成 | 外径 (mm) | | | 長さ (mm) | | | 厚さ (mm) | | | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 | |
|---------------------|---------------|------------|-----|-----|----------|-----|-----|----------|-----|-----|-------|----------------|------|------|
| | | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | | | | |
| 559 | スリーブ (新設部) | [Redacted] | | | | | | | | | | 令和2年 10月29日 | 良 | 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

48
20

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 電気配線貫通部 5個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 (貫通部 番号) | 構成 | 外径 (mm) | | | 長さ (mm) | | | 厚さ (mm) | | | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|---------------------|----|------------|-----|-----|----------|-----|-----|----------|-----|-----|----------------|----------|------|
| | | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | | | |
| 559 | 本体 | [Redacted] | | | | | | | | | 令和2年 10月29日 | 良 | 記録確認 |
| | 端板 | | | | | | | | | | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：許容値はメーカー基準による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

571

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 電気配線貫通部 5個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 (貫通部 番号) | 構成 | 外径 (mm) | | | 長さ (mm) | | | 厚さ (mm) | | | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|---------------------|---------------|----------|-----|-----|----------|-----|-----|----------|-----|-----|----------------|----------|------|
| | | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | | | |
| 561 | スリーブ (新設部) | | | | | | | | | | 令和2年 10月29日 | 良 | 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

22

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 電気配線貫通部 5個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 (貫通部 番号) | 構成 | 外径(mm) | | | 長さ(mm) | | | 厚さ(mm) | | | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|---------------------|----|------------|-----|-----|----------|-----|-----|----------|-----|-----|-------|----------|------|
| | | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | 主要 寸法 | 許容値 | 測定値 | | | |
| 561 | 本体 | [Redacted] | | | | | | | | | | | |
| | 端板 | | | | | | | | | | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：許容値はメーカー基準による。

・記録確認は、申請者の品質記録(※4)による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

4.23

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社神戸造船所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部
電気配線貫通部 5個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 (貫通部番号) | 構成 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------------|-----------|----------------|------|-------------|
| 550 | スリーブ(新設部) | 平成29年 9月21日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 553 | | | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 555 | | | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 559 | | | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 561 | | | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※）による。~~~~※：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部
電気配線貫通部 5個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 (貫通部番号) | 構成 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------------|------------|----------------|------|-------------|
| 550 | [REDACTED] | 令和2年 10月29日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 553 | | | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 555 | | | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 559 | | | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 561 | | | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 550 | | 令和2年 10月29日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 553 | | | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 555 | | | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 559 | | | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 561 | | | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考

- ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

高浜発電所第2号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部
電気配線貫通部 5個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 (貫通部番号) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------------|----------------|------|-------------|
| 550 | 令和2年 10月29日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 553 | | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 555 | | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 559 | | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 561 | | 良 | 目視/ 記録確認 |

備考

- ・据付後の外観確認も含めて実施。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0801

高浜発電所第2号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 電気配線貫通部 5個

判定基準：
 ・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。
 ・著しい漏えいがないこと。

| 検査対象 (貫通部番号) | 最高使用圧力 (MPa) | 耐圧検査規定圧力 (MPa) | 耐圧検査時圧力 (MPa) | 保持時間 (min) | 漏えい検査時圧力 (MPa) | 水圧、気圧 区分 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------------|------------------|-------------------|------------------|---------------|-------------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 550 | 0.261 0.305※1 | 0.305 | / | | | 気圧 | 年 | | 目視/ 記録確認 |
| 553 | | | 月 | 日 | 年 | | | 目視/ 記録確認 | |
| 555 | | | 0.315 | 11 | 0.315 | | 令和2年 1月17日 | 良 | 目視/ 記録確認 |
| 559 | | | 年 | | 目視/ 記録確認 | | | | |
| 561 | | | 月 | 日 | 年 | | | 目視/ 記録確認 | |

備考

発泡液 名称: Gupoflex Super21
 (LEAK DETECTOR) No: 2019.08.17

※1：重大事故等時における使用時の値

~~記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。~~

~~※2：適合性確認検査成績書の識別番号~~

27

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和2年1月17日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|----------|-------|------|------|------|------------------------|----|
| 耐圧・漏えい検査 | 圧力計 | | | | 2019.10.7 2020.1.31 | |
| 耐圧・漏えい検査 | 圧力計 | | | | 2019.10.7 2020.1.31 | |
| 以下空白 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

工事計画本文(原規規発第1606104号(平成28年6月1日認可))

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

1 原子炉格納容器に係る次の事項

(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部の名称又は貫通部番号、種類、個数、最高使用圧力、最高使用温度、構成、主要寸法及び材料

d 電気配線貫通部

| 変更前 | | | | | | | | | | 変更後 | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|-------|----|--------------|-------------|-------------|-----------|----|----|---|-------|----|----|--------------|-------------|---------|-----------|----|----|--------------------------|--|
| 貫通部番号 | 種類 | 個数 | 最高使用圧力 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 構成 | 主要寸法 (mm) | | | 材料 | 貫通部番号 | 種類 | 個数 | 最高使用圧力 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 構成 | 主要寸法 (mm) | | | 材料 | |
| | | | | | | 外径 | 長さ | 厚さ | | | | | | | | 外径 | 長さ | 厚さ | | |
| 557 | 電線貫通部 | 1 | 0.261 | 122 | スリーブ | | | | ASTM A333 Gr. 6 SUS28TP SUS28 STPL39 | 変更なし | | | 0.305 | 138 | | | | | | |
| 550 553 555 559 561 | 電線貫通部 | 5 | 0.261 | 122 | スリーブ | | | | ASTM A333 Gr. 6 SUS28TP ASTM A240 TP304 (SUS27相当) ASTM A333 Gr. 6 (STPL39相当) | 変更なし | | | 0.305 | 138 | スリーブ 同左 | | | 同左 | ASTM A333 Gr. 6 及び GSTPL | |
| 526 530 676 | 予備貫通部 | 3 | 0.261 | 122 | スリーブ 閉止板 | | | | ASTM A333 Gr. 6 ASTM A516 Gr. 70 A300 | 変更なし | | | 0.305 | 138 | | | | | 変更なし | |

30

| 変更前 | | | | | | | | 変更後 | | | | | | | | | |
|------------|-----------|----|--------------|------------|-------------|-----------|-----|----------------------------|-----------|----|----|---------------|--------------|-----|------------|-----|-----|
| 貫通部 番号 | 種類 | 個数 | 最高使用 | 最高使用 | 構 成 | 主要寸法 (mm) | | 材 料 | 貫通部 番号 | 種類 | 個数 | 最高使用 | 最高使用 | 構 成 | 主要寸法 (mm) | | 材 料 |
| | | | 圧 力 (MPa) | 温 度 (℃) | | 外 径 | 長 さ | | | | | 厚 さ | 圧 力 (MPa) | | 温 度 (℃) | 外 径 | |
| 602 603 | 予備 貫通部 | 2 | 0.261 | 122 | スリーブ 閉止板 | | | ASTM A333 Gr.6 SGV49 | | | | 変更なし 0.305 | 変更なし 138 | | | | |

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用圧力の値

(注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用温度の値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には [] と記載

(注5) 公称値

(注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注7) 重大事故等時における使用時の値

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「25組」と記載

(注9) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年2月19日付け47公第11429号にて認可された工事計画の添付資料9「格納容器電線ケーブル貫通部強度計算書（通産省告示第501号による計算書）」による。

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には [] と記載

(注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「14組」と記載

(注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1組」と記載

(注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「5組」と記載

(注14) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和46年2月27日付け45公第13560号にて認可された工事計画の資料2-1「原子炉格納容器板厚ならびに補強板等の計算書」による。

(注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には [] と記載

(注16) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和46年2月27日付け45公第13560号にて認可された工事計画の添付図面第8-3図「貫通部スリーブおよび補強板寸法図」による。

3/E